

平塚市男女共同参画に関する 市民意識調査報告書



令和5年(2023年)2月
平 塚 市

目 次

第1章 調査の概要	1
1 調査の目的	1
2 調査の方法	1
3 報告書の見方	1
第2章 調査結果の概要	3
1 男女平等意識と実態について	3
2 仕事や家庭、地域生活などについて	4
3 ドメスティック・バイオレンス(DV)について	5
4 セクシュアルマイノリティ(LGBT 等)について	6
5 新型コロナウイルス感染症の拡大における影響について	6
第3章 調査結果の詳細	7
1 回答者の属性	7
2 男女平等意識と実態について	13
3 仕事や家庭、地域生活などについて	37
4 ドメスティック・バイオレンス(DV)について	81
5 セクシュアルマイノリティ(LGBT 等)について	102
6 新型コロナウイルス感染症の拡大における影響について	107
7 自由回答	121
第4章 調査票	130



第1章 調査の概要

1 調査の目的

男女共同参画に関する市民の意識と現状を把握するとともに、男女共同参画社会の実現のための施策として基本となる「ひらつか男女共同参画プラン2024（仮称）」の策定に向けて、基礎資料を得ることを目的として実施しました。

2 調査の方法



- 調査地域：平塚市全域
- 調査対象者：満18歳から満79歳の男女
- 抽出方法：住民基本台帳より無作為抽出
- 調査期間：令和4年9月8日（木）～10月7日（金）
- 調査方法：郵送配布、郵送回収及び電子申請システムによる回答 ※礼状兼督促を1回送付

配布数	回収数	有効回収率
3,000 件 (うち戻り 10 件)	1,370 件 (うち有効回収数 1,368 件、無効 2 件)	45.8%

3 報告書の見方

(1) 回答結果の割合「%」について

- ・ 有効サンプル数に対して、それぞれの回答数の割合を小数点以下第2位で四捨五入したものです。そのため、単数回答（複数の選択肢から1つの選択肢を選ぶ方式）であっても合計値が100.0%にならない場合があります。このことは、本報告書内のグラフ、表及び分析文においても反映しています。
- ・ 複数回答（複数の選択肢から2つ以上の選択肢を選ぶ方式）の設問の場合、回答は選択肢ごとの有効回答数に対して、それぞれの割合を示しています。そのため、合計値が100.0%を超える場合があります。

(2) グラフ及び表について

- ・ 「N (number of case)」は、集計対象者総数（あるいは回答者限定設問の限定条件に該当する人）を表しています。
- ・ 表では、属性ごとに、最も数値が高かった回答内容に色をつけています。ただし、「その他」及び「該当なし」は除き、分析対象から外しています。
- ・ 「性別」が「その他」の属性は、有効サンプルが少数であるため、分析対象から外しています。

- ・ 「年齢」が「10 歳代」及び「20 歳代」の属性は、有効サンプルが少数であるため、P 7「1 回答者の属性」を除き、2 者を合わせた「20 歳代以下」として集計しています。
- ・ 「－」と表示してあるのは、回答者がいなかった項目です。
- ・ 「就業者」の属性において、「雇用形態」の設問が無回答の有効サンプルがあるため、全ての雇用形態の有効サンプル数を足しても「就業者」の総数と同数にはなりません。

(3) 分析文について

- ・ 設問の選択肢において、長い文は簡略化している場合があります。
- ・ 「前回調査」とは、令和元年 9 月に実施した「平塚市男女共同参画に関する市民意識調査」で、経年比較に記載されている数値は、その年度に実施した調査です。
- ・ 本文中にある「既婚者等」とは、既婚者の他に事実婚、同性カップルの方も含みます。



第2章 調査結果の概要

1 男女平等意識と実態について(問1～問3)

(1) 7分野における男女の地位・立場

- ・ 「平等である」は、7分野のうち「学校教育の場」が61.0%と最も高く、次いで「地域活動」が42.5%、「家庭生活」が37.8%と続きます。また、「政治の場」が9.0%で最も低くなっています。
- ・ 「男性優位」、「どちらかという男性優位」を合わせた【男性優位感】は、「政治の場」が86.7%と最も高く、次いで「社会通念・慣習・しきたり」が78.5%、「職場」が61.8%と続きます。
- ・ 性別にみると、「平等である」は、7分野全てで男性が女性を上回り、特に「法律や制度上」及び「地域活動」は男性が女性を14ポイント上回っています。
- ・ 前回調査と比較すると、【男性優位感】は、「家庭生活」、「社会通念・慣習・しきたり」及び「地域活動」で下がり、特に「家庭生活」は9ポイント下がっています。

(2) 「夫は外で働き、妻は家庭を守るべき」という考え方(固定的な男女の役割分担意識)

- ・ 「そう思う」、「どちらかといえばそう思う」を合わせた【同感する】は26.4%、「そう思わない」、「どちらかといえばそう思わない」を合わせた【同感しない】は72.7%と、【同感しない】が【同感する】を46ポイント上回っています。
- ・ 年代別にみると、60歳代を除き、年代が上がるにつれて【同感する】は上昇し、【同感しない】は60歳代を除き徐々に低下しています。
- ・ 性別にみると、女性は55ポイント、男性は34ポイント、【同感しない】が【同感する】をそれぞれ上回っています。
- ・ 前回調査と比較すると、【同感しない】は5ポイント上がっており、10歳代から20歳代に限ると8ポイント上がっています。

(3) 男女共同参画に関する言葉の認知状況

- ・ 男女共同参画の推進に関する言葉は、「イクメン」が88.7%と最も高く、次いで「ジェンダー」が83.8%、「育児・介護休業法」が71.0%と続きます。また、「ワーク・ライフ・バランス」は50.8%、「男女共同参画社会」は50.4%と5割程度となっています。
- ・ 女性の人権に関する言葉は、「ドメスティック・バイオレンス(DV)」が87.4%と最も高く、次いで「マタニティ・ハラスメント」が79.2%、「デートDV」が33.8%と続きます。
- ・ 前回調査と比較すると、「ジェンダー」は15ポイント上がりましたが、「マタニティ・ハラスメント」は3ポイント下がっています。

2 仕事や家庭、地域生活などについて(問4～問8)

(1) 生活の中で各活動に費やしている時間

- ・ 仕事や学校のある日において、「育児・子育て」は、女性が 43 分、男性が 15 分と女性の方が約 3 倍長くなっています。さらに、「家事」は、女性が 2 時間 46 分、男性が 41 分と女性の方が約 4 倍長くなっています。また、就業者において、「仕事」は全ての雇用形態で男性が女性より長くなっています。
- ・ 仕事や学校のない日において、「家事」は、女性が 4 時間 10 分、男性が 1 時間 32 分と女性の方が 2 倍以上長くなっています。
- ・ 年代別にみると、「育児・子育て」は、30 歳代が 4 時間 23 分と最も長くなっています。

(2) 仕事と子育て・家庭生活を両立するために、行政や企業に望む支援

- ・ 行政に望む取組は、「フルタイム勤務以外の多様な働き方にも対応する仕組の整備」が 64.4% と最も高く、次いで「育児休業・介護休業中の賃金その他経済的補償の充実」が 61.5% となっています。
- ・ 企業（職場）に望む取組は、長時間労働の抑制については「定時退社の推奨」が 57.3%、年次有給休暇の取得促進については「有給休暇取得の推奨」が 72.1%、制度・施設等の整備については「短時間勤務、在宅就業制度（テレワーク等）、フレックスタイム制度など、フルタイム勤務以外の多様な働き方の充実」が 58.8% とそれぞれ最も高くなっています。

(3) ワーク・ライフ・バランスの実現

- ・ 「おおよそ実現できている」が 41.2% と最も高く、次いで「あまり実現できていない」が 23.6%、「実現できていない」が 13.6% と続きます。
- ・ 「実現できている」、「おおよそ実現できている」を合わせた【実現できている】は 48.5%、「あまり実現できていない」、「実現できていない」を合わせた【実現できていない】は 37.2% と、【実現できている】が【実現できていない】を 11 ポイント上回っています。性・年代別にみると、男性の 30 歳代及び 50 歳代を除く全ての性・年代で【実現できている】が【実現できていない】を上回っています。

(4) 家事・育児などの担い手

- ・ 性別にみると、「家事」、「育児・子育て」及び「介護・看護」は、女性は「主に自分」、男性は「主に配偶者」がそれぞれ最も高くなっています。また、「地域の活動」は女性、男性ともに「主に自分」が最も高くなっています。

(5) 家事・育児などの望ましい担い手

- ・ 性別にみると、「家事」、「育児・子育て」、「介護・看護」及び「地域の活動」の全ての項目において、女性、男性ともに「夫婦が同じくらい分担」が最も高くなっています。特に、「育児・子育て」は、女性が 57.7%、男性が 47.2% と、他の項目と比べて最も高くなっています。

3 ドメスティック・バイオレンス(DV)について(問9～問12)

(1) 配偶者やパートナー等での暴力と思われる行為の認知状況

- ・ 「暴力だと思う」は、「殴るふりをして脅す、刃物などを突き付けて脅す」が 94.6%と最も高く、次いで「避妊に協力しない・妊娠中絶を強要する」が 93.1%、「平手で打つ」が 92.9%と続きます。
- ・ 経年比較をしている5項目「平手で打つ」、「大声でどなる」、「相手の交友関係や電話を必要以上に監視する」、「家に生活費を入れない」及び「相手が嫌がっているのにポルノビデオやポルノ雑誌を見せる」の平均値は 86.9%と、前回調査(86.0%)から微増しています。
- ・ 「暴力だと思わない」は、「携帯電話、メール、手紙などを勝手に見る」が 21.5%と最も高く、次いで「大声でどなる」が 14.0%、「相手の交友関係や電話を必要以上に監視する」が 12.7%と続きます。

(2) 配偶者やパートナー等から暴力にあたる行為を「した」、「された」経験

- ・ 「した」は、「大声でどなる」が 13.8%と最も高く、次いで「何を言っても無視し続ける」が 4.5%、「携帯電話、メール、手紙などを勝手に見る」が 2.7%と続きます。
- ・ 「された」は、「大声でどなる」が 18.1%と最も高く、次いで「何を言っても無視し続ける」が 9.7%、「誰のおかげで生活できるんだ」とか、「甲斐性がない」「稼ぎが悪い」などと言う」が 6.4%と続きます。
- ・ 「された」について、経年比較をしている5項目「平手で打つ」、「大声でどなる」、「相手の交友関係や電話を必要以上に監視する」、「家に生活費を入れない」及び「相手が嫌がっているのにポルノビデオやポルノ雑誌を見せる」の平均値は 5.7%と、前回調査(6.4%)から微減しています。

(3) 配偶者やパートナー等からの暴力についての相談窓口の認知状況

- ・ 「知っている」が 56.4%、「知らない」が 40.6%となっています。
- ・ 年代別にみると、20歳代以下を除く全ての年代で「知っている」が「知らない」を上回っていますが、20歳代以下は「知らない」が 55.6%、「知っている」が 41.7%と、「知っている」が 13ポイント下回っています。
- ・ 性別にみると、女性は「知っている」が 63.8%、「知らない」が 33.3%と、「知っている」が 30ポイント上回っていますが、男性は「知らない」が 49.9%、「知っている」が 47.0%と、「知っている」が 2ポイント下回っています。
- ・ 「知っている」と回答した人が認知している相談窓口や機関は、「警察」が 65.7%と最も高く、次いで「平塚市役所で開設している「女性のための相談窓口」」が 51.3%となっています。

(4) 「DV相談窓口のご案内」カードの認知状況

- ・ 「知らない」が 61.4%と最も高く、次いで「見たことがある」が 30.6%、「聞いたことがある」が 5.7%と続きます。

4 セクシュアルマイノリティ(LGBT等)について(問 13～問 15)

(1) セクシュアルマイノリティ(LGBT等)という言葉の認知状況

- ・ 「言葉も意味も知っていた」が 61.5%と最も高く、次いで、「言葉は知っていたが、意味は知らなかった」が 18.2%となっています。
- ・ 年代別にみると、「知らなかった」は、20 歳代以下が 9.7%と最も低く、年代が上がるにつれて上昇し、70 歳代は 30.5%と 3 割を超えています。

(2) 自らの身体の性・心の性、性的指向に悩んだ経験

- ・ 「はい」は 3.4%、「いいえ」は 94.4%となっています。
- ・ 年代別にみると、「はい」は 30 歳代が 10.8%と 1 割を超えて最も高くなっています。性・年代別にみると、女性、男性ともに 30 歳代は 1 割を超えて最も高くなっています。

(3) 「平塚市パートナーシップ宣誓制度」の認知状況

- ・ 「知っている」は 9.8%、「知らなかった」は 88.2%となっています。
- ・ 年代別にみると、「知っている」は 30 歳代が 14.2%と最も高く、30 歳代から 50 歳代は 1 割を超えています。性・年代別にみると、女性は 30 歳代 (18.5%)、男性は 40 歳代 (18.3%) がそれぞれ最も高くなっています。

5 新型コロナウイルス感染症の拡大における影響について(問 16)

(1) 新型コロナウイルス感染症の拡大における影響

- ・ 「身体的な健康」、「精神的に不安定になってイライラすること」、「家計収入」、「自分の収入」、「家事や育児、介護の負担」、「家庭内のけんかや言い争い」及び「友人・知人との交友関係」は、「変化なし」が最も高くなっています。
- ・ 「生活に対する不安」は「増えた」が 51.2%、「親族との付き合い」は「減った」が 54.8%とそれぞれ最も高くなっています。
- ・ 就業者についてみると、「就業時間」、「在宅勤務やテレワーク」、「残業」及び「職場環境」とも「変化なし」が最も高くなっています。
- ・ 学生についてみると、「学校の授業や部活動、行事など」は、「悪くなった」が 76.9%と最も高くなっています。

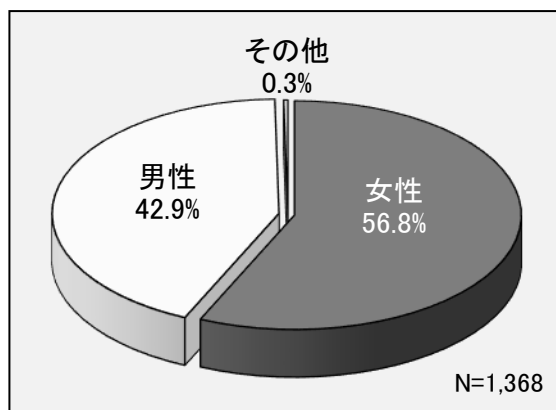


第3章 調査結果の詳細

1 回答者の属性

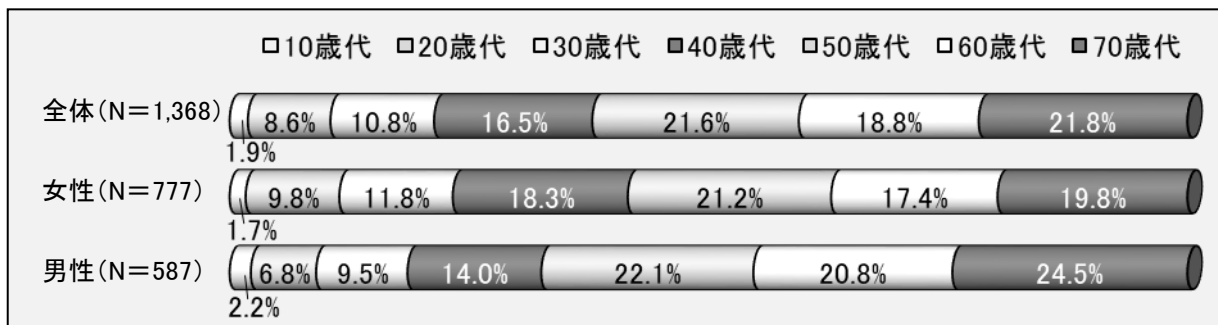
① 性別

性別は、「女性」が 56.8%、「男性」が 42.9%となっています。



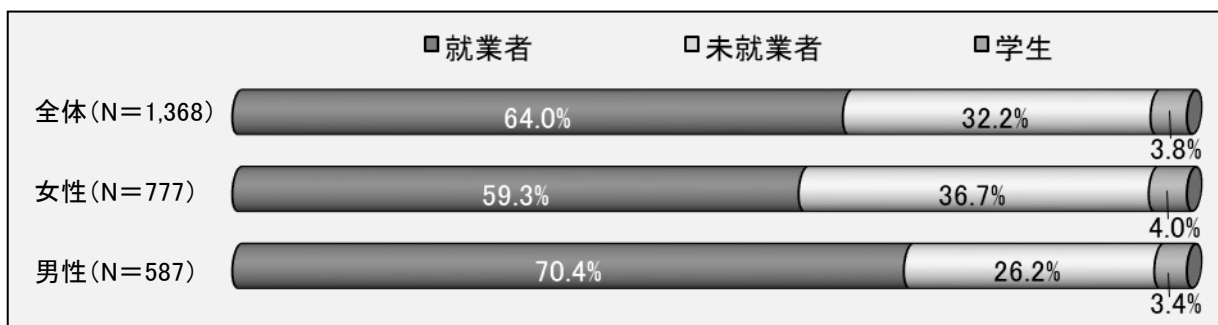
② 年齢

年齢は、「70 歳代」が 21.8%と最も高く、次いで「50 歳代」が 21.6%、「60 歳代」が 18.8%と続いており、50 歳代以上が 6 割以上を占めています。



③ 就業

就業の状況は、「就業者」が 64.0%、「未就業者」が 32.2%、学生が 3.8%となっています。性別にみると、男性の就業者は、7 割を超えていますが、女性の就業者は 6 割未満となっています。



●就業の状況【年代別／性別】

			N	就業者	未就業者	学生
全 体			1,368	64.0%	32.2%	3.8%
年代別	10 歳代		26	15.4%	7.7%	76.9%
	20 歳代		118	60.2%	12.7%	27.1%
	30 歳代		148	79.7%	20.3%	—
	40 歳代		226	89.4%	10.6%	—
	50 歳代		295	85.4%	14.6%	—
	60 歳代		257	62.3%	37.7%	—
	70 歳代		298	22.8%	77.2%	—
性別	女性	全体	777	59.3%	36.7%	4.0%
		10 歳代	13	7.7%	—	92.3%
		20 歳代	76	61.8%	13.2%	25.0%
		30 歳代	92	70.7%	29.3%	—
		40 歳代	142	84.5%	15.5%	—
		50 歳代	165	80.0%	20.0%	—
		60 歳代	135	52.6%	47.4%	—
		70 歳代	154	16.2%	83.8%	—
	男性	全体	587	70.4%	26.2%	3.4%
		10 歳代	13	23.1%	15.4%	61.5%
		20 歳代	40	60.0%	10.0%	30.0%
		30 歳代	56	94.6%	5.4%	—
		40 歳代	82	98.8%	1.2%	—
		50 歳代	130	92.3%	7.7%	—
		60 歳代	122	73.0%	27.0%	—
		70 歳代	144	29.9%	70.1%	—

●就業者の雇用形態

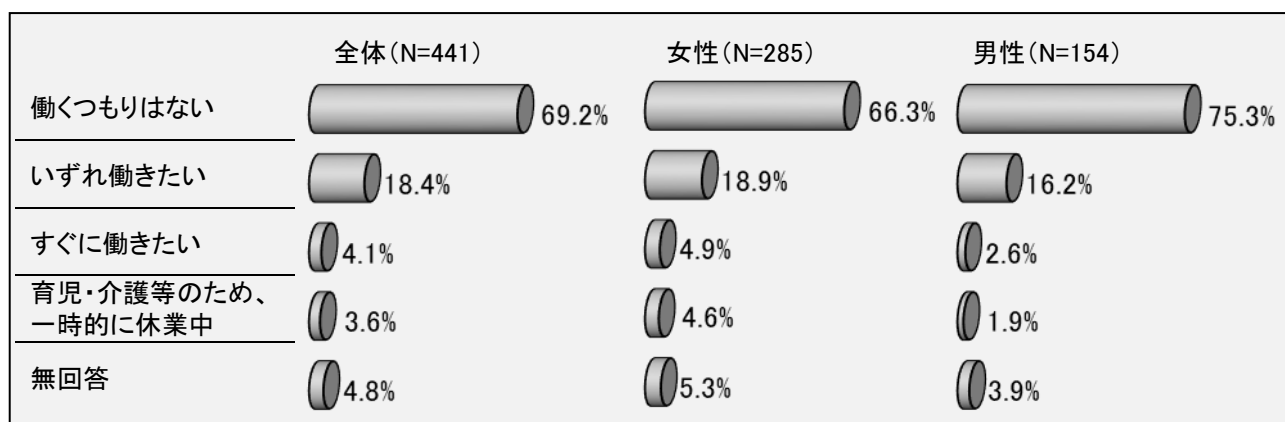
就業者の雇用形態は、「正社員・正職員」が 49.7%と最も高く、次いで「パート・アルバイト」が 28.9%となっています。

性別にみると、女性は「パート・アルバイト」が 46.0%、男性は「正社員・正職員」が 63.4%とそれぞれ最も高くなっています。

	全体 (N=875)	女性 (N=461)	男性 (N=413)
正社員・正職員	49.7%	37.3%	63.4%
パート・アルバイト	28.9%	46.0%	9.9%
自営業者	8.5%	5.6%	11.6%
契約・派遣社員	7.0%	6.5%	7.5%
会社等の役員	3.4%	1.7%	5.3%
無回答	2.5%	2.8%	2.2%

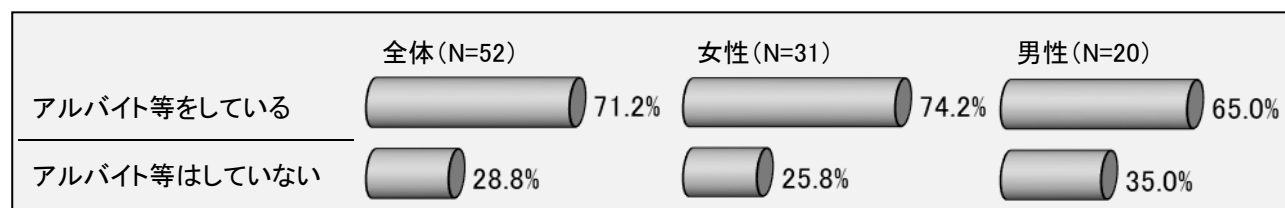
●未就業者の状況

未就業者の状況は、「働くつもりはない」が69.2%と最も高く、次いで「いずれ働きたい」が18.4%となっています。



●学生の状況

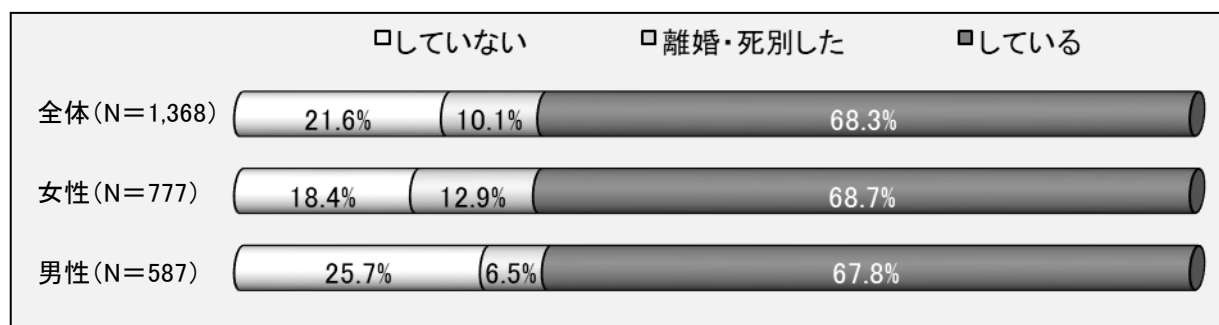
学生の状況は、「アルバイト等をしている」が71.2%、「アルバイト等はしていない」が28.8%となっています。



④ 結婚

婚姻の状況は、「している（事実婚・同性カップルを含む）」が68.3%、「していない」が21.6%となっています。

性別にみると、「していない」は、男性が25.7%、女性が18.4%と、男性が女性を7ポイント上回っています。

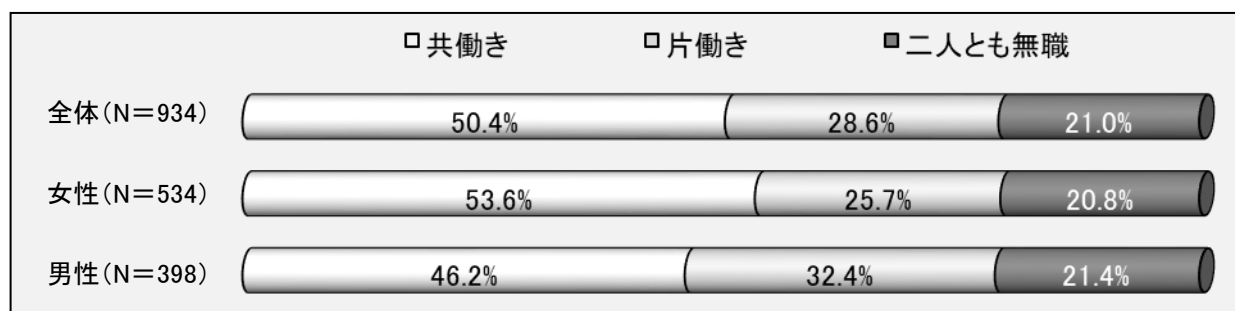


●結婚の状況【年代別／性別】

N			していない	していたが 離婚・死別した	している (事実婚・同性カッ プルを含む)		
全 体			1,368	21.6%	10.1%	68.3%	
年代別	10 歳代		26	100.0%	—	—	
	20 歳代		118	86.4%	1.7%	11.9%	
	30 歳代		148	31.8%	4.7%	63.5%	
	40 歳代		226	19.9%	8.8%	71.2%	
	50 歳代		295	13.9%	8.5%	77.6%	
	60 歳代		257	7.8%	10.1%	82.1%	
	70 歳代		298	5.0%	19.5%	75.5%	
性別	女性	全体		777	18.4%	12.9%	68.7%
		10 歳代		13	100.0%	—	—
		20 歳代		76	88.2%	—	11.8%
		30 歳代		92	23.9%	5.4%	70.7%
		40 歳代		142	14.8%	11.3%	73.9%
		50 歳代		165	6.7%	10.3%	83.0%
		60 歳代		135	3.0%	16.3%	80.7%
		70 歳代		154	3.2%	26.0%	70.8%
	男性	全体		587	25.7%	6.5%	67.8%
		10 歳代		13	100.0%	—	—
		20 歳代		40	82.5%	5.0%	12.5%
		30 歳代		56	44.6%	3.6%	51.8%
		40 歳代		82	29.3%	4.9%	65.9%
		50 歳代		130	23.1%	6.2%	70.8%
		60 歳代		122	13.1%	3.3%	83.6%
		70 歳代		144	6.9%	12.5%	80.6%

●共働きの状況

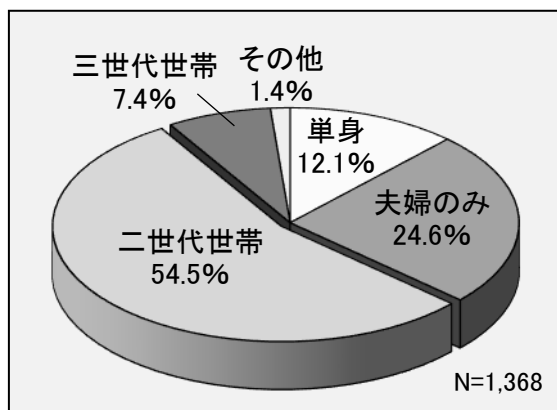
「共働き」が50.4%、「片働き」が28.6%、「二人とも無職」が21.0%となっています。



⑤ 世帯構成

世帯構成は、「二世帯世帯（親と子）」が 54.5%と最も高く、次いで「夫婦のみ（事実婚・同性カップルを含む）」が 24.6%となっています。「その他」の内容は、「四世代」、「兄弟」及び「親族宅に居住」などがありました。

年代別にみると、70 歳代を除く全ての年代で「二世帯世帯」が最も高くなっています。



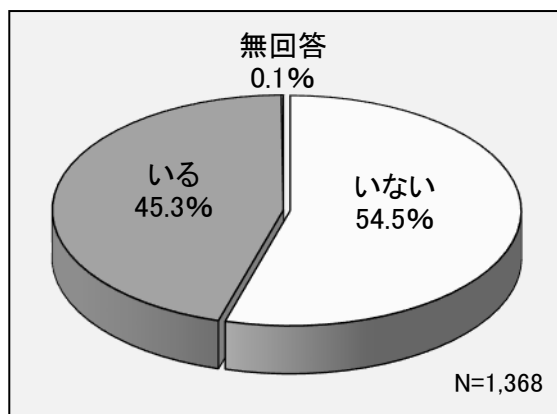
		N	単身	夫婦のみ	二世代世帯	三世代世帯	その他	
全 体		1,368	12.1%	24.6%	54.5%	7.4%	1.4%	
年代別	10 歳代	26	11.5%	—	69.2%	19.2%	—	
	20 歳代	118	25.4%	5.9%	56.8%	9.3%	2.5%	
	30 歳代	148	12.8%	8.8%	73.0%	4.7%	0.7%	
	40 歳代	226	8.4%	10.6%	73.5%	6.6%	0.9%	
	50 歳代	295	7.1%	24.4%	60.3%	7.8%	0.3%	
	60 歳代	257	9.3%	37.7%	43.6%	7.0%	2.3%	
	70 歳代	298	16.4%	41.6%	32.6%	7.4%	2.0%	
性別	女性	全体	777	10.6%	24.5%	56.6%	6.7%	1.7%
		10 歳代	13	15.4%	—	76.9%	7.7%	—
		20 歳代	76	25.0%	5.3%	60.5%	5.3%	3.9%
		30 歳代	92	7.6%	6.5%	82.6%	2.2%	1.1%
		40 歳代	142	8.5%	13.4%	70.4%	6.3%	1.4%
		50 歳代	165	3.6%	29.1%	60.6%	6.7%	—
		60 歳代	135	8.1%	41.5%	40.7%	7.4%	2.2%
		70 歳代	154	16.2%	37.0%	34.4%	9.7%	2.6%
	男性	全体	587	14.0%	25.0%	51.8%	8.2%	1.0%
		10 歳代	13	7.7%	—	61.5%	30.8%	—
		20 歳代	40	25.0%	7.5%	50.0%	17.5%	—
		30 歳代	56	21.4%	12.5%	57.1%	8.9%	—
		40 歳代	82	8.5%	6.1%	79.3%	6.1%	—
		50 歳代	130	11.5%	18.5%	60.0%	9.2%	0.8%
		60 歳代	122	10.7%	33.6%	46.7%	6.6%	2.5%
		70 歳代	144	16.7%	46.5%	30.6%	4.9%	1.4%

⑥ 子ども

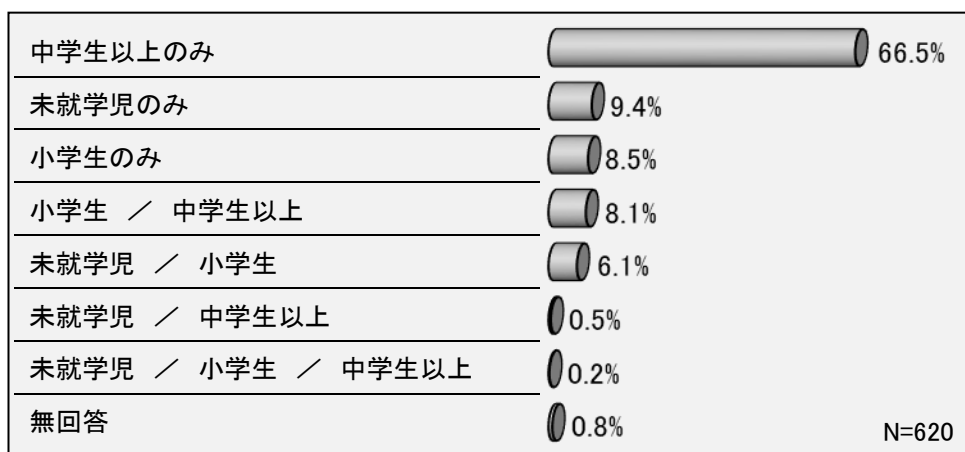
同居している子どもの有無は、「いない」が54.5%、「いる」が45.3%となっています。

また、同居している子どもの年齢は、「中学生以上のみ」が66.5%と最も高く、次いで「未就学児のみ」が9.4%となっています。

●同居している子どもの有無



●同居している子どもの年齢区分



2 男女平等意識と実態について

問1 次の①～⑦について、男女の地位は平等になっていると思いますか。項目ごとにあてはまるものを1つずつ選んでください。

※【男性優位感】・・・「男性優位」と「どちらかといえば男性優位」を合わせたもの

【女性優位感】・・・「女性優位」と「どちらかといえば女性優位」を合わせたもの

	【男性優位感】	男性優位	どちらかといえば男性優位	平等	どちらかといえば女性優位	女性優位	【女性優位感】	無回答
N=1,368								
① 家庭生活	【43.6%】	8.3%	35.3%	37.8%	13.2%	3.4%	【16.5%】	2.1%
② 職場	【61.8%】	19.0%	42.8%	28.4%	2.5%	1.1%	【3.6%】	6.2%
③ 学校教育の場	【26.1%】	3.9%	22.2%	61.0%	2.6%	0.2%	【2.9%】	10.1%
④ 政治の場	【86.7%】	51.2%	35.5%	9.0%	0.1%	0.1%	【0.2%】	4.1%
⑤ 法律や制度上	【59.7%】	18.7%	41.0%	30.0%	4.5%	0.6%	【5.1%】	5.1%
⑥ 社会通念・慣習・しきたり	【78.5%】	27.6%	51.0%	15.9%	1.2%	0.3%	【1.5%】	4.1%
⑦ 地域活動	【41.3%】	8.6%	32.7%	42.5%	10.5%	1.2%	【11.8%】	4.5%

① 家庭生活

家庭生活における男女の平等感について、「平等」が37.8%と最も高く、次いで「どちらかといえば男性優位」が35.3%となっています。

性別にみると、【男性優位感】は、女性（51.4%）が男性（33.2%）を18ポイント上回っています。また、「平等」は、男性（44.3%）が女性（32.9%）を11ポイント上回っています。

		N	【男性優位感】	男性優位	どちらかといえば男性優位	平等	どちらかといえば女性優位	女性優位	【女性優位感】	無回答
全 体		1,368	【43.6%】	8.3%	35.3%	37.8%	13.2%	3.4%	【16.5%】	2.1%
年代別	20 歳代以下	144	【33.3%】	5.6%	27.8%	50.7%	11.8%	3.5%	【15.3%】	0.7%
	30 歳代	148	【38.5%】	8.1%	30.4%	36.5%	20.9%	4.1%	【25.0%】	—
	40 歳代	226	【46.5%】	8.8%	37.6%	31.0%	14.6%	7.5%	【22.1%】	0.4%
	50 歳代	295	【46.1%】	7.8%	38.3%	35.9%	14.2%	2.7%	【16.9%】	1.0%
	60 歳代	257	【44.0%】	9.3%	34.6%	43.2%	8.2%	3.1%	【11.3%】	1.6%
	70 歳代	298	【46.0%】	8.7%	37.2%	34.6%	12.1%	0.7%	【12.8%】	6.7%

			N	【男性優位感】	男性優位	どちらかといえば男性優位	平等	どちらかといえば女性優位	女性優位	【女性優位感】	無回答
性別	女性	全体	777	【51.4%】	10.2%	41.2%	32.9%	11.1%	2.7%	【13.8%】	1.9%
		20 歳代以下	89	【37.1%】	6.7%	30.3%	48.3%	11.2%	2.2%	【13.5%】	1.1%
		30 歳代	92	【44.6%】	10.9%	33.7%	32.6%	18.5%	4.3%	【22.8%】	—
		40 歳代	142	【54.2%】	11.3%	43.0%	25.4%	13.4%	6.3%	【19.7%】	0.7%
		50 歳代	165	【57.0%】	10.9%	46.1%	29.7%	11.5%	1.8%	【13.3%】	—
		60 歳代	135	【56.3%】	12.6%	43.7%	35.6%	5.2%	1.5%	【6.7%】	1.5%
		70 歳代	154	【50.6%】	7.8%	42.9%	32.5%	9.1%	0.6%	【9.7%】	7.1%
	男性	全体	587	【33.2%】	5.8%	27.4%	44.3%	16.0%	4.1%	【20.1%】	2.4%
		20 歳代以下	53	【26.4%】	3.8%	22.6%	54.7%	13.2%	5.7%	【18.9%】	—
		30 歳代	56	【28.6%】	3.6%	25.0%	42.9%	25.0%	3.6%	【28.6%】	—
		40 歳代	82	【32.9%】	4.9%	28.0%	41.5%	17.1%	8.5%	【25.6%】	—
		50 歳代	130	【32.3%】	3.8%	28.5%	43.8%	17.7%	3.8%	【21.5%】	2.3%
		60 歳代	122	【30.3%】	5.7%	24.6%	51.6%	11.5%	4.9%	【16.4%】	1.6%
		70 歳代	144	【41.0%】	9.7%	31.3%	36.8%	15.3%	0.7%	【16.0%】	6.3%

①-1 家庭生活【結婚の状況別】

家庭生活における男女の平等感について、結婚の状況別にみると、未婚者は「平等」が42.6%と最も高くなっていますが、既婚者等は「どちらかといえば男性優位」が37.8%と最も高くなっています。

性別にみると、「平等」について、女性は未婚者（38.5%）が既婚者等（31.5%）を7ポイント上回っており、男性は未婚者（46.4%）が既婚者等（43.2%）を3ポイント上回っています。

N			【男性優位感】	男性優位	どちらかといえば男性優位	平等	どちらかといえば女性優位	女性優位	【女性優位感】	無回答
全体	未婚者	296	【39.9%】	9.5%	30.4%	42.6%	12.2%	3.0%	【15.2%】	2.4%
	既婚者等	934	【45.8%】	8.0%	37.8%	36.4%	13.7%	3.1%	【16.8%】	1.0%
女性	未婚者	143	【47.6%】	13.3%	34.3%	38.5%	9.8%	2.1%	【11.9%】	2.1%
	既婚者等	534	【54.1%】	9.7%	44.4%	31.5%	11.0%	2.2%	【13.3%】	1.1%
男性	未婚者	151	【32.5%】	6.0%	26.5%	46.4%	14.6%	4.0%	【18.5%】	2.6%
	既婚者等	398	【34.7%】	5.8%	28.9%	43.2%	17.3%	4.0%	【21.4%】	0.8%

② 職場

職場における男女の平等感について、「どちらかといえば男性優位」が 42.8%と最も高く、次いで「平等」が 28.4%となっています。

年代別にみると、20 歳代以下は「平等」が 38.2%と最も高くなっていますが、それ以外の年代は「どちらかといえば男性優位」が最も高くなっています。性・年代別にみると、女性は全ての年代で「どちらかといえば男性優位」が最も高くなっています。一方、男性は 20 歳代以下及び 40 歳代は「平等」が最も高くなっていますが、それ以外の年代は「どちらかといえば男性優位」が最も高くなっています。

N			【男性優位感】	男性優位	どちらかといえば男性優位	平等	どちらかといえば女性優位	女性優位	【女性優位感】	無回答	
全 体		1,368	【61.8%】	19.0%	42.8%	28.4%	2.5%	1.1%	【3.6%】	6.2%	
年代別	20 歳代以下	144	【55.6%】	20.1%	35.4%	38.2%	2.1%	—	【2.1%】	4.2%	
	30 歳代	148	【66.9%】	20.9%	45.9%	25.7%	4.1%	2.7%	【6.8%】	0.7%	
	40 歳代	226	【60.2%】	23.0%	37.2%	33.6%	3.1%	1.8%	【4.9%】	1.3%	
	50 歳代	295	【60.3%】	18.6%	41.7%	34.2%	2.7%	1.4%	【4.1%】	1.4%	
	60 歳代	257	【68.1%】	20.6%	47.5%	26.8%	1.6%	0.8%	【2.3%】	2.7%	
	70 歳代	298	【59.7%】	13.4%	46.3%	16.4%	2.0%	0.3%	【2.3%】	21.5%	
性別	女性	全体	777	【62.7%】	20.1%	42.6%	26.4%	2.7%	1.0%	【3.7%】	7.2%
		20 歳代以下	89	【57.3%】	20.2%	37.1%	34.8%	2.2%	—	【2.2%】	5.6%
		30 歳代	92	【64.1%】	17.4%	46.7%	28.3%	4.3%	2.2%	【6.5%】	1.1%
		40 歳代	142	【62.7%】	24.6%	38.0%	30.3%	3.5%	1.4%	【4.9%】	2.1%
		50 歳代	165	【64.2%】	24.2%	40.0%	29.1%	3.0%	1.8%	【4.8%】	1.8%
		60 歳代	135	【71.9%】	23.7%	48.1%	23.7%	1.5%	0.7%	【2.2%】	2.2%
		70 歳代	154	【55.2%】	9.7%	45.5%	16.2%	1.9%	—	【1.9%】	26.6%
	男性	全体	587	【61.0%】	17.7%	43.3%	30.8%	2.2%	1.0%	【3.2%】	4.9%
		20 歳代以下	53	【54.7%】	20.8%	34.0%	41.5%	1.9%	—	【1.9%】	1.9%
		30 歳代	56	【71.4%】	26.8%	44.6%	21.4%	3.6%	3.6%	【7.1%】	—
		40 歳代	82	【56.1%】	20.7%	35.4%	40.2%	2.4%	1.2%	【3.7%】	—
		50 歳代	130	【55.4%】	11.5%	43.8%	40.8%	2.3%	0.8%	【3.1%】	0.8%
		60 歳代	122	【63.9%】	17.2%	46.7%	30.3%	1.6%	0.8%	【2.5%】	3.3%
		70 歳代	144	【64.6%】	17.4%	47.2%	16.7%	2.1%	0.7%	【2.8%】	16.0%

②-1 職場【就業状況別】

職場における男女の平等感について、就業状況別にみると、就業者及び未就業者は「どちらかと言えば男性優位」、学生は「平等」がそれぞれ最も高くなっています。

就業者の雇用形態別にみると、契約・派遣社員、パート・アルバイトは「平等」が最も高く、それ以外の雇用形態は、「どちらかといえば男性優位」が最も高くなっています。

性・就業状況別にみると、「男性優位」について、女性の正社員・正職員（30.2%）は、男性の正社員・正職員（17.2%）を13ポイント上回っています。

			N	【男性優位感】	男性優位	どちらかといえば男性優位	平等	どちらかといえば女性優位	女性優位	【女性優位感】	無回答
就業状況別	就業者	全体	875	【58.5%】	19.0%	39.5%	35.7%	3.0%	1.5%	【4.5%】	1.4%
		正社員・正職員	435	【61.6%】	22.3%	39.3%	34.3%	1.6%	1.6%	【3.2%】	0.9%
		契約・派遣社員	61	【54.1%】	18.0%	36.1%	37.7%	6.6%	1.6%	【8.2%】	—
		パート・アルバイト	253	【51.4%】	11.9%	39.5%	41.9%	5.1%	0.8%	【5.9%】	0.8%
		自営業者	74	【63.5%】	20.3%	43.2%	23.0%	1.4%	4.1%	【5.4%】	8.1%
		会社等の役員	30	【73.3%】	23.3%	50.0%	26.7%	—	—	—	—
	未就業者		441	【70.3%】	19.3%	51.0%	11.8%	1.6%	0.5%	【2.0%】	15.9%
	学生		52	【46.2%】	17.3%	28.8%	46.2%	1.9%	—	【1.9%】	5.8%
性別	女性	全体	461	【58.4%】	20.2%	38.2%	34.9%	3.5%	1.5%	【5.0%】	1.7%
		正社員・正職員	172	【64.0%】	30.2%	33.7%	30.8%	2.3%	1.7%	【4.1%】	1.2%
		契約・派遣社員	30	【63.3%】	23.3%	40.0%	26.7%	6.7%	3.3%	【10.0%】	—
		パート・アルバイト	212	【51.9%】	11.8%	40.1%	42.0%	4.7%	0.5%	【5.2%】	0.9%
		自営業者	26	【53.8%】	7.7%	46.2%	23.1%	—	7.7%	【7.7%】	15.4%
		会社等の役員	8	【75.0%】	25.0%	50.0%	25.0%	—	—	—	—
		未就業者	285	【71.2%】	20.0%	51.2%	11.2%	1.4%	0.4%	【1.8%】	15.8%
		学生	31	【48.4%】	19.4%	29.0%	38.7%	3.2%	—	【3.2%】	9.7%
	男性	全体	413	【58.8%】	17.7%	41.2%	36.6%	2.4%	1.2%	【3.6%】	1.0%
		正社員・正職員	262	【60.3%】	17.2%	43.1%	36.6%	1.1%	1.1%	【2.3%】	0.8%
		契約・派遣社員	31	【45.2%】	12.9%	32.3%	48.4%	6.5%	—	【6.5%】	—
		パート・アルバイト	41	【48.8%】	12.2%	36.6%	41.5%	7.3%	2.4%	【9.8%】	—
		自営業者	48	【68.8%】	27.1%	41.7%	22.9%	2.1%	2.1%	【4.2%】	4.2%
		会社等の役員	22	【72.7%】	22.7%	50.0%	27.3%	—	—	—	—
		未就業者	154	【68.8%】	18.2%	50.6%	12.3%	1.9%	0.6%	【2.6%】	16.2%
		学生	20	【45.0%】	15.0%	30.0%	55.0%	—	—	—	—

③ 学校教育の場

学校教育の場における男女の平等感について、「平等」が 61.0%と最も高く、次いで「どちらかといえば男性優位」が 22.2%となっています。

年代別にみると、「平等」について、70 歳代（44.6%）を除く全ての年代で 6 割を超えています。性・年代別にみると、【女性優位感】について、男性の 20 歳代以下（9.4%）は、他の年代に比べて 3 ポイント以上高くなっています。

N			【男性優位感】	男性優位	どちらかといえば男性優位	平等	どちらかといえば女性優位	女性優位	【女性優位感】	無回答	
全 体		1,368	【26.1%】	3.9%	22.2%	61.0%	2.6%	0.2%	【2.9%】	10.1%	
年代別	20 歳代以下	144	【19.4%】	3.5%	16.0%	70.1%	6.9%	—	【6.9%】	3.5%	
	30 歳代	148	【25.7%】	4.7%	20.9%	66.9%	3.4%	—	【3.4%】	4.1%	
	40 歳代	226	【26.1%】	4.4%	21.7%	62.8%	4.4%	0.4%	【4.9%】	6.2%	
	50 歳代	295	【23.4%】	4.1%	19.3%	67.5%	2.0%	—	【2.0%】	7.1%	
	60 歳代	257	【31.5%】	3.5%	28.0%	62.3%	0.8%	0.8%	【1.6%】	4.7%	
	70 歳代	298	【27.5%】	3.4%	24.2%	44.6%	1.0%	—	【1.0%】	26.8%	
性別	女性	全体	777	【27.4%】	4.5%	22.9%	59.8%	2.1%	0.1%	【2.2%】	10.6%
		20 歳代以下	89	【21.3%】	3.4%	18.0%	69.7%	5.6%	—	【5.6%】	3.4%
		30 歳代	92	【31.5%】	6.5%	25.0%	60.9%	3.3%	—	【3.3%】	4.3%
		40 歳代	142	【27.5%】	4.9%	22.5%	62.7%	3.5%	—	【3.5%】	6.3%
		50 歳代	165	【26.7%】	3.6%	23.0%	66.7%	0.6%	—	【0.6%】	6.1%
		60 歳代	135	【34.1%】	6.7%	27.4%	60.0%	—	0.7%	【0.7%】	5.2%
		70 歳代	154	【23.4%】	2.6%	20.8%	43.5%	1.3%	—	【1.3%】	31.8%
	男性	全体	587	【24.5%】	3.1%	21.5%	62.4%	3.4%	0.2%	【3.6%】	9.5%
		20 歳代以下	53	【17.0%】	3.8%	13.2%	69.8%	9.4%	—	【9.4%】	3.8%
		30 歳代	56	【16.1%】	1.8%	14.3%	76.8%	3.6%	—	【3.6%】	3.6%
		40 歳代	82	【24.4%】	3.7%	20.7%	63.4%	6.1%	—	【6.1%】	6.1%
		50 歳代	130	【19.2%】	4.6%	14.6%	68.5%	3.8%	—	【3.8%】	8.5%
		60 歳代	122	【28.7%】	—	28.7%	64.8%	1.6%	0.8%	【2.5%】	4.1%
		70 歳代	144	【31.9%】	4.2%	27.8%	45.8%	0.7%	—	【0.7%】	21.5%



④ 政治の場

政治の場における男女の平等感について、「男性優位」が 51.2%と最も高く、次いで「どちらかといえば男性優位」が 35.5%となっています。

年代別にみると、「男性優位」について、70 歳代（39.9%）を除く全ての年代で 5 割を超え、【男性優位感】は 9 割前後となっています。

性別にみると、女性は「女性優位」及び「どちらかといえば女性優位」と回答した人はいませんでした。性・年代別にみると、【男性優位感】について、女性の 30 歳代から 60 歳代及び男性の 30 歳代は 9 割を超えています。

N			【男性優位感】	男性優位	どちらかといえば男性優位	平等	どちらかといえば女性優位	女性優位	【女性優位感】	無回答	
全 体		1,368	【86.7%】	51.2%	35.5%	9.0%	0.1%	0.1%	【0.2%】	4.1%	
年代別	20 歳代以下	144	【88.2%】	57.6%	30.6%	10.4%	—	—	—	1.4%	
	30 歳代	148	【92.6%】	56.8%	35.8%	6.8%	—	—	—	0.7%	
	40 歳代	226	【89.8%】	54.4%	35.4%	8.0%	0.4%	—	【0.4%】	1.8%	
	50 歳代	295	【90.5%】	52.5%	38.0%	8.1%	0.3%	—	【0.3%】	1.0%	
	60 歳代	257	【87.9%】	52.9%	35.0%	8.6%	—	0.4%	【0.4%】	3.1%	
	70 歳代	298	【75.8%】	39.9%	35.9%	11.4%	—	—	—	12.8%	
性別	女性	全体	777	【89.4%】	54.1%	35.4%	6.0%	—	—	—	4.5%
		20 歳代以下	89	【88.8%】	61.8%	27.0%	9.0%	—	—	—	2.2%
		30 歳代	92	【92.4%】	59.8%	32.6%	6.5%	—	—	—	1.1%
		40 歳代	142	【93.0%】	55.6%	37.3%	5.6%	—	—	—	1.4%
		50 歳代	165	【95.8%】	58.8%	37.0%	4.2%	—	—	—	—
		60 歳代	135	【92.6%】	58.5%	34.1%	3.7%	—	—	—	3.7%
		70 歳代	154	【75.3%】	35.7%	39.6%	8.4%	—	—	—	16.2%
	男性	全体	587	【83.1%】	47.4%	35.8%	12.8%	0.3%	0.2%	【0.5%】	3.6%
		20 歳代以下	53	【86.8%】	50.9%	35.8%	13.2%	—	—	—	—
		30 歳代	56	【92.9%】	51.8%	41.1%	7.1%	—	—	—	—
		40 歳代	82	【85.4%】	52.4%	32.9%	11.0%	1.2%	—	【1.2%】	2.4%
		50 歳代	130	【83.8%】	44.6%	39.2%	13.1%	0.8%	—	【0.8%】	2.3%
		60 歳代	122	【82.8%】	46.7%	36.1%	13.9%	—	0.8%	【0.8%】	2.5%
		70 歳代	144	【76.4%】	44.4%	31.9%	14.6%	—	—	—	9.0%

⑤ 法律や制度上

法律や制度上の男女の平等感について、「どちらかといえば男性優位」が 41.0%と最も高く、次いで「平等」が 30.0%となっています。

年代別にみると、【女性優位感】について、30 歳代（11.5%）は、他の年代に比べて 3 ポイント以上高くなっています。

性別にみると、女性は、「どちらかといえば男性優位」が 44.0%、男性は、「平等」が 38.2%とそれぞれ最も高くなっています。性・年代別にみると、女性は全ての年代で「どちらかといえば男性優位」が最も高くなっています。一方、男性の 60 歳代は「どちらかといえば男性優位」が 46.7%と最も高くなっていますが、それ以外の年代は「平等」が最も高くなっています。

			N	【男性優位感】	男性優位	どちらかといえば男性優位	平等	どちらかといえば女性優位	女性優位	【女性優位感】	無回答
全 体			1,368	【59.7%】	18.7%	41.0%	30.0%	4.5%	0.6%	【5.1%】	5.1%
年代別	20 歳代以下		144	【58.3%】	20.8%	37.5%	31.3%	6.3%	2.1%	【8.3%】	2.1%
	30 歳代		148	【58.1%】	23.0%	35.1%	28.4%	11.5%	—	【11.5%】	2.0%
	40 歳代		226	【64.2%】	21.7%	42.5%	28.8%	4.4%	0.4%	【4.9%】	2.2%
	50 歳代		295	【61.4%】	21.4%	40.0%	31.5%	4.7%	0.7%	【5.4%】	1.7%
	60 歳代		257	【64.2%】	17.1%	47.1%	29.6%	3.1%	0.8%	【3.9%】	2.3%
	70 歳代		298	【52.3%】	12.1%	40.3%	30.2%	1.3%	—	【1.3%】	16.1%
性別	女性	全体	777	【67.2%】	23.2%	44.0%	23.9%	2.6%	0.1%	【2.7%】	6.2%
		20 歳代以下	89	【65.2%】	24.7%	40.4%	28.1%	3.4%	—	【3.4%】	3.4%
		30 歳代	92	【67.4%】	29.3%	38.0%	22.8%	7.6%	—	【7.6%】	2.2%
		40 歳代	142	【72.5%】	26.1%	46.5%	22.5%	2.8%	—	【2.8%】	2.1%
		50 歳代	165	【71.5%】	26.1%	45.5%	24.2%	2.4%	0.6%	【3.0%】	1.2%
		60 歳代	135	【71.9%】	24.4%	47.4%	24.4%	0.7%	—	【0.7%】	3.0%
		70 歳代	154	【54.5%】	11.7%	42.9%	22.7%	0.6%	—	【0.6%】	22.1%
	男性	全体	587	【49.9%】	12.8%	37.1%	38.2%	7.2%	1.0%	【8.2%】	3.7%
		20 歳代以下	53	【47.2%】	15.1%	32.1%	35.8%	11.3%	5.7%	【17.0%】	—
		30 歳代	56	【42.9%】	12.5%	30.4%	37.5%	17.9%	—	【17.9%】	1.8%
		40 歳代	82	【50.0%】	13.4%	36.6%	40.2%	7.3%	—	【7.3%】	2.4%
		50 歳代	130	【48.5%】	15.4%	33.1%	40.8%	7.7%	0.8%	【8.5%】	2.3%
		60 歳代	122	【55.7%】	9.0%	46.7%	35.2%	5.7%	1.6%	【7.4%】	1.6%
		70 歳代	144	【50.0%】	12.5%	37.5%	38.2%	2.1%	—	【2.1%】	9.7%

⑥ 社会通念・慣習・しきたり

社会通念・慣習・しきたりの男女の平等感について、「どちらかといえば男性優位」が51.0%と最も高く、次いで「男性優位」が27.6%となっています。

性別にみると、女性、男性ともに「どちらかといえば男性優位」が最も高くなっていますが、次いで高いのは、女性は、「男性優位」(34.5%)、男性は、「平等」(20.4%)となっています。性・年代別にみると、「平等」について、男性の20歳代以下(28.3%)は、他の性・年代に比べて7ポイント以上高くなっています。

			N	【男性優位感】	男性優位	どちらかといえば男性優位	平等	どちらかといえば女性優位	女性優位	【女性優位感】	無回答
全 体			1,368	【78.5%】	27.6%	51.0%	15.9%	1.2%	0.3%	【1.5%】	4.1%
年代別	20 歳代以下		144	【74.3%】	29.2%	45.1%	21.5%	2.1%	—	【2.1%】	2.1%
	30 歳代		148	【83.1%】	31.8%	51.4%	12.2%	2.0%	1.4%	【3.4%】	1.4%
	40 歳代		226	【81.9%】	34.1%	47.8%	13.3%	0.9%	0.9%	【1.8%】	3.1%
	50 歳代		295	【83.4%】	30.5%	52.9%	14.9%	1.0%	—	【1.0%】	0.7%
	60 歳代		257	【82.5%】	26.5%	56.0%	15.6%	0.4%	—	【0.4%】	1.6%
	70 歳代		298	【67.4%】	17.8%	49.7%	18.1%	1.7%	—	【1.7%】	12.8%
性別	女性	全体	777	【82.1%】	34.5%	47.6%	12.5%	0.9%	0.1%	【1.0%】	4.4%
		20 歳代以下	89	【77.5%】	33.7%	43.8%	18.0%	1.1%	—	【1.1%】	3.4%
		30 歳代	92	【89.1%】	38.0%	51.1%	7.6%	2.2%	—	【2.2%】	1.1%
		40 歳代	142	【85.9%】	41.5%	44.4%	10.6%	—	0.7%	【0.7%】	2.8%
		50 歳代	165	【88.5%】	38.8%	49.7%	10.9%	0.6%	—	【0.6%】	—
		60 歳代	135	【88.1%】	39.3%	48.9%	10.4%	—	—	—	1.5%
		70 歳代	154	【64.9%】	17.5%	47.4%	17.5%	1.9%	—	【1.9%】	15.6%
	男性	全体	587	【73.8%】	18.4%	55.4%	20.4%	1.7%	0.3%	【2.0%】	3.7%
		20 歳代以下	53	【67.9%】	20.8%	47.2%	28.3%	3.8%	—	【3.8%】	—
		30 歳代	56	【73.2%】	21.4%	51.8%	19.6%	1.8%	3.6%	【5.4%】	1.8%
		40 歳代	82	【75.6%】	22.0%	53.7%	18.3%	2.4%	—	【2.4%】	3.7%
		50 歳代	130	【76.9%】	20.0%	56.9%	20.0%	1.5%	—	【1.5%】	1.5%
		60 歳代	122	【76.2%】	12.3%	63.9%	21.3%	0.8%	—	【0.8%】	1.6%
		70 歳代	144	【70.1%】	18.1%	52.1%	18.8%	1.4%	—	【1.4%】	9.7%

⑦ 地域活動（自治会・PTA・ボランティア活動など）

地域活動における男女の平等感について、「平等」が42.5%と最も高く、次いで「どちらかといえば男性優位」が32.7%となっています。

年代別にみると、60歳代を除く全ての年代で、「平等」が最も高くなっています。

性別にみると、「平等」について、男性（50.4%）は、女性（36.4%）を14ポイント上回っています。性・年代別にみると、女性の40歳代から60歳代は「どちらかといえば男性優位」が最も高くなっていますが、それ以外の性・年代は「平等」が最も高くなっています。

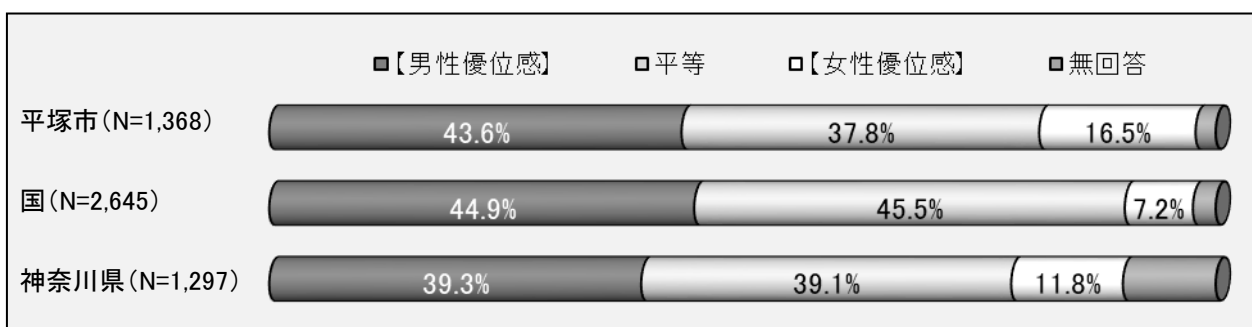
			N	【男性優位感】	男性優位	どちらかといえば男性優位	平等	どちらかといえば女性優位	女性優位	【女性優位感】	無回答
全 体			1,368	【41.3%】	8.6%	32.7%	42.5%	10.5%	1.2%	【11.8%】	4.5%
年代別	20 歳代以下		144	【27.8%】	7.6%	20.1%	59.0%	8.3%	2.8%	【11.1%】	2.1%
	30 歳代		148	【38.5%】	9.5%	29.1%	45.9%	11.5%	2.7%	【14.2%】	1.4%
	40 歳代		226	【37.6%】	8.4%	29.2%	38.5%	16.4%	3.1%	【19.5%】	4.4%
	50 歳代		295	【42.7%】	10.5%	32.2%	43.1%	11.5%	0.3%	【11.9%】	2.4%
	60 歳代		257	【50.6%】	8.2%	42.4%	38.1%	9.7%	—	【9.7%】	1.6%
	70 歳代		298	【42.6%】	7.4%	35.2%	38.9%	6.4%	0.3%	【6.7%】	11.7%
性別	女性	全体	777	【46.5%】	10.4%	36.0%	36.4%	11.2%	1.2%	【12.4%】	4.8%
		20 歳代以下	89	【32.6%】	7.9%	24.7%	51.7%	10.1%	2.2%	【12.4%】	3.4%
		30 歳代	92	【43.5%】	10.9%	32.6%	44.6%	7.6%	2.2%	【9.8%】	2.2%
		40 歳代	142	【43.7%】	11.3%	32.4%	31.7%	16.9%	3.5%	【20.4%】	4.2%
		50 歳代	165	【53.3%】	13.9%	39.4%	32.1%	13.3%	—	【13.3%】	1.2%
		60 歳代	135	【59.3%】	10.4%	48.9%	31.1%	8.1%	—	【8.1%】	1.5%
		70 歳代	154	【40.3%】	7.1%	33.1%	36.4%	9.1%	—	【9.1%】	14.3%
	男性	全体	587	【34.8%】	6.3%	28.4%	50.4%	9.5%	1.2%	【10.7%】	4.1%
		20 歳代以下	53	【20.8%】	7.5%	13.2%	69.8%	5.7%	3.8%	【9.4%】	—
		30 歳代	56	【30.4%】	7.1%	23.2%	48.2%	17.9%	3.6%	【21.4%】	—
		40 歳代	82	【28.0%】	3.7%	24.4%	51.2%	14.6%	1.2%	【15.9%】	4.9%
		50 歳代	130	【29.2%】	6.2%	23.1%	56.9%	9.2%	0.8%	【10.0%】	3.8%
		60 歳代	122	【41.0%】	5.7%	35.2%	45.9%	11.5%	—	【11.5%】	1.6%
		70 歳代	144	【45.1%】	7.6%	37.5%	41.7%	3.5%	0.7%	【4.2%】	9.0%

他調査との比較

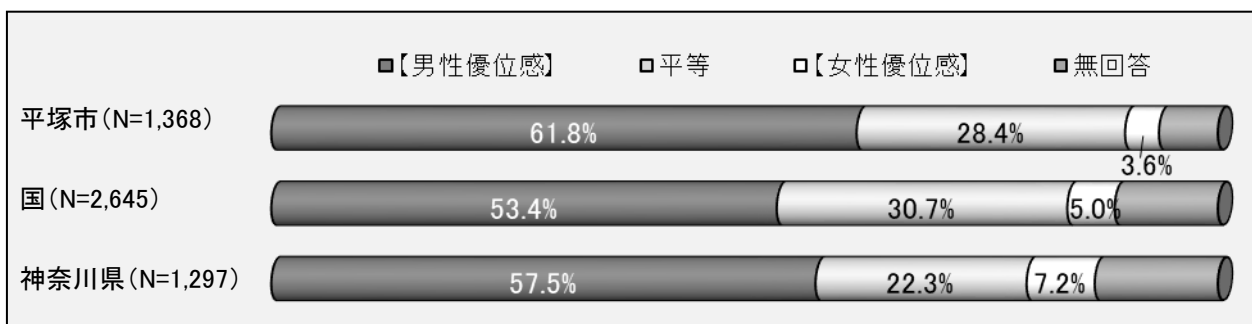
令和元年度に国が実施した調査と比較すると、【男性優位感】について、「①家庭生活」を除く全ての項目において、平塚市が国を上回っています。また、【女性優位感】について、「①家庭生活」は、平塚市（16.5%）が、国（7.2%）を9ポイント上回っています。

平成28年度に神奈川県が実施した調査（7項目中、「④政治の場」、「⑤法律や制度上」を除く5項目が該当）と比較すると、【男性優位感】は、全て平塚市が神奈川県を上回っています。

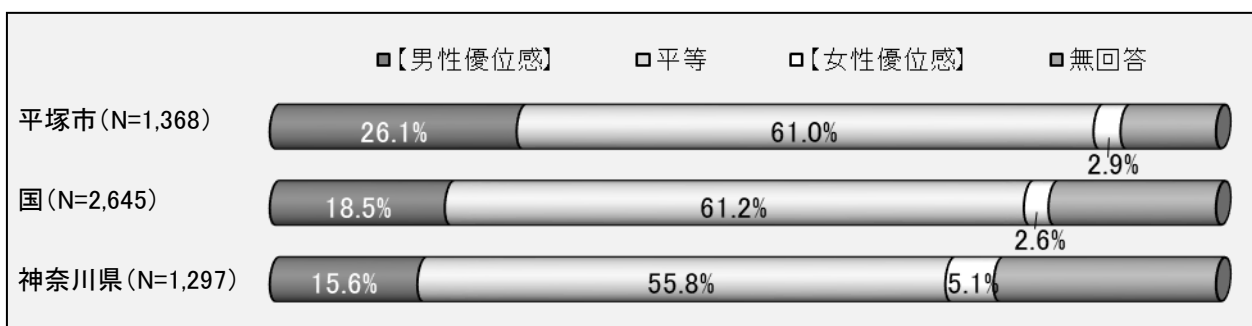
① 家庭生活



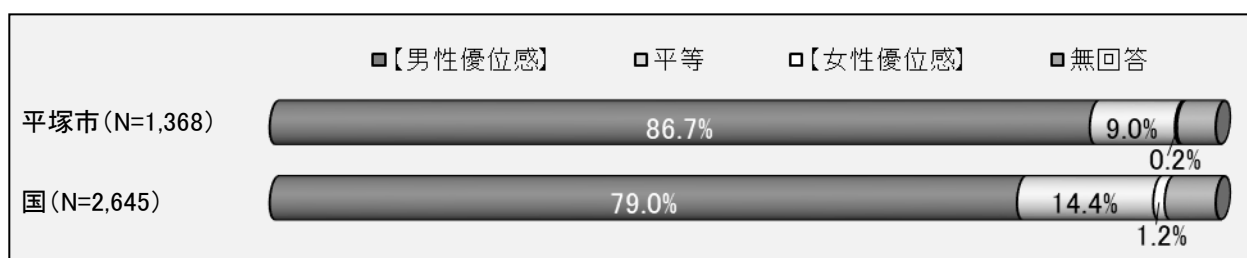
② 職場



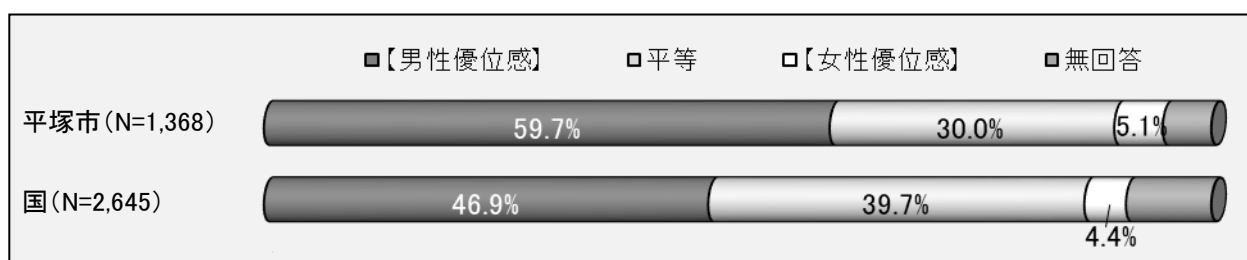
③ 学校教育の場



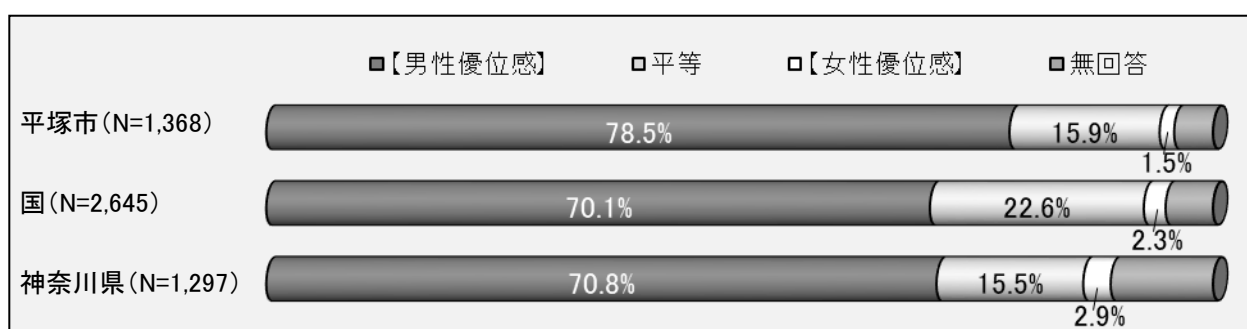
④ 政治の場



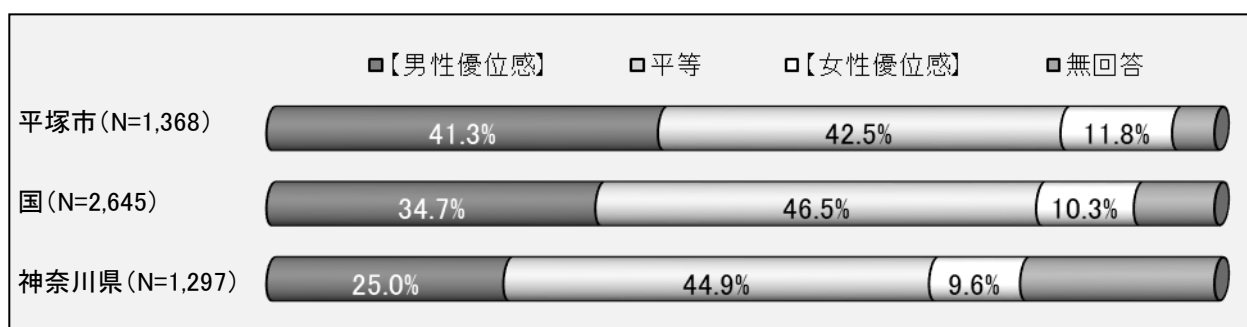
⑤ 法律や制度上



⑥ 社会通念・慣習・しきたり



⑦ 地域活動（自治会・PTA・ボランティア活動など）



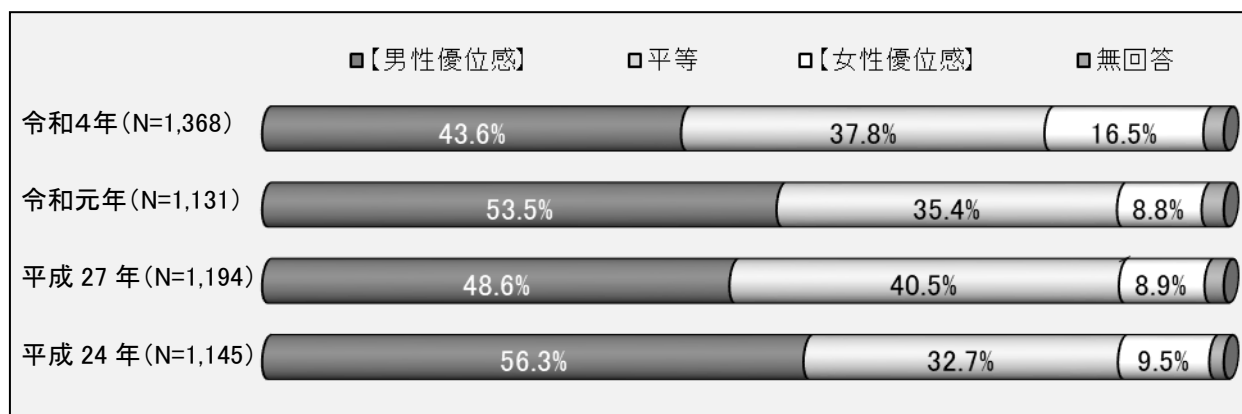
資料：内閣府「男女共同参画に関する世論調査」（令和元年度）
神奈川県「県民ニーズ調査（課題調査）」（平成28年度）

経年比較

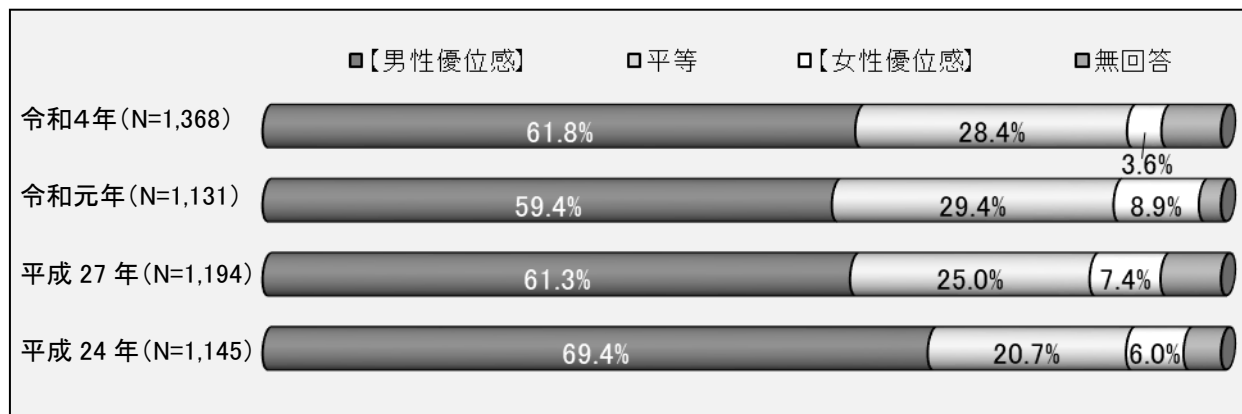
過去に実施した調査と比較すると、「①家庭生活」について、【男性優位感】は、前回調査（53.5%）から9ポイント下がり、【女性優位感】は、前回調査（8.8%）から7ポイント上がっています。

「⑤法律や制度上」について、【男性優位感】は、平成24年度調査（47.0%）から徐々に上がる一方で、「平等」（40.0%）及び【女性優位感】（11.2%）は平成24年度調査から徐々に下がる一方になっています。

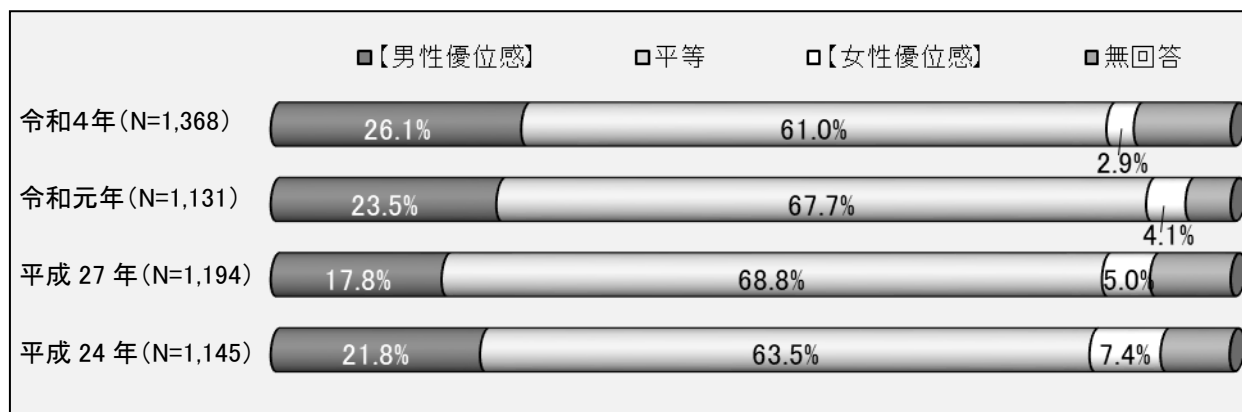
① 家庭生活



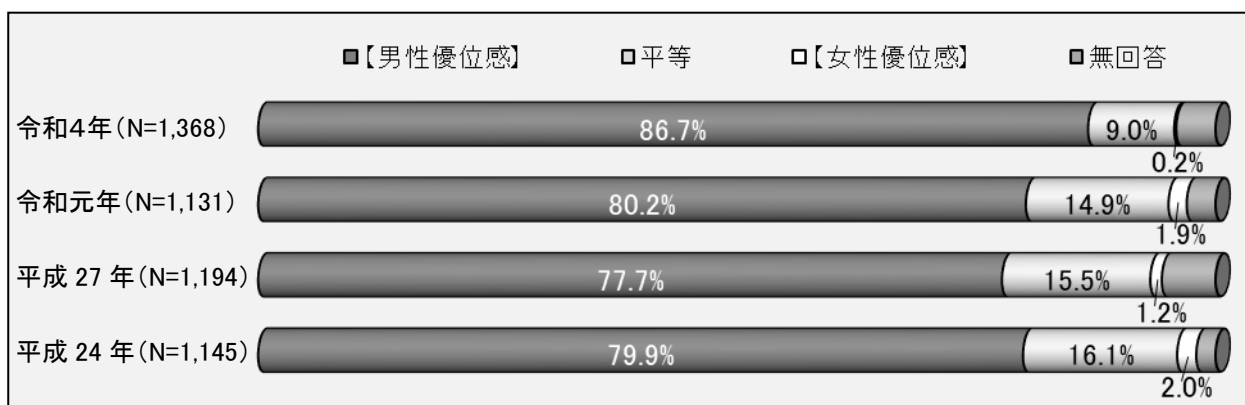
② 職場



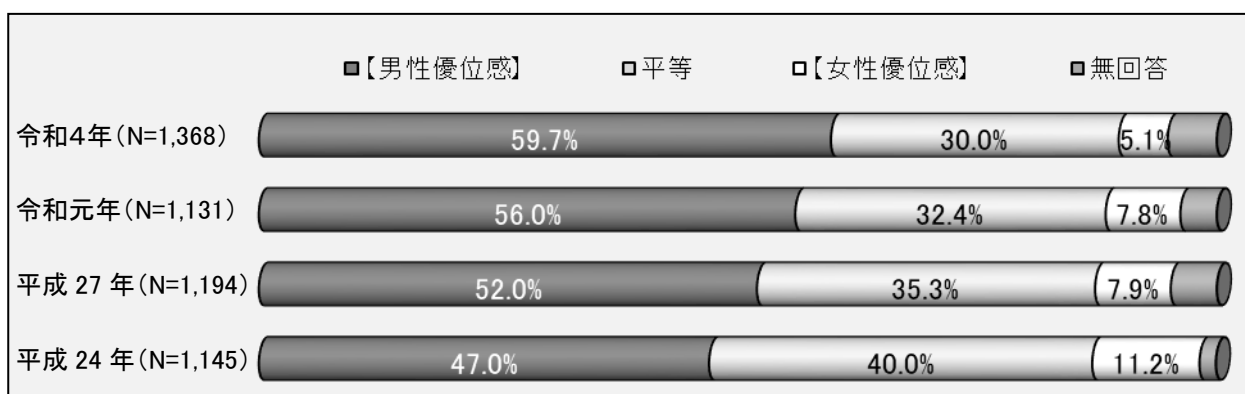
③ 学校教育の場



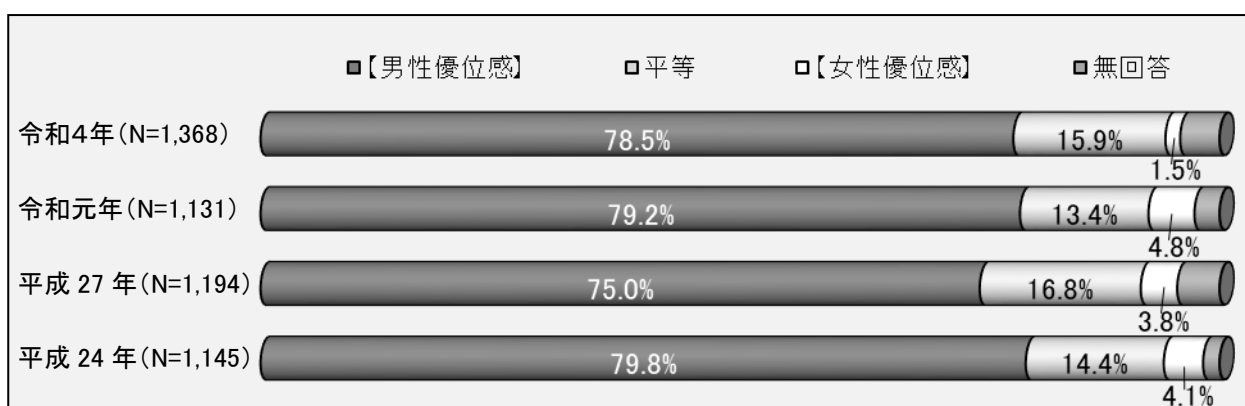
④ 政治の場



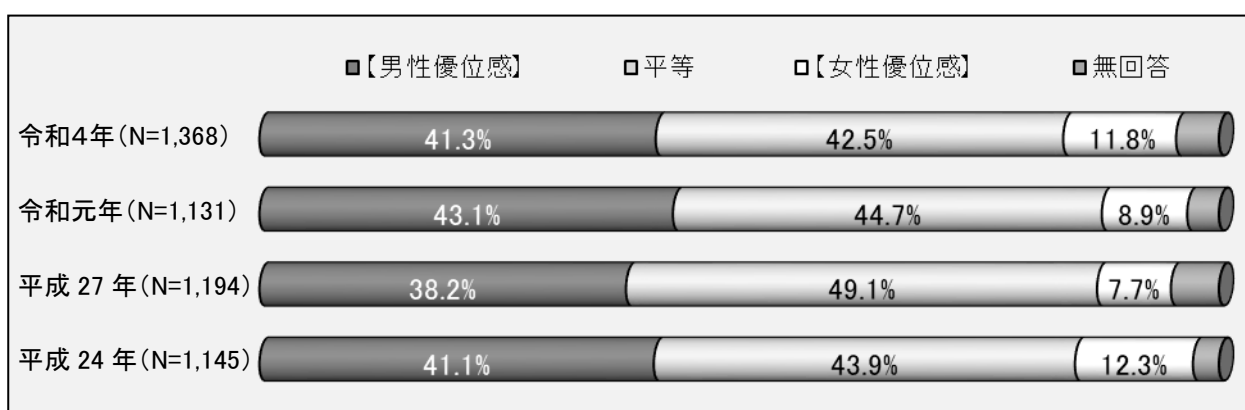
⑤ 法律や制度上



⑥ 社会通念・慣習・しきたり



⑦ 地域活動（自治会・PTA・ボランティア活動など）



問2 「夫は外で働き、妻は家庭を守るべき」という考え方について、どう思いますか。あてはまるものを1つ選んでください。

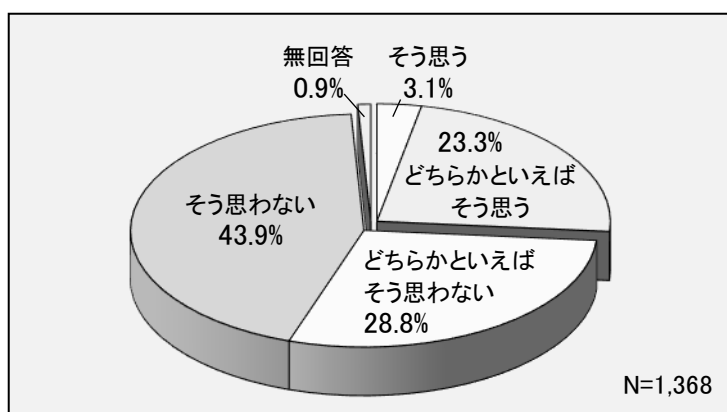
※【同感する】・・「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」を合わせたもの

【同感しない】・・「そう思わない」と「どちらかといえばそう思わない」を合わせたもの

「夫は外で働き、妻は家庭を守るべき」という考え方について、「そう思わない」が43.9%と最も高く、次いで「どちらかといえばそう思わない」が28.8%となっており、【同感しない】は72.7%と7割を超えています。

年代別にみると、全ての年代において「そう思わない」が最も高くなっており、20歳代以下(56.9%)が最も高く、年代が上がるにつれて、徐々に低下しています。

性別にみると、女性、男性ともに「そう思わない」が最も高くなっていますが、次いで高いのは、女性は、「どちらかといえばそう思わない」、男性は、「どちらかといえばそう思う」及び「どちらかといえばそう思わない」となっています。性・年代別にみると、全ての性・年代において【同感しない】が【同感する】を上回っていますが、特に20歳代以下の女性は、【同感しない】(88.8%)が【同感する】(9.0%)を79ポイント上回っています。また、70歳代の男性のみ、肯定的である「どちらかといえばそう思う」が36.8%と最も高くなっています。



◎平塚市の現状(ひらつか男女共同参画プラン2017関連男女別統計)

【固定的な男女の役割分担意識の考え方に同感しない人の割合(全体)】

72.7%という結果になり、前回調査と比較して5ポイント上がっています。

令和4年度(N=1,368)	72.7%
令和元年度(N=1,131)	67.0%
平成27年度(N=1,194)	55.0%

● 固定的な男女の役割分担意識【年代別／性別】

			N	【同感する】	そう思う	どちらかといえば そう思う	どちらかといえば そう思わない	そう思わない	【同感しない】	無回答
全 体			1,368	【26.4%】	3.1%	23.3%	28.8%	43.9%	【72.7%】	0.9%
年代別	20 歳代以下		144	【10.4%】	1.4%	9.0%	31.3%	56.9%	【88.2%】	1.4%
	30 歳代		148	【25.7%】	2.0%	23.6%	23.0%	51.4%	【74.3%】	—
	40 歳代		226	【25.7%】	3.1%	22.6%	25.2%	48.7%	【73.9%】	0.4%
	50 歳代		295	【26.4%】	2.0%	24.4%	28.5%	44.1%	【72.5%】	1.0%
	60 歳代		257	【24.9%】	4.3%	20.6%	33.9%	40.9%	【74.7%】	0.4%
	70 歳代		298	【36.2%】	4.4%	31.9%	29.2%	32.9%	【62.1%】	1.7%
性別	女性	全体	777	【22.0%】	1.9%	20.1%	29.3%	47.6%	【77.0%】	1.0%
		20 歳代以下	89	【9.0%】	1.1%	7.9%	25.8%	62.9%	【88.8%】	2.2%
		30 歳代	92	【19.6%】	1.1%	18.5%	23.9%	56.5%	【80.4%】	—
		40 歳代	142	【26.1%】	2.1%	23.9%	26.1%	47.2%	【73.2%】	0.7%
		50 歳代	165	【22.4%】	0.6%	21.8%	30.3%	46.1%	【76.4%】	1.2%
		60 歳代	135	【17.0%】	2.2%	14.8%	31.1%	51.9%	【83.0%】	—
		70 歳代	154	【31.2%】	3.9%	27.3%	35.1%	31.8%	【66.9%】	1.9%
	男性	全体	587	【32.4%】	4.6%	27.8%	27.8%	39.2%	【67.0%】	0.7%
		20 歳代以下	53	【13.2%】	1.9%	11.3%	39.6%	47.2%	【86.8%】	—
		30 歳代	56	【35.7%】	3.6%	32.1%	21.4%	42.9%	【64.3%】	—
		40 歳代	82	【25.6%】	4.9%	20.7%	22.0%	52.4%	【74.4%】	—
		50 歳代	130	【31.5%】	3.8%	27.7%	26.2%	41.5%	【67.7%】	0.8%
		60 歳代	122	【33.6%】	6.6%	27.0%	36.9%	28.7%	【65.6%】	0.8%
		70 歳代	144	【41.7%】	4.9%	36.8%	22.9%	34.0%	【56.9%】	1.4%



◎ 平塚市の現状（ひらつか男女共同参画プラン2017関連男女別統計）

【固定的な男女の役割分担意識の考え方に同感しない人の割合（10～20 歳代）】
88.2%という結果になり、前回調査と比較して8ポイント上がっています。

令和4年度(N=144)	88.2%
令和元年度(N=133)	79.7%
平成 27 年度(N=144)	58.0%

問2－1 固定的な男女の役割分担意識【就業状況別】

「夫は外で働き、妻は家庭を守るべき」という考え方について、就業状況別にみると、就業者及び学生は「そう思わない」、未就業者は「どちらかといえばそう思わない」がそれぞれ最も高くなっています。就業者の雇用形態別にみますと、会社等の役員を除く全ての雇用形態で「そう思わない」が最も高く、会社等の役員は、「どちらかといえばそう思う」が最も高くなっています。

性・就業状況別にみると、女性、男性ともに【同感しない】は学生が最も高くなっています。

			N	【同感する】	そう思う	どちらかといえば そう思う	どちらかといえば そう思わない	そう思わない	【同感しない】	無回答
就業状況別	就業者	全体	875	【24.1%】	2.2%	21.9%	27.0%	48.0%	【75.0%】	0.9%
		正社員・正職員	435	【22.1%】	2.1%	20.0%	25.7%	51.3%	【77.0%】	0.9%
		契約・派遣社員	61	【19.7%】	1.6%	18.0%	31.1%	47.5%	【78.7%】	1.6%
		パート・アルバイト	253	【26.1%】	1.6%	24.5%	28.5%	45.1%	【73.5%】	0.4%
		自営業者	74	【27.0%】	5.4%	21.6%	25.7%	45.9%	【71.6%】	1.4%
		会社等の役員	30	【40.0%】	3.3%	36.7%	33.3%	26.7%	【60.0%】	—
		未就業者	441	【32.9%】	4.8%	28.1%	33.6%	32.7%	【66.2%】	0.9%
	学生		52	【9.6%】	3.8%	5.8%	19.2%	71.2%	【90.4%】	—
性別	女性	全体	461	【17.6%】	0.9%	16.7%	25.4%	55.7%	【81.1%】	1.3%
		正社員・正職員	172	【10.5%】	—	10.5%	25.6%	62.2%	【87.8%】	1.7%
		契約・派遣社員	30	【13.3%】	—	13.3%	13.3%	73.3%	【86.7%】	—
		パート・アルバイト	212	【23.1%】	1.4%	21.7%	27.8%	48.6%	【76.4%】	0.5%
		自営業者	26	【19.2%】	—	19.2%	11.5%	65.4%	【76.9%】	3.8%
		会社等の役員	8	【37.5%】	12.5%	25.0%	50.0%	12.5%	【62.5%】	—
		未就業者	285	【30.5%】	3.5%	27.0%	37.2%	31.6%	【68.8%】	0.7%
		学生	31	【9.7%】	3.2%	6.5%	16.1%	74.2%	【90.3%】	—
	男性	全体	413	【31.5%】	3.6%	27.8%	28.6%	39.5%	【68.0%】	0.5%
		正社員・正職員	262	【29.8%】	3.4%	26.3%	25.6%	44.3%	【69.8%】	0.4%
		契約・派遣社員	31	【25.8%】	3.2%	22.6%	48.4%	22.6%	【71.0%】	3.2%
		パート・アルバイト	41	【41.5%】	2.4%	39.0%	31.7%	26.8%	【58.5%】	—
		自営業者	48	【31.3%】	8.3%	22.9%	33.3%	35.4%	【68.8%】	—
		会社等の役員	22	【40.9%】	—	40.9%	27.3%	31.8%	【59.1%】	—
		未就業者	154	【37.7%】	7.1%	30.5%	26.0%	35.1%	【61.0%】	1.3%
		学生	20	【10.0%】	5.0%	5.0%	25.0%	65.0%	【90.0%】	—

問2-2 固定的な男女の役割分担意識【結婚の状況別】

「夫は外で働き、妻は家庭を守るべき」という考え方について、結婚の状況別にみると、未婚者、既婚者等ともに「そう思わない」が最も高くなっていますが、未婚者（55.1%）が既婚者等（39.6%）を15ポイント上回っています。

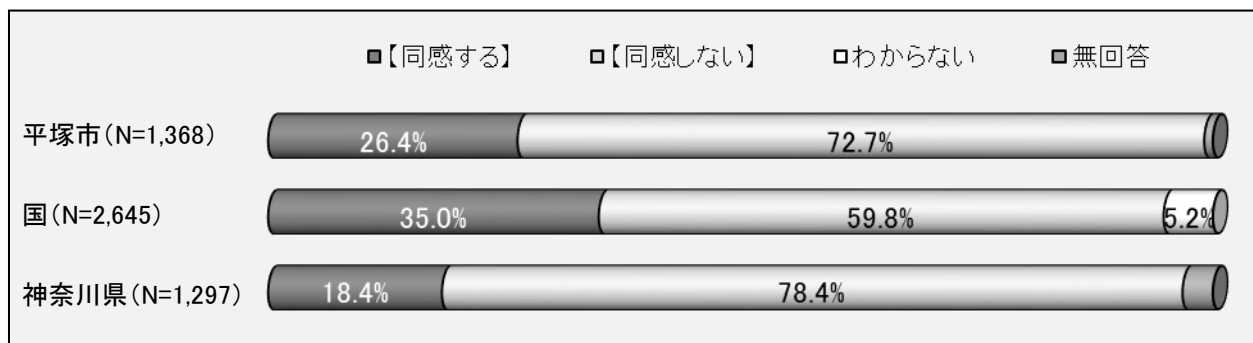
性別にみると、「そう思わない」は、女性は未婚者（66.4%）が既婚者等（42.7%）を23ポイント上回っており、男性は未婚者（44.4%）が既婚者等（35.7%）を8ポイント上回っています。

N			【同感する】	そう思う	どちらかといえば そう思う	どちらかといえば そう思わない	そう思わない	【同感しない】	無回答
全体	未婚者	296	【18.6%】	4.1%	14.5%	25.0%	55.1%	【80.1%】	1.4%
	既婚者等	934	【29.6%】	3.0%	26.6%	30.5%	39.6%	【70.1%】	0.3%
女性	未婚者	143	【11.2%】	0.7%	10.5%	21.0%	66.4%	【87.4%】	1.4%
	既婚者等	534	【24.9%】	2.4%	22.5%	31.8%	42.7%	【74.5%】	0.6%
男性	未婚者	151	【25.8%】	7.3%	18.5%	28.5%	44.4%	【72.8%】	1.3%
	既婚者等	398	【35.9%】	3.8%	32.2%	28.4%	35.7%	【64.1%】	—

他調査との比較

令和元年度に国が実施した調査と比較すると、【同感する】は、国（35.0%）が平塚市（26.4%）を8ポイント上回り、【同感しない】は、平塚市（72.7%）が国（59.8%）を12ポイント上回っています。

平成28年度に神奈川県が実施した調査と比較すると、【同感する】は、平塚市（26.4%）が神奈川県（18.4%）を8ポイント上回り、【同感しない】は、神奈川県（78.4%）が平塚市（72.7%）を5ポイント上回っています。

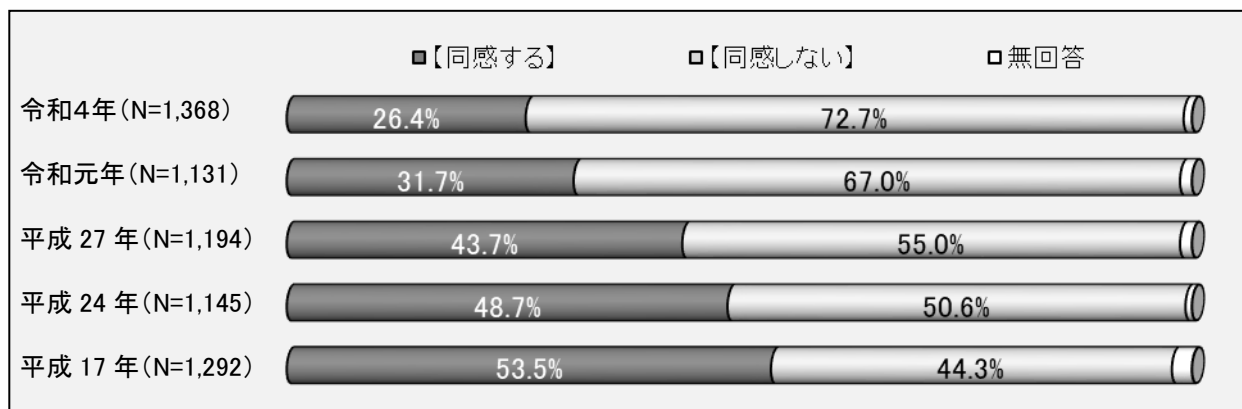


資料：内閣府「男女共同参画に関する世論調査」（令和元年度）
神奈川県「県民ニーズ調査（課題調査）」（平成28年度）

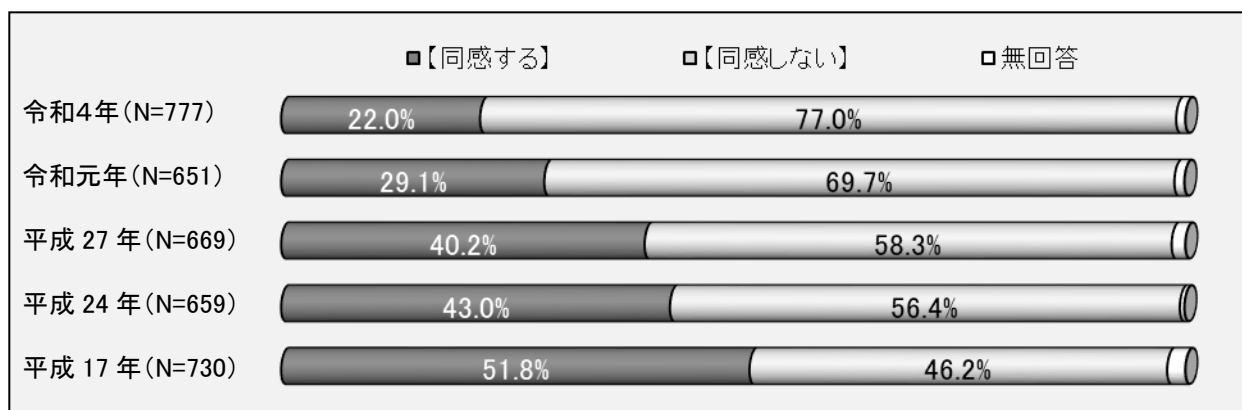
経年比較

過去に実施した調査と比較すると、平成 17 年度調査では【同感する】(53.5%)が【同感しない】(44.3%)を9ポイント上回っていましたが、平成 24 年度調査では【同感しない】(50.6%)が【同感する】(48.7%)を1ポイント上回りました。その後、平成 27 年度は11ポイント、令和元年度は35ポイント、令和4年度は46ポイント、それぞれ【同感しない】が【同感する】を上回っています。

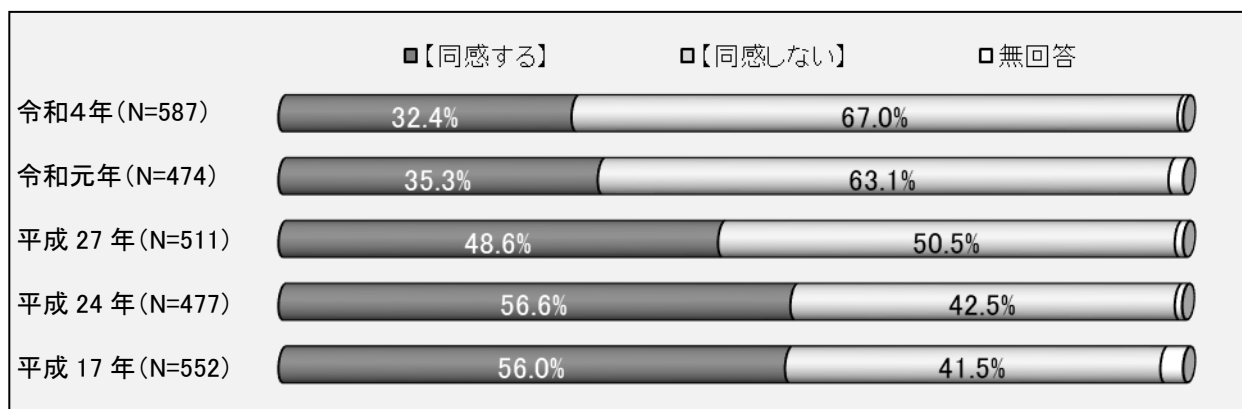
●全体



●女性

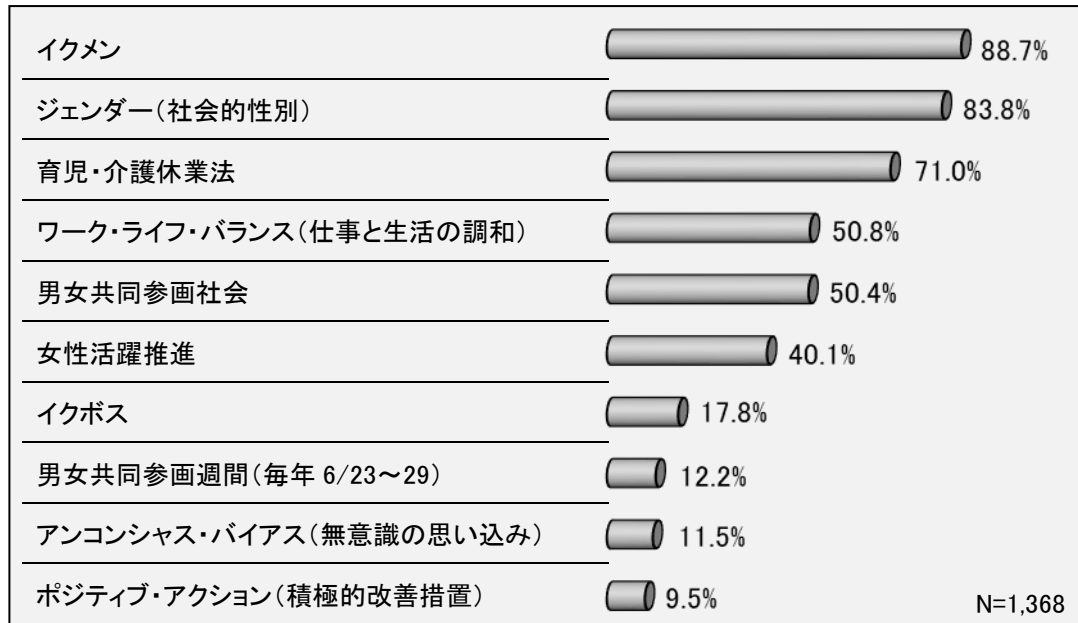


●男性

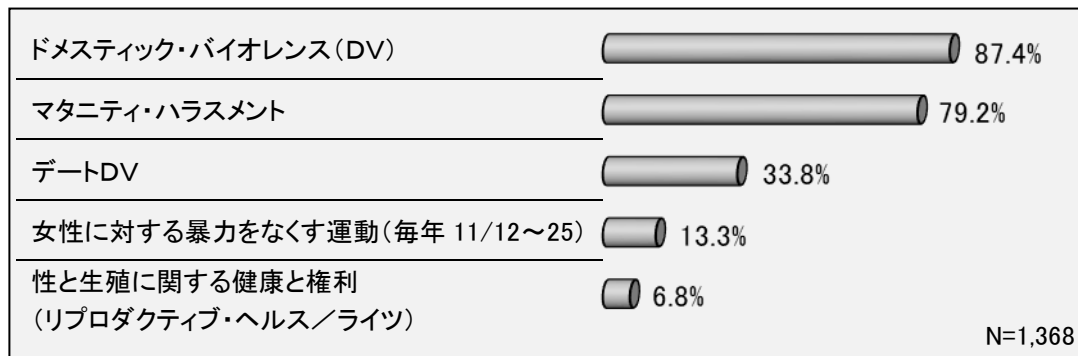


問3 男女共同参画に関する次の言葉のうち、見たり聞いたりしたことがあるものはありますか。あてはまるものをすべてを選んでください。

●男女共同参画の推進に関する言葉



●女性の人権に関する言葉



◎平塚市の現状(ひらつか男女共同参画プラン2017関連男女別統計)

【マタニティ・ハラスメントという言葉を知っている市民の割合】

79.2%という結果になり、前回調査と比較して3ポイント下がっています。
性別にみると、女性は4ポイント下がり、男性は1ポイント下がっています。

	全体	女性	男性
令和4年度(N=1,368)	79.2%	82.0%	75.8%
令和元年度(N=1,131)	82.9%	86.6%	77.6%
平成27年度(N=1,194)	84.5%	85.1%	83.6%

① 男女共同参画の推進に関する言葉

男女共同参画の推進に関する言葉の認知について、「イクメン」が88.7%と最も高く、次いで「ジェンダー」が83.8%、「育児・介護休業法」が71.0%と続いています。

年代別にみると、「ワーク・ライフ・バランス」は年代が上がるにつれて低下していますが、「イクボス」は、70歳代を除き、年代が上がるにつれて上昇しています。

性別にみると、「イクメン」は、女性（92.5%）が男性（83.8%）を8ポイント上回っています。また、「男女共同参画社会」は、男性（57.9%）が女性（44.9%）を13ポイント上回っています。

			N	イクメン	ジェンダー	育児・介護休業法	ワーク・ライフ・バランス	男女共同参画社会	女性活躍推進	イクボス	男女共同参画週間	アンコンシャス・バイアス	ポジティブ・アクション
全 体			1,368	88.7%	83.8%	71.0%	50.8%	50.4%	40.1%	17.8%	12.2%	11.5%	9.5%
年代別	20 歳代以下		144	93.1%	93.8%	67.4%	72.9%	65.3%	41.0%	6.9%	17.4%	14.6%	13.2%
	30 歳代		148	89.9%	89.2%	73.0%	68.9%	51.4%	44.6%	9.5%	12.2%	12.8%	7.4%
	40 歳代		226	91.6%	89.8%	67.7%	58.0%	38.5%	39.4%	18.6%	11.1%	11.1%	9.3%
	50 歳代		295	90.8%	87.8%	76.9%	51.9%	46.4%	42.4%	20.0%	8.5%	12.9%	7.5%
	60 歳代		257	89.5%	83.3%	77.0%	43.2%	52.9%	37.4%	21.8%	9.7%	10.1%	8.6%
	70 歳代		298	80.9%	68.5%	63.1%	31.2%	53.7%	37.9%	21.1%	16.4%	9.4%	11.7%
性別	女性	全体	777	92.5%	85.2%	72.3%	48.4%	44.9%	38.9%	17.4%	11.1%	9.9%	9.0%
		20 歳代以下	89	95.5%	96.6%	71.9%	73.0%	67.4%	42.7%	9.0%	20.2%	14.6%	18.0%
		30 歳代	92	90.2%	90.2%	75.0%	64.1%	48.9%	51.1%	10.9%	12.0%	13.0%	5.4%
		40 歳代	142	93.0%	90.8%	69.0%	54.2%	31.7%	40.1%	16.9%	10.6%	8.5%	7.7%
		50 歳代	165	93.9%	89.1%	78.8%	49.1%	46.1%	40.0%	20.6%	8.5%	11.5%	7.9%
		60 歳代	135	97.8%	86.7%	79.3%	39.3%	41.5%	34.8%	23.0%	9.6%	7.4%	6.7%
		70 歳代	154	85.7%	64.9%	61.0%	26.6%	43.5%	30.5%	18.2%	9.7%	7.1%	10.4%
	男性	全体	587	83.8%	82.1%	69.3%	54.0%	57.9%	41.7%	18.4%	13.8%	13.5%	10.2%
		20 歳代以下	53	88.7%	88.7%	62.3%	73.6%	62.3%	37.7%	1.9%	13.2%	15.1%	5.7%
		30 歳代	56	89.3%	87.5%	69.6%	76.8%	55.4%	33.9%	7.1%	12.5%	12.5%	10.7%
		40 歳代	82	91.5%	89.0%	64.6%	64.6%	51.2%	39.0%	22.0%	12.2%	14.6%	12.2%
		50 歳代	130	86.9%	86.2%	74.6%	55.4%	46.9%	45.4%	19.2%	8.5%	14.6%	6.9%
		60 歳代	122	80.3%	79.5%	74.6%	47.5%	65.6%	40.2%	20.5%	9.8%	13.1%	10.7%
		70 歳代	144	75.7%	72.2%	65.3%	36.1%	64.6%	45.8%	24.3%	23.6%	11.8%	13.2%

①-1 男女共同参画の推進に関する言葉【就業状況別】

男女共同参画の推進に関する言葉の認知について、就業状況別にみると、学生は、「ジェンダー」(96.2%)、「ワーク・ライフ・バランス」(73.1%)、「男女共同参画社会」(75.0%)、「男女共同参画週間」(17.3%)、「アンコンシャス・バイアス」(17.3%)、「ポジティブ・アクション」(11.5%)の認知度が最も高く、会社等の役員は、「イクメン」(93.3%)、「育児・介護休業法」(83.3%)、「女性活躍推進」(46.7%)、「イクボス」(26.7%)の認知度が最も高くなっています。また、就業者の中で、「ワーク・ライフ・バランス」は、正社員・正職員(68.3%)が最も高く、他の雇用形態よりも14ポイント以上高くなっています。

			N	イクメン	ジェンダー	育児・介護休業法	ワーク・ライフ・バランス	男女共同参画社会	女性活躍推進	イクボス	男女共同参画週間	アンコンシャス・バイアス	ポジティブ・アクション
就業状況別	就業者	全体	875	90.1%	87.2%	74.1%	56.3%	50.3%	39.7%	17.0%	11.4%	12.3%	10.1%
		正社員・正職員	435	90.3%	89.7%	75.6%	68.3%	55.6%	42.1%	17.5%	13.3%	14.3%	11.3%
		契約・派遣社員	61	82.0%	85.2%	75.4%	54.1%	47.5%	39.3%	16.4%	8.2%	14.8%	8.2%
		パート・アルバイト	253	92.9%	85.4%	70.4%	40.7%	39.1%	35.6%	15.0%	7.1%	9.9%	8.3%
		自営業者	74	83.8%	83.8%	73.0%	44.6%	55.4%	33.8%	14.9%	16.2%	9.5%	10.8%
		会社等の役員	30	93.3%	83.3%	83.3%	46.7%	66.7%	46.7%	26.7%	10.0%	6.7%	6.7%
	未就業者		441	85.7%	75.7%	66.0%	37.2%	47.8%	40.6%	20.2%	13.2%	9.1%	8.2%
	学生		52	90.4%	96.2%	61.5%	73.1%	75.0%	42.3%	11.5%	17.3%	17.3%	11.5%
性別	女性	全体	461	93.3%	88.9%	77.0%	52.9%	44.3%	38.2%	16.5%	10.2%	11.3%	9.3%
		正社員・正職員	172	94.2%	94.8%	83.7%	70.3%	57.0%	44.8%	18.0%	15.7%	15.1%	12.8%
		契約・派遣社員	30	83.3%	90.0%	76.7%	56.7%	33.3%	36.7%	23.3%	6.7%	10.0%	10.0%
		パート・アルバイト	212	94.3%	86.3%	69.8%	39.6%	35.4%	33.0%	14.2%	7.1%	7.5%	7.1%
		自営業者	26	92.3%	88.5%	84.6%	46.2%	53.8%	30.8%	11.5%	3.8%	11.5%	3.8%
		会社等の役員	8	100.0%	50.0%	100.0%	12.5%	25.0%	37.5%	12.5%	—	12.5%	—
	未就業者		285	90.9%	77.9%	65.6%	38.2%	42.5%	39.3%	19.3%	11.2%	7.4%	7.7%
	学生		31	96.8%	96.8%	64.5%	74.2%	77.4%	45.2%	12.9%	22.6%	12.9%	16.1%
	男性	全体	413	86.7%	85.5%	70.7%	60.0%	57.1%	41.4%	17.7%	12.8%	13.3%	10.9%
		正社員・正職員	262	88.2%	86.6%	70.2%	66.8%	55.0%	40.5%	17.2%	11.8%	13.4%	10.3%
		契約・派遣社員	31	80.6%	80.6%	74.2%	51.6%	61.3%	41.9%	9.7%	9.7%	19.4%	6.5%
		パート・アルバイト	41	85.4%	80.5%	73.2%	46.3%	58.5%	48.8%	19.5%	7.3%	22.0%	14.6%
		自営業者	48	79.2%	81.3%	66.7%	43.8%	56.3%	35.4%	16.7%	22.9%	8.3%	14.6%
		会社等の役員	22	90.9%	95.5%	77.3%	59.1%	81.8%	50.0%	31.8%	13.6%	4.5%	9.1%
	未就業者		154	76.6%	71.4%	66.9%	35.7%	58.4%	43.5%	22.1%	16.9%	12.3%	9.1%
	学生		20	80.0%	95.0%	60.0%	70.0%	70.0%	35.0%	5.0%	10.0%	25.0%	5.0%

② 女性の人権に関する言葉

女性の人権に関する言葉の認知について、「ドメスティック・バイオレンス（DV）」が87.4%と最も高く、次いで「マタニティ・ハラスメント」が79.2%、「デートDV」が33.8%と続いています。

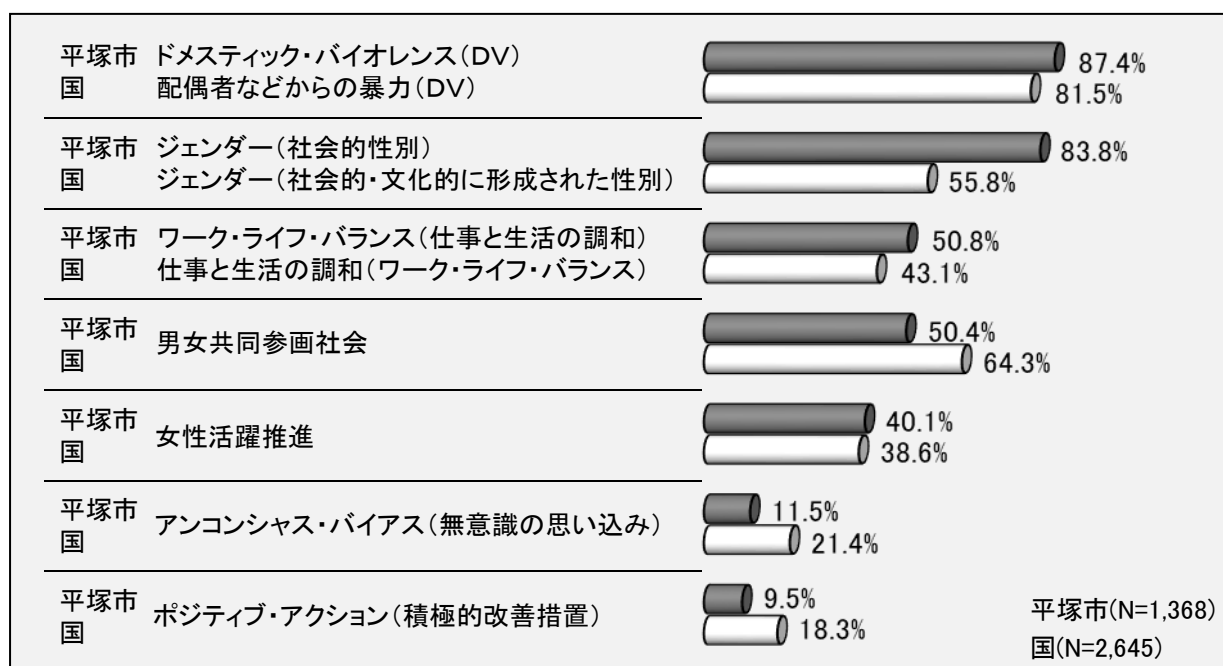
年代別にみると、「デートDV」は20歳代以下（56.9%）が最も高く、他の年代より17ポイント以上高くなっています。

性別にみると、全ての言葉において、女性が男性を上回っており、特に「デートDV」は、女性（38.5%）が男性（27.8%）を10ポイント上回っています。性・年代別にみると、20歳代以下において、「デートDV」は18ポイント、「マタニティ・ハラスメント」は17ポイント、それぞれ女性が男性を上回っています。

N			ドメスティック・バイオレンス（DV）	マタニティ・ハラスメント	デートDV	女性に対する暴力をなくす運動	性と生殖に関する健康と権利	
全 体		1,368	87.4%	79.2%	33.8%	13.3%	6.8%	
年代別	20 歳代以下	144	91.0%	81.9%	56.9%	8.3%	10.4%	
	30 歳代	148	89.2%	86.5%	38.5%	6.1%	6.1%	
	40 歳代	226	90.7%	83.6%	39.8%	11.9%	6.6%	
	50 歳代	295	91.9%	82.0%	34.2%	9.5%	3.7%	
	60 歳代	257	88.7%	79.8%	25.7%	15.6%	5.8%	
	70 歳代	298	76.5%	67.8%	22.5%	22.1%	9.4%	
性別	女性	全体	777	88.9%	82.0%	38.5%	14.0%	7.6%
		20 歳代以下	89	91.0%	88.8%	64.0%	11.2%	14.6%
		30 歳代	92	88.0%	89.1%	39.1%	5.4%	5.4%
		40 歳代	142	90.8%	82.4%	42.3%	12.0%	7.0%
		50 歳代	165	90.9%	81.8%	43.0%	8.5%	4.2%
		60 歳代	135	94.8%	87.4%	31.1%	17.8%	8.9%
		70 歳代	154	79.2%	68.8%	21.4%	25.3%	7.8%
	男性	全体	587	85.3%	75.8%	27.8%	12.4%	5.6%
		20 歳代以下	53	90.6%	71.7%	45.3%	3.8%	1.9%
		30 歳代	56	91.1%	82.1%	37.5%	7.1%	7.1%
		40 歳代	82	91.5%	86.6%	36.6%	12.2%	6.1%
		50 歳代	130	93.1%	82.3%	23.1%	10.8%	3.1%
		60 歳代	122	82.0%	71.3%	19.7%	13.1%	2.5%
		70 歳代	144	73.6%	66.7%	23.6%	18.8%	11.1%

他調査との比較

令和4年度及び令和元年度に国が実施した調査と比較すると、「ジェンダー」は、平塚市（83.8%）が国（55.8%）を28ポイント上回り、「ワーク・ライフ・バランス」は、平塚市（50.8%）が国（43.1%）を7ポイント上回っています。また、「男女共同参画社会」は、国（64.3%）が平塚市（50.4%）を13ポイント上回り、「アンコンシャス・バイアス（無意識の思い込み）」は、国（21.4%）が平塚市（11.5%）を10ポイント上回っています。



資料：内閣府「男女共同参画に関する世論調査」（令和元年度）、「性別による無意識の思い込み（アンコンシャス・バイアス）に関する調査」（令和4年度）



経年比較

●男女共同参画の推進に関する言葉

前回調査と比較すると、「ジェンダー」、「育児・介護休業法」、「ワーク・ライフ・バランス」、「男女共同参画社会」、「女性活躍推進」、「男女共同参画週間」及び「ポジティブ・アクション」は認知度が上がり、特に「ジェンダー」は15ポイント上がっています。

	N	イクメン	ジェンダー	育児・介護休業法	ワーク・ライフ・バランス	男女共同参画社会	女性活躍推進	イクボス	男女共同参画週間	ポジティブ・アクション
令和4年度	1,368	88.7%	83.8%	71.0%	50.8%	50.4%	40.1%	17.8%	12.2%	9.5%
令和元年度	1,131	90.6%	68.3%	67.1%	46.9%	46.6%	38.5%	23.2%	7.3%	9.0%
平成27年度	1,194	76.0%	39.4%	73.2%	39.2%	49.2%			13.2%	11.6%
平成24年度	1,145		29.3%		34.5%	43.0%			13.8%	
平成17年度	1,292		25.9%			43.6%				14.0%

●女性の人権に関する言葉

前回調査と比較すると、「女性に対する暴力をなくす運動」及び「性と生殖に関する健康と権利」は認知度が上がりましたが、「ドメスティック・バイオレンス（DV）」、「マタニティ・ハラスメント」及び「デートDV」は下がっています。

	N	ドメスティック・バイオレンス（DV）	マタニティ・ハラスメント	デートDV	女性に対する暴力をなくす運動	性と生殖に関する健康と権利
令和4年度	1,368	87.4%	79.2%	33.8%	13.3%	6.8%
令和元年度	1,131	91.7%	82.9%	39.2%	8.5%	4.7%
平成27年度	1,194	91.0%	84.5%	35.1%	29.3%	7.0%
平成24年度	1,145	84.6%			32.7%	7.0%
平成17年度	1,292	70.8%				

3 仕事や家庭、地域生活などについて

問4 次の項目について、費やしている時間は一日のうちどれくらいですか。項目ごとに記入してください。該当しない項目は、枠内に「－」を記入してください。

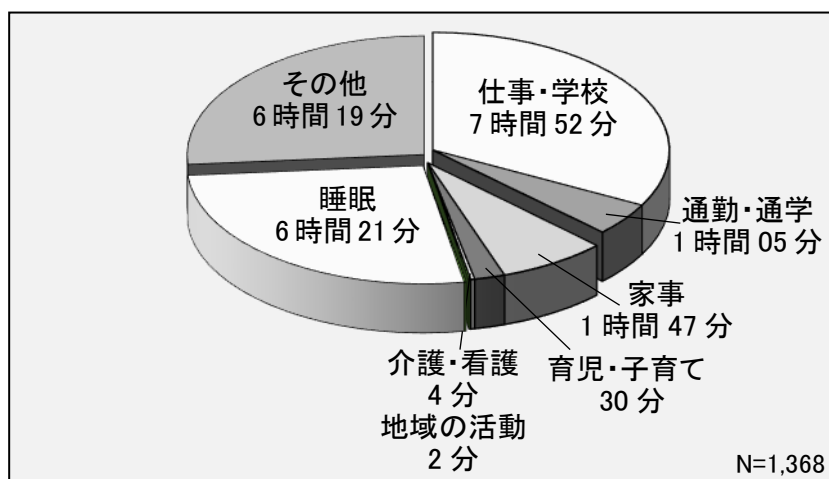
- ※1 仕事や学校のある日においては、「仕事・学校」及び「睡眠」を記載している回答を、仕事や学校のない日においては、「睡眠」を記載している回答をそれぞれ有効回答として集計しています。
- ※2 表【「家事」、「育児・子育て」、「介護・看護」及び「地域の活動」の実施者】は、有効回答のうち当項目に活動時間を記載している人の平均値で、【】内は、有効回答のうち当項目に活動時間を記載している人の割合です。
- ※3 時間の「分」は、小数点以下を切り捨てたものであるため、「0分」という回答結果があります。

① 仕事や学校のある日(就業者・学生)

仕事や学校のある日は、「仕事・学校」が7時間52分と最も長く、次いで「睡眠」が6時間21分となっています。

年代別にみると、30歳代は、「仕事・学校」が8時間27分、「育児・子育て」が1時間48分と最も長く、「介護・看護」を実施している人はいませんでした。

性別にみると、「仕事・学校」は、男性（8時間42分）の方が女性（7時間08分）より1時間34分長く、「通勤・通学」も、男性（1時間14分）の方が女性（56分）より18分長くなっています。また、「育児・子育て」は、女性が43分、男性が15分と女性の方が約3倍長くなっています。さらに、「家事」は、女性が2時間46分、男性が41分と女性の方が約4倍長くなっています。性・年代別にみると、「仕事・学校」について、20歳代以下を除く全ての年代で、男性が女性より長く、特に30歳代は、男性（9時間54分）の方が女性（7時間15分）より2時間39分長くなっています。「通勤・通学」は、全ての年代で、男性が女性より長く、特に50歳代は、男性（1時間18分）の方が女性（52分）より26分長くなっています。また、「家事」について、全ての年代で、女性が男性より長く、特に60歳代は、女性（3時間12分）の方が男性（31分）より約6倍長くなっています。



●仕事や学校のある日(就業者・学生)【年代別／性別】

		N	仕事・学校	通勤・通学	家事	育児・子育て	介護・看護	地域の活動	睡眠	
全 体		909	7時間52分	1時間05分	1時間47分	30分	4分	2分	6時間21分	
年代別	20歳代以下	125	8時間01分	1時間26分	43分	2分	0分	—	6時間29分	
	30歳代	117	8時間27分	1時間04分	1時間36分	1時間48分	—	3分	6時間22分	
	40歳代	200	7時間59分	59分	2時間15分	56分	1分	2分	6時間17分	
	50歳代	247	8時間11分	1時間04分	2時間09分	12分	6分	2分	6時間09分	
	60歳代	155	7時間09分	57分	1時間42分	2分	9分	1分	6時間23分	
	70歳代	65	6時間44分	54分	1時間34分	1分	5分	8分	7時間06分	
性別	女性	全体	483	7時間08分	56分	2時間46分	43分	6分	2分	6時間17分
		20歳代以下	77	8時間10分	1時間22分	45分	—	0分	—	6時間32分
		30歳代	64	7時間15分	54分	2時間25分	2時間48分	—	1分	6時間28分
		40歳代	119	7時間17分	52分	3時間16分	1時間10分	2分	3分	6時間09分
		50歳代	130	7時間09分	52分	3時間25分	14分	10分	2分	6時間01分
		60歳代	69	6時間08分	47分	3時間12分	2分	17分	2分	6時間16分
		70歳代	24	5時間40分	39分	3時間07分	—	15分	11分	7時間01分
	男性	全体	424	8時間42分	1時間14分	41分	15分	1分	2分	6時間27分
		20歳代以下	47	7時間47分	1時間35分	39分	7分	—	—	6時間25分
		30歳代	53	9時間54分	1時間15分	38分	36分	—	5分	6時間15分
		40歳代	80	8時間59分	1時間10分	47分	34分	1分	1分	6時間27分
		50歳代	117	9時間19分	1時間18分	45分	11分	2分	2分	6時間16分
		60歳代	86	7時間58分	1時間05分	31分	1分	2分	1分	6時間28分
		70歳代	41	7時間21分	1時間03分	40分	2分	—	7分	7時間08分



◎ひらつか男女共同参画プラン2017指標

【6歳未満の子どもを育てている夫婦世帯における、夫の家事参加時間（平日）】
2時間13分(=133分)という結果になり、前回調査と比較して17分長くなっていますが、令和5年度の後期目標値(170分)には届きませんでした。

令和4年度(N=1,368)	133 分
令和元年度(N=1,131)	116 分

【「家事」、「育児・子育て」、「介護・看護」及び「地域の活動」の実施者】

「家事」、「育児・子育て」、「介護・看護」及び「地域の活動」の実施者をみると、実施している割合は、「家事」が82.4%と最も高く、次いで「育児・子育て」が23.4%となっています。

年代別にみると、「家事」は、40歳代が実施している割合が90.5%と最も高く、活動時間も2時間30分と最も長くなっています。また、「育児・子育て」は、30歳代が実施している割合が53.0%と最も高く、活動時間も3時間25分と最も長くなっています。

性別にみると、全ての項目において、実施している割合、活動時間ともに女性が男性を上回っており、特に、「家事」は女性（92.1%）が男性（71.2%）を20ポイント上回っており、活動時間も女性（3時間01分）が男性（57分）を2時間04分上回っています。性・年代別にみると、「家事」について、全ての年代で、実施している割合、活動時間ともに女性が男性を上回っており、特に50歳代は、女性（96.9%）が男性（78.6%）を18ポイント上回っており、活動時間も女性（3時間32分）が男性（58分）を2時間34分上回っています。

		N	家事	育児・子育て	介護・看護	地域の活動	
全 体		909	2時間10分【82.4%】	2時間10分【23.4%】	1時間31分【4.7%】	1時間01分【4.1%】	
年 代 別	20歳代以下	125	1時間05分【65.6%】	2時間03分【2.4%】	30分【0.8%】	—	
	30歳代	117	1時間48分【88.9%】	3時間25分【53.0%】	—	1時間16分【4.3%】	
	40歳代	200	2時間30分【90.5%】	1時間57分【47.5%】	1時間31分【2.0%】	1時間00分【4.0%】	
	50歳代	247	2時間27分【88.3%】	1時間08分【18.6%】	1時間16分【8.9%】	49分【4.9%】	
	60歳代	155	2時間10分【78.7%】	52分【3.9%】	1時間45分【9.0%】	1時間00分【2.6%】	
	70歳代	65	2時間26分【64.6%】	1時間30分【1.5%】	3時間00分【3.1%】	1時間11分【12.3%】	
性 別	女 性	全体	483	3時間01分【92.1%】	2時間48分【26.1%】	1時間45分【6.4%】	1時間02分【4.1%】
		20歳代以下	77	1時間08分【66.2%】	—	30分【1.3%】	—
		30歳代	64	2時間32分【95.3%】	4時間30分【62.5%】	—	36分【4.7%】
		40歳代	119	3時間19分【98.3%】	2時間22分【49.6%】	1時間21分【2.5%】	1時間02分【5.0%】
		50歳代	130	3時間32分【96.9%】	1時間16分【18.5%】	1時間34【11.5%】	58分【4.6%】
		60歳代	69	3時間14分【98.6%】	50分【4.3%】	2時間02分【14.5%】	1時間15分【2.9%】
		70歳代	24	3時間24分【91.7%】	—	3時間00分【8.3%】	1時間30分【12.5%】
	男 性	全体	424	57分【71.2%】	1時間16分【20.5%】	54分【2.8%】	59分【4.0%】
		20歳代以下	47	1時間02分【63.8%】	2時間03分【6.4%】	—	—
		30歳代	53	47分【81.1%】	1時間27分【41.5%】	—	2時間15分【3.8%】
		40歳代	80	1時間00分【78.8%】	1時間16分【45.0%】	2時間00分【1.3%】	52分【2.5%】
		50歳代	117	58分【78.6%】	1時間00分【18.8%】	39分【6.0%】	40分【5.1%】
		60歳代	86	50分【62.8%】	55分【3.5%】	1時間03分【4.7%】	45分【2.3%】
		70歳代	41	1時間22分【48.8%】	1時間30分【2.4%】	—	1時間00分【12.2%】

①－1 仕事や学校のある日(就業者・学生)【就業状況別】

仕事や学校のある日について、就業状況別にみると、「仕事・学校」は、正社員・正職員が9時間00分と最も長く、次いで会社等の役員が8時間42分となっています。「家事」は、パート・アルバイトが3時間18分と最も長く、他の就業状況より1時間34分以上長くなっています。

性・就業状況別にみると、「仕事」は、就業者全てにおいて男性が女性を上回っていますが、「学校」は女性(6時間41分)の方が男性(6時間31分)より10分長くなっています。また、「家事」は、全ての就業状況で女性の方が男性より長くなっています。

			N	仕事・学校	通勤・通学	家事	育児・子育て	介護・看護	地域の活動	睡眠
就業状況別	就業者	全体	858	7時間57分	57分	1時間52分	32分	4分	2分	6時間21分
		正社員・正職員	432	9時間00分	1時間15分	1時間10分	31分	1分	2分	6時間20分
		契約・派遣社員	59	8時間29分	1時間19分	1時間24分	11分	5分	0分	6時間09分
		パート・アルバイト	245	5時間58分	38分	3時間18分	42分	8分	3分	6時間21分
		自営業者	73	7時間26分	42分	1時間44分	19分	9分	3分	6時間43分
		会社等の役員	27	8時間42分	1時間31分	1時間01分	20分	—	4分	6時間18分
		学生	51	6時間39分	1時間42分	34分	—	—	—	6時間24分
	女性	全体	453	7時間10分	50分	2時間55分	46分	7分	2分	6時間16分
		正社員・正職員	171	8時間40分	1時間14分	1時間53分	48分	2分	0分	6時間19分
		契約・派遣社員	30	8時間14分	1時間20分	2時間12分	16分	2分	—	6時間00分
		パート・アルバイト	207	5時間49分	34分	3時間46分	49分	10分	4分	6時間14分
		自営業者	26	6時間26分	42分	3時間34分	39分	25分	6分	6時間41分
		会社等の役員	6	6時間40分	48分	3時間28分	33分	—	2分	6時間23分
		学生	30	6時間41分	1時間30分	41分	—	—	—	6時間26分
性別	男性	全体	404	8時間48分	1時間05分	41分	16分	1分	2分	6時間27分
		正社員・正職員	260	9時間13分	1時間16分	43分	21分	1分	2分	6時間21分
		契約・派遣社員	29	8時間44分	1時間17分	35分	6分	8分	1分	6時間19分
		パート・アルバイト	38	6時間45分	58分	48分	—	—	—	6時間56分
		自営業者	47	7時間59分	41分	43分	9分	0分	2分	6時間44分
		会社等の役員	21	9時間17分	1時間38分	19分	17分	—	4分	6時間17分
		学生	20	6時間31分	2時間02分	24分	—	—	—	6時間24分

【「家事」、「育児・子育て」、「介護・看護」及び「地域の活動」の実施者】

「家事」、「育児・子育て」、「介護・看護」及び「地域の活動」の実施者をみると、実施している割合は、「家事」が84.0%と最も高く、次いで「育児・子育て」が24.8%となっています。

就業状況別にみると、「家事」は、パート・アルバイトが実施している割合が94.3%と最も高く、活動時間も3時間30分と最も長くなっています。また、学生において「育児・子育て」、「介護・看護」及び「地域の活動」を実施している人はいませんでした。

性・就業状況別にみると、「家事」について、全ての就業状況で、実施している割合、活動時間ともに女性が男性を上回っています。

			N	家事	育児・子育て	介護・看護	地域の活動
就業状況別	就業者	全体	858	2時間13分【84.0%】	2時間10分【24.8%】	1時間31分【5.0%】	1時間01分【4.3%】
		正社員・正職員	432	1時間26分【81.7%】	1時間55分【27.5%】	56分【3.5%】	1時間10分【3.0%】
		契約・派遣社員	59	1時間53分【74.6%】	1時間13分【15.3%】	1時間15分【6.8%】	30分【1.7%】
		パート・アルバイト	245	3時間30分【94.3%】	2時間57分【23.7%】	1時間56分【7.3%】	1時間18分【4.5%】
		自営業者	73	2時間18分【75.3%】	1時間48分【17.8%】	1時間52分【8.2%】	40分【9.6%】
		会社等の役員	27	1時間37分【63.0%】	1時間52分【18.5%】	—	28分【14.8%】
	学生		51	1時間03分【54.9%】	—	—	—
性別	女性	全体	453	3時間05分【94.5%】	2時間48分【27.8%】	1時間45分【6.8%】	1時間02分【4.4%】
		正社員・正職員	171	2時間04分【91.2%】	2時間52分【28.1%】	1時間04分【4.1%】	38分【2.3%】
		契約・派遣社員	30	2時間33分【86.7%】	1時間20分【20.0%】	1時間00分【3.3%】	—
		パート・アルバイト	207	3時間51分【97.6%】	2時間57分【28.0%】	1時間56分【8.7%】	1時間18分【5.3%】
		自営業者	26	3時間43分【96.2%】	2時間51分【23.1%】	2時間12分【19.2%】	53分【11.5%】
		会社等の役員	6	3時間28分【100.0%】	1時間40分【33.3%】	—	15分【16.7%】
	学生		30	1時間12分【56.7%】	—	—	—
	男性	全体	404	58分【72.3%】	1時間16分【21.5%】	54分【3.0%】	59分【4.2%】
		正社員・正職員	260	57分【75.4%】	1時間17分【27.3%】	49分【3.1%】	1時間24分【3.5%】
		契約・派遣社員	29	56分【62.1%】	1時間00分【10.3%】	1時間20分【10.3%】	30分【3.4%】
		パート・アルバイト	38	1時間04分【76.3%】	—	—	—
		自営業者	47	1時間08分【63.8%】	53分【14.9%】	15分【2.1%】	30分【8.5%】
		会社等の役員	21	37分【52.4%】	2時間00分【14.3%】	—	33分【14.3%】
	学生		20	49分【50.0%】	—	—	—

② 仕事や学校のない日(全員)

仕事や学校のない日は、「睡眠」が7時間05分と最も長く、次いで「家事」が3時間02分となっています。

性別にみると、「家事」、「育児・子育て」及び「介護・看護」は女性が男性より長く、特に、「家事」は、女性（4時間10分）の方が男性（1時間32分）より2時間38分長くなっています。性・年代別にみると、「家事」について、全ての年代で、女性が男性より長く、特に50歳代は、女性（4時間57分）の方が男性（1時間38分）より3時間19分長くなっています。

			N	家事	育児・子育て	介護・看護	地域の活動	睡眠
全体			1244	3時間02分	1時間01分	13分	9分	7時間05分
年代別	20歳代以下		135	1時間32分	13分	4分	—	8時間02分
	30歳代		139	3時間09分	4時間23分	1分	4分	7時間15分
	40歳代		208	3時間34分	2時間05分	2分	9分	7時間05分
	50歳代		276	3時間30分	25分	23分	9分	6時間47分
	60歳代		239	3時間09分	6分	18分	11分	6時間48分
	70歳代		247	2時間44分	4分	19分	16分	7時間05分
	性別	女性	全体	713	4時間10分	1時間16分	15分	8分
20歳代以下			83	1時間41分	27分	1分	—	8時間16分
30歳代			87	3時間59分	5時間40分	2分	2分	7時間14分
40歳代			130	4時間42分	2時間13分	2分	9分	7時間02分
50歳代			156	4時間57分	26分	34分	10分	6時間35分
60歳代			132	4時間22分	6分	18分	12分	6時間42分
70歳代			125	4時間09分	4分	24分	10分	6時間55分
男性		全体	527	1時間32分	40分	10分	11分	7時間10分
		20歳代以下	50	1時間17分	26分	11分	—	7時間45分
		30歳代	52	1時間45分	2時間15分	—	8分	7時間16分
		40歳代	76	1時間39分	1時間54分	2分	11分	7時間11分
		50歳代	120	1時間38分	23分	8分	7分	7時間01分
		60歳代	107	1時間38分	6分	17分	9分	6時間56分
		70歳代	122	1時間17分	4分	14分	22分	7時間14分

【「家事」、「育児・子育て」、「介護・看護」及び「地域の活動」の実施者】

「家事」、「育児・子育て」、「介護・看護」及び「地域の活動」の実施者をみると、実施している割合は、「家事」が89.3%と最も高く、次いで「育児・子育て」が21.0%となっています。

年代別にみると、「家事」は、40歳代が実施している割合が94.7%と最も高く、活動時間は3時間45分となっています。また、「育児・子育て」は、30歳代が実施している割合が57.6%と最も高く、活動時間は7時間38分となっています。「地域の活動」は、50歳代以上の年代は、実施している割合が1割を超えています。性・年代別にみると、「家事」について、全ての年代で、実施している割合、活動時間ともに女性が男性を上回っており、特に70歳代は、女性（95.2%）が男性（77.9%）を17ポイント上回っており、活動時間も女性（4時間22分）が男性（1時間39分）を2時間43分上回っています。

		N	家事	育児・子育て	介護・看護	地域の活動
全体		1244	3時間24分【89.3%】	4時間51分【21.0%】	2時間54分【7.8%】	1時間31分【10.5%】
年代別	20歳代以下	135	2時間08分【71.9%】	8時間38分【5.2%】	3時間40分【2.2%】	—
	30歳代	139	3時間24分【92.8%】	7時間38分【57.6%】	3時間00分【0.7%】	1時間38分【5.0%】
	40歳代	208	3時間45分【94.7%】	4時間16分【49.0%】	2時間01分【1.9%】	2時間01分【8.2%】
	50歳代	276	3時間46分【93.1%】	2時間11分【19.2%】	2時間39分【14.5%】	1時間13分【12.3%】
	60歳代	239	3時間28分【90.8%】	1時間51分【5.9%】	2時間15分【13.4%】	1時間38分【11.3%】
	70歳代	247	3時間09分【86.6%】	3時間36分【2.0%】	4時間45分【6.9%】	1時間28分【18.6%】
性別	全体	713	4時間28分【93.1%】	5時間23分【23.7%】	3時間00分【8.8%】	1時間31分【9.4%】
	女性	20歳代以下	83	2時間17分【73.5%】	45分【2.4%】	—
		30歳代	87	4時間11分【95.4%】	8時間21分【67.8%】	3時間00分【1.1%】
		40歳代	130	4時間53分【96.2%】	4時間30分【49.2%】	1時間41分【2.3%】
		50歳代	156	5時間04分【97.4%】	2時間16分【19.2%】	3時間10分【17.9%】
		60歳代	132	4時間39分【93.9%】	1時間36分【6.8%】	2時間08分【14.4%】
		70歳代	125	4時間22分【95.2%】	3時間00分【2.4%】	5時間03分【8.0%】
	男性	全体	527	1時間50分【84.1%】	3時間53分【17.3%】	2時間42分【6.5%】
		20歳代以下	50	1時間54分【68.0%】	7時間20分【6.0%】	9時間30分【2.0%】
		30歳代	52	1時間59分【88.5%】	5時間35分【40.4%】	—
		40歳代	76	1時間48分【92.1%】	3時間56分【48.7%】	3時間00分【1.3%】
		50歳代	120	1時間52分【87.5%】	2時間04分【19.2%】	1時間27分【10.0%】
		60歳代	107	1時間53分【86.9%】	2時間18分【4.7%】	2時間26分【12.1%】
		70歳代	122	1時間39分【77.9%】	4時間30分【1.6%】	4時間19分【5.7%】

②-1 仕事や学校のない日(全員)【就業状況別】

仕事や学校のない日について、就業状況別にみると、「家事」は、パート・アルバイトが4時間23分と最も長く、他の就業状況より54分以上長くなっています。また、「育児・子育て」は、正社員・正職員が1時間26分と最も長く、次いで、パート・アルバイトが1時間09分となっています。

性・就業状況別にみると、「家事」は、全ての就業状況で女性の方が男性より長く、特にパート・アルバイトは、女性（4時間51分）の方が男性（1時間37分）より3時間14分長くなっています。

			N	家事	育児・子育て	介護・看護	地域の活動	睡眠
就業 状況 別	就 業 者	全体	804	2時間57分	1時間13分	9分	9分	7時間10分
		正社員・ 正職員	406	2時間16分	1時間26分	4分	6分	7時間21分
		契約・ 派遣社員	58	2時間37分	23分	45分	14分	7時間07分
		パート・ アルバイト	231	4時間23分	1時間09分	10分	12分	6時間55分
		自営業者	64	2時間16分	47分	10分	10分	7時間02分
		会社等の役員	23	2時間07分	24分	—	16分	7時間13分
	未就業者		393	3時間29分	43分	23分	10分	6時間51分
	学生		47	1時間00分	—	—	—	7時間37分
性 別	女 性	全体	431	4時間08分	1時間28分	12分	9分	7時間08分
		正社員・ 正職員	160	3時間19分	1時間55分	5分	2分	7時間33分
		契約・ 派遣社員	29	3時間32分	18分	55分	8分	7時間06分
		パート・ アルバイト	198	4時間51分	1時間20分	12分	14分	6時間50分
		自営業者	24	4時間02分	1時間03分	27分	17分	7時間01分
		会社等の役員	7	3時間51分	4分	—	12分	7時間00分
		未就業者	254	4時間32分	1時間05分	22分	7分	6時間45分
		学生	28	1時間00分	—	—	—	7時間48分
	男 性	全体	372	1時間34分	56分	5分	9分	7時間12分
		正社員・ 正職員	245	1時間35分	1時間08分	4分	9分	7時間13分
		契約・ 派遣社員	29	1時間42分	28分	34分	19分	7時間09分
		パート・ アルバイト	33	1時間37分	—	—	4分	7時間24分
		自営業者	40	1時間13分	38分	0分	6分	7時間03分
		会社等の役員	16	1時間21分	33分	—	18分	7時間18分
		未就業者	137	1時間32分	2分	25分	17分	7時間03分
		学生	18	56分	—	—	—	7時間25分

【「家事」、「育児・子育て」、「介護・看護」及び「地域の活動」の実施者】

「家事」、「育児・子育て」、「介護・看護」及び「地域の活動」の実施者をみると、実施している割合は、「家事」が91.0%と最も高く、次いで「育児・子育て」が26.0%となっています。

性・就業状況別にみると、「家事」について、学生を除く全ての就業状況で、実施している割合、活動時間ともに女性が男性を上回っており、特にパート・アルバイトにおける活動時間は、女性（5時間03分）の方が男性（1時間51分）より3時間12分長くなっています。

			N	家事	育児・子育て	介護・看護	地域の活動
就業状況別	就業者	全体	804	3時間14分【91.0%】	4時間41分【26.0%】	2時間18分【6.8%】	1時間43分【9.3%】
		正社員・正職員	406	2時間31分【90.1%】	4時間56分【29.3%】	1時間33分【4.9%】	1時間37分【6.7%】
		契約・派遣社員	58	2時間58分【87.9%】	2時間33分【15.5%】	5時間26分【13.8%】	1時間56分【12.1%】
		パート・アルバイト	231	4時間38分【94.8%】	5時間01分【22.9%】	1時間57分【9.1%】	1時間59分【10.8%】
		自営業者	64	2時間44分【82.8%】	3時間24分【23.4%】	1時間52分【9.4%】	1時間35分【10.9%】
		会社等の役員	23	2時間19分【91.3%】	2時間22分【17.4%】	—	1時間18分【21.7%】
		未就業者	393	3時間54分【89.1%】	5時間28分【13.2%】	3時間40分【10.7%】	1時間16分【14.2%】
	学生		47	1時間37分【61.7%】	—	—	—
性別	女性	全体	431	4時間24分【94.2%】	5時間16分【27.8%】	2時間30分【8.6%】	1時間52分【8.6%】
		正社員・正職員	160	3時間34分【93.1%】	6時間31分【29.4%】	1時間41分【5.0%】	1時間45分【2.5%】
		契約・派遣社員	29	3時間56分【89.7%】	1時間30分【20.7%】	9時間00分【10.3%】	1時間20分【10.3%】
		パート・アルバイト	198	5時間03分【96.0%】	5時間01分【26.8%】	1時間57分【10.6%】	2時間08分【11.1%】
		自営業者	24	4時間36分【87.5%】	3時間38分【29.2%】	2時間12分【20.8%】	1時間47分【16.7%】
		会社等の役員	7	3時間51分【100.0%】	30分【14.3%】	—	45分【28.6%】
		未就業者	254	4時間47分【94.9%】	5時間41分【19.3%】	3時間43分【10.2%】	1時間04分【11.8%】
		学生	28	1時間39分【60.7%】	—	—	—
	男性	全体	372	1時間48分【87.4%】	3時間54分【23.9%】	1時間54分【4.8%】	1時間33分【10.2%】
		正社員・正職員	245	1時間48分【88.2%】	3時間54分【29.4%】	1時間27分【4.9%】	1時間35分【9.4%】
		契約・派遣社員	29	1時間58分【86.2%】	4時間40分【10.3%】	3時間18分【17.2%】	2時間23分【13.8%】
		パート・アルバイト	33	1時間51分【87.9%】	—	—	50分【9.1%】
		自営業者	40	1時間31分【80.0%】	3時間11分【20.0%】	15分【2.5%】	1時間20分【7.5%】
		会社等の役員	16	1時間33分【87.5%】	3時間00分【18.8%】	—	1時間40分【18.8%】
		未就業者	137	1時間58分【78.1%】	2時間30分【1.5%】	3時間36分【11.7%】	1時間30分【19.0%】
		学生	18	1時間32分【61.1%】	—	—	—

●同居している子どもの状況別にみた育児・子育ての時間【性別】

同居している子どもの状況別に、育児・子育てをみると、仕事や学校のある日は、「未就学児のみ」及び「未就学児と小学生」が3時間41分で最も長く、仕事や学校のない日は、「未就学児のみ」が8時間52分で最も長く、次いで「未就学児と小学生」が6時間15分となっています。

		未就学児のみ	小学生のみ	中学生以上のみ	未就学児小学生	未就学児中学生以上	小学生中学生以上	未就学児小学生中学生以上
全体	仕事や学校のある日	3時間41分 (N=43)	2時間30分 (N=38)	1時間18分 (N=65)	3時間41分 (N=33)	56分 (N=3)	1時間49分 (N=36)	2時間00分 (N=1)
	仕事や学校のない日	8時間52分 (N=54)	4時間35分 (N=45)	2時間27分 (N=74)	6時間15分 (N=34)	4時間20分 (N=3)	3時間34分 (N=38)	4時間00分 (N=1)
女性	仕事や学校のある日	5時間15分 (N=26)	3時間00分 (N=26)	1時間21分 (N=40)	6時間01分 (N=16)	—	2時間15分 (N=24)	2時間00分 (N=1)
	仕事や学校のない日	9時間56分 (N=39)	4時間50分 (N=33)	2時間28分 (N=48)	7時間40分 (N=17)	—	4時間14分 (N=23)	4時間00分 (N=1)
男性	仕事や学校のある日	1時間18分 (N=17)	1時間25分 (N=12)	1時間12分 (N=25)	1時間29分 (N=17)	56分 (N=3)	56分 (N=12)	—
	仕事や学校のない日	6時間06分 (N=15)	3時間56分 (N=12)	2時間29分 (N=25)	4時間51分 (N=17)	4時間20分 (N=3)	2時間34分 (N=15)	—

●ワーク・ライフ・バランスの実現度別にみた仕事・学校の時間【就業状況別】

問6「ワーク・ライフ・バランスの実現」の回答別に仕事・学校をみると、「実現できていない」が8時間54分で最も長く、次いで「あまり実現できていない」が8時間05分となっています。この2項目は8時間を超えています、それ以外の項目は8時間未満となっています。

		実現できている	おおそ実現できている	あまり実現できていない	実現できていない	わからない
就業状況別	全体	7時間08分 (N=60)	7時間38分 (N=412)	8時間05分 (N=245)	8時間54分 (N=119)	7時間21分 (N=59)
	全体	7時間10分 (N=56)	7時間41分 (N=395)	8時間09分 (N=231)	8時間54分 (N=114)	7時間46分 (N=48)
	正社員・正職員	8時間21分 (N=24)	8時間43分 (N=195)	9時間15分 (N=127)	9時間43分 (N=62)	8時間47分 (N=19)
	契約・派遣社員	7時間30分 (N=4)	8時間19分 (N=33)	8時間54分 (N=14)	9時間45分 (N=4)	8時間30分 (N=2)
	パート・アルバイト	6時間00分 (N=13)	5時間36分 (N=119)	6時間01分 (N=65)	7時間16分 (N=28)	6時間18分 (N=15)
	自営業者	6時間02分 (N=12)	7時間42分 (N=31)	6時間21分 (N=11)	8時間38分 (N=11)	8時間21分 (N=7)
	会社等の役員	7時間00分 (N=3)	9時間56分 (N=8)	8時間13分 (N=11)	9時間45分 (N=4)	5時間00分 (N=1)
	学生	6時間30分 (N=4)	6時間28分 (N=17)	6時間57分 (N=14)	8時間54分 (N=5)	5時間34分 (N=11)

●ワーク・ライフ・バランスの実現度別にみた通勤・通学の時間【就業状況別】

問6「ワーク・ライフ・バランスの実現」の回答別に通勤・通学をみると、「あまり実現できていない」が1時間11分で最も長く、次いで「実現できている」が1時間09分となっています。

		実現できている	おおよそ実現できている	あまり実現できていない	実現できていない	わからない
就業状況別	全体	1時間09分 (N=49)	1時間01分 (N=380)	1時間11分 (N=229)	1時間04分 (N=110)	1時間04分 (N=53)
	就業者	1時間01分 (N=45)	1時間00分 (N=363)	1時間09分 (N=215)	1時間01分 (N=105)	0時間55分 (N=43)
	正社員・正職員	1時間05分 (N=22)	1時間15分 (N=187)	1時間15分 (N=124)	1時間20分 (N=61)	1時間04分 (N=19)
	契約・派遣社員	2時間05分 (N=4)	1時間04分 (N=32)	1時間55分 (N=14)	0時間35分 (N=4)	1時間50分 (N=2)
	パート・アルバイト	41分 (N=11)	36分 (N=115)	42分 (N=61)	29分 (N=26)	47分 (N=14)
	自営業者	55分 (N=6)	47分 (N=15)	26分 (N=5)	36分 (N=5)	28分 (N=3)
	会社等の役員	32分 (N=2)	1時間33分 (N=6)	1時間51分 (N=8)	1時間25分 (N=4)	1時間00分 (N=1)
	学生	2時間32分 (N=4)	1時間13分 (N=17)	1時間53分 (N=14)	2時間02分 (N=5)	1時間44分 (N=10)

●ワーク・ライフ・バランスの実現度別にみた、実施者の育児・子育ての時間【性別】

問6「ワーク・ライフ・バランスの実現」の回答別に育児・子育てをみると、仕事や学校のある日は、「実現できていない」が3時間30分で最も長く、仕事や学校のない日は、「わからない」が6時間23分で最も長くなっています。

		実現できている	おおよそ実現できている	あまり実現できていない	実現できていない	わからない
全体	仕事や学校のある日	2時間03分 (N=13)	2時間16分 (N=113)	2時間14分 (N=65)	3時間30分 (N=23)	2時間53分 (N=9)
	仕事や学校のない日	3時間13分 (N=16)	4時間53分 (N=122)	4時間37分 (N=79)	5時間15分 (N=27)	6時間23分 (N=14)
女性	仕事や学校のある日	3時間17分 (N=7)	2時間53分 (N=67)	2時間54分 (N=41)	4時間35分 (N=15)	3時間50分 (N=6)
	仕事や学校のない日	3時間30分 (N=11)	5時間13分 (N=79)	5時間12分 (N=49)	6時間58分 (N=17)	6時間51分 (N=11)
男性	仕事や学校のある日	37分 (N=6)	1時間24分 (N=46)	1時間07分 (N=24)	1時間28分 (N=8)	57分 (N=3)
	仕事や学校のない日	2時間37分 (N=5)	4時間16分 (N=43)	3時間39分 (N=30)	2時間30分 (N=9)	4時間40分 (N=3)

●ワーク・ライフ・バランスの実現度別にみた、実施者の介護・看護の時間【性別】

問6「ワーク・ライフ・バランスの実現」の回答別に介護・看護をみると、仕事や学校のある日は、「わからない」が2時間00分で最も長く、仕事や学校のない日も、「わからない」が3時間47分で最も長くなっています。

		実現 できている	おおそ実現 できている	あまり実現 できていない	実現 できていない	わからない
全体	仕事や学校 のある日	1時間43分 (N=6)	1時間18分 (N=22)	1時間40分 (N=14)	1時間45分 (N=8)	2時間00分 (N=2)
	仕事や学校 のない日	3時間42分 (N=7)	2時間21分 (N=38)	3時間22分 (N=24)	2時間48分 (N=20)	3時間47分 (N=6)
女性	仕事や学校 のある日	2時間00分 (N=3)	1時間21分 (N=15)	2時間00分 (N=10)	2時間20分 (N=3)	2時間00分 (N=2)
	仕事や学校 のない日	6時間40分 (N=3)	2時間27分 (N=24)	2時間55分 (N=17)	2時間44分 (N=13)	4時間41分 (N=4)
男性	仕事や学校 のある日	1時間26分 (N=3)	1時間12分 (N=7)	48分 (N=4)	1時間24分 (N=5)	—
	仕事や学校 のない日	1時間30分 (N=4)	2時間10分 (N=14)	4時間25分 (N=7)	2時間55分 (N=7)	2時間00分 (N=2)

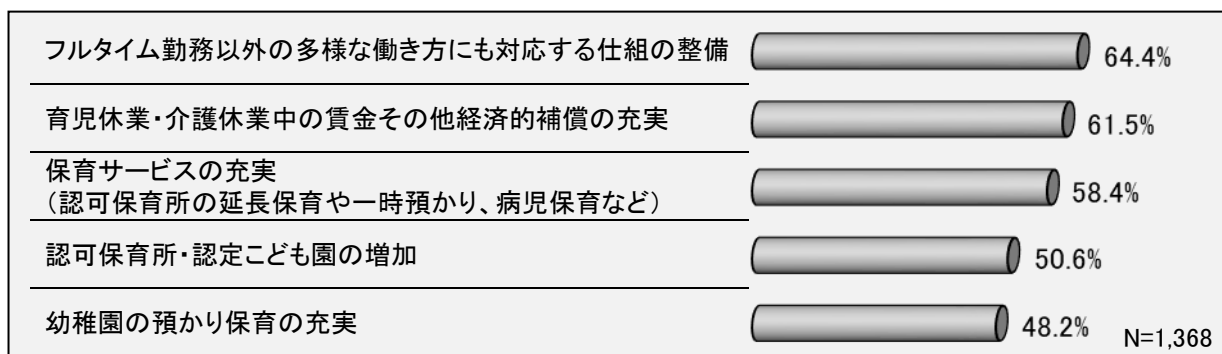
●ワーク・ライフ・バランスの実現度別にみた睡眠の時間【性別】

問6「ワーク・ライフ・バランスの実現」の回答別に睡眠をみると、仕事や学校のある日は、「実現できている」が6時間54分で最も長く、仕事や学校のない日も、「実現できている」が7時間18分で最も長くなっています。

		実現 できている	おおそ実現 できている	あまり実現 できていない	実現 できていない	わからない
全体	仕事や学校 のある日	6時間54分 (N=70)	6時間28分 (N=429)	6時間14分 (N=249)	6時間09分 (N=127)	6時間20分 (N=66)
	仕事や学校 のない日	7時間18分 (N=89)	7時間08分 (N=530)	6時間56分 (N=302)	7時間07分 (N=170)	7時間02分 (N=115)
女性	仕事や学校 のある日	6時間59分 (N=34)	6時間22分 (N=237)	6時間08分 (N=124)	5時間58分 (N=62)	6時間24分 (N=39)
	仕事や学校 のない日	7時間22分 (N=44)	7時間05分 (N=321)	6時間46分 (N=161)	7時間03分 (N=94)	7時間06分 (N=69)
男性	仕事や学校 のある日	6時間50分 (N=36)	6時間35分 (N=191)	6時間19分 (N=124)	6時間20分 (N=65)	6時間14分 (N=27)
	仕事や学校 のない日	7時間14分 (N=45)	7時間12分 (N=208)	7時間07分 (N=140)	7時間12分 (N=75)	6時間59分 (N=45)

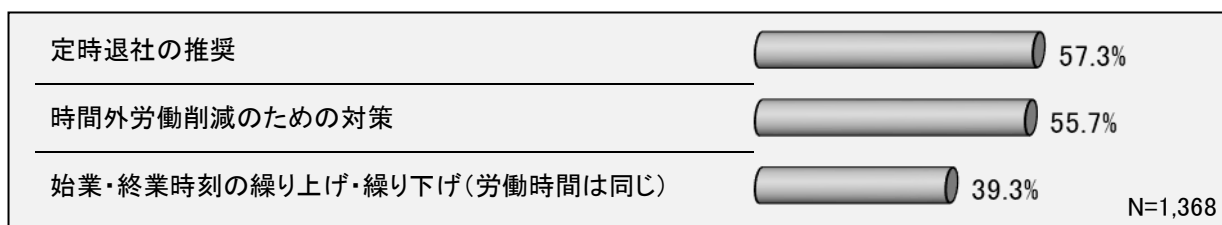
問5 仕事と子育て・家庭生活を両立するために、行政や企業（職場）においてどのような取組が進めば良いと思いますか。あてはまるものをすべて選んでください。

●行政

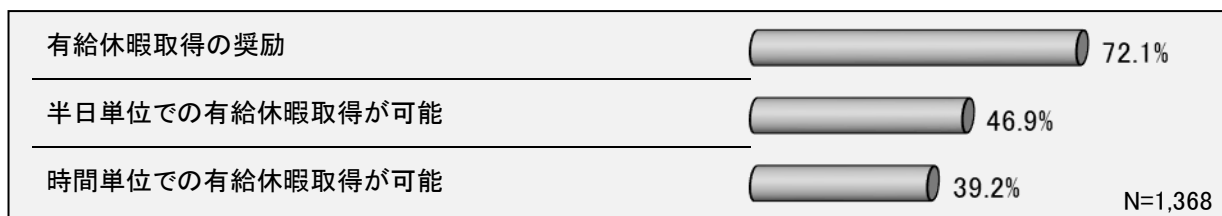


●企業（職場）

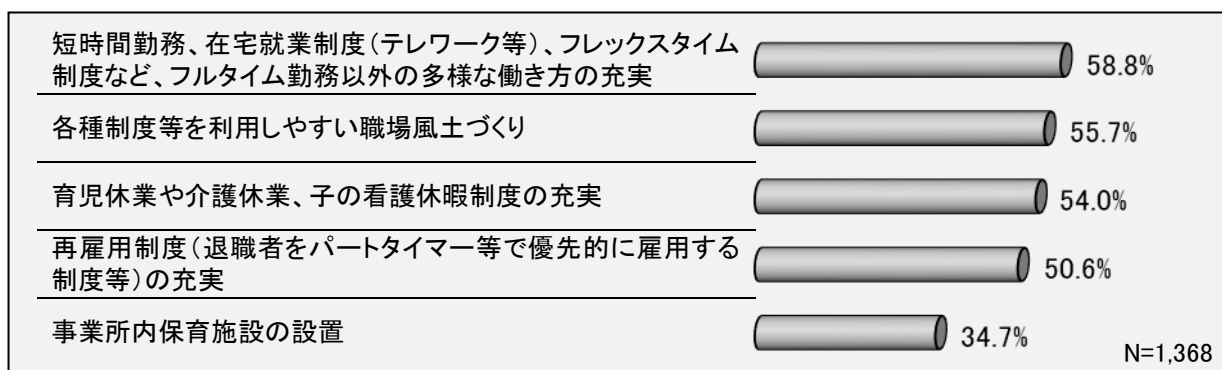
長時間労働の抑制について



年次有給休暇の取得促進について



制度・施設等の整備について



(1) 行政

仕事と子育て・家庭生活を両立するため、行政に望む取組は、「フルタイム勤務以外の多様な働き方にも対応する仕組の整備」が64.4%と最も高く、次いで「育児休業・介護休業中の賃金その他経済的補償の充実」が61.5%、「保育サービスの充実（認可保育所の延長保育や一時預かり、病児保育など）」が58.4%と続いており、この3項目は6割前後となっています。

N			認可保育所・認定こども園の増加	幼稚園の預かり保育の充実	保育サービスの充実 （認可保育所の延長保育や一時預かり、病児保育など）	フルタイム勤務以外の多様な働き方にも対応する仕組の整備	育児休業・介護休業中の賃金その他経済的補償の充実	
全 体			1,368	50.6%	48.2%	58.4%	64.4%	61.5%
年代別	20 歳代以下		144	58.3%	55.6%	58.3%	68.8%	75.0%
	30 歳代		148	54.7%	53.4%	68.9%	80.4%	67.6%
	40 歳代		226	50.4%	53.5%	56.6%	73.9%	62.4%
	50 歳代		295	48.8%	44.7%	55.3%	69.8%	60.3%
	60 歳代		257	58.4%	49.4%	65.0%	62.3%	60.7%
	70 歳代		298	39.9%	40.6%	52.0%	43.6%	53.0%
性別	女性	全体	777	52.0%	50.1%	64.0%	67.6%	62.8%
		20 歳代以下	89	66.3%	61.8%	64.0%	73.0%	76.4%
		30 歳代	92	60.9%	59.8%	78.3%	84.8%	69.6%
		40 歳代	142	54.9%	57.0%	64.1%	75.4%	60.6%
		50 歳代	165	44.8%	43.0%	57.6%	73.9%	58.2%
		60 歳代	135	60.0%	50.4%	71.9%	68.9%	67.4%
		70 歳代	154	36.4%	38.3%	55.2%	39.0%	53.9%
	男性	全体	587	49.1%	46.0%	51.3%	60.3%	59.6%
		20 歳代以下	53	47.2%	47.2%	50.9%	62.3%	73.6%
		30 歳代	56	44.6%	42.9%	53.6%	73.2%	64.3%
		40 歳代	82	43.9%	47.6%	43.9%	72.0%	64.6%
		50 歳代	130	53.8%	46.9%	52.3%	64.6%	63.1%
		60 歳代	122	56.6%	48.4%	57.4%	54.9%	53.3%
		70 歳代	144	43.8%	43.1%	48.6%	48.6%	52.1%

●仕事と子育て・家庭生活を両立するために行政に望む取組【就業状況別】

仕事と子育て・家庭生活を両立するため、行政に望む取組について、就業状況別にみると、就業者は、「フルタイム勤務以外の多様な働き方にも対応する仕組の整備」が68.3%と最も高く、次いで「育児休業・介護休業中の賃金その他経済的補償の充実」が64.0%、未就業者は、「保育サービスの充実（認可保育所の延長保育や一時預かり、病児保育など）」が59.6%、次いで「フルタイム勤務以外の多様な働き方にも対応する仕組の整備」が56.7%となっています。

			N	認可保育所・認定こども園の増加	幼稚園の預かり保育の充実	保育サービスの充実（認可保育所の延長保育や一時預かり、病児保育など）	フルタイム勤務以外の多様な働き方にも対応する仕組の整備	育児休業・介護休業中の賃金その他経済的補償の充実
就業状況別	就業者	全体	875	52.1%	49.1%	58.3%	68.3%	64.0%
		正社員・正職員	435	51.5%	47.1%	54.9%	70.6%	63.9%
		契約・派遣社員	61	49.2%	45.9%	52.5%	67.2%	59.0%
		パート・アルバイト	253	53.8%	54.2%	66.4%	72.3%	66.8%
		自営業者	74	50.0%	41.9%	58.1%	47.3%	62.2%
		会社等の役員	30	56.7%	60.0%	60.0%	53.3%	56.7%
	未就業者		441	47.6%	46.5%	59.6%	56.7%	55.3%
	学生		52	50.0%	48.1%	50.0%	63.5%	71.2%
性別	女性	全体	461	53.6%	51.6%	65.3%	74.0%	65.3%
		正社員・正職員	172	58.1%	52.3%	64.5%	75.6%	67.4%
		契約・派遣社員	30	50.0%	40.0%	53.3%	83.3%	56.7%
		パート・アルバイト	212	51.4%	53.3%	67.9%	75.0%	67.5%
		自営業者	26	46.2%	42.3%	65.4%	46.2%	57.7%
		会社等の役員	8	50.0%	62.5%	87.5%	50.0%	50.0%
	未就業者		285	49.1%	47.7%	62.8%	57.2%	57.5%
	学生		31	54.8%	48.4%	54.8%	67.7%	74.2%
	男性	全体	413	50.6%	46.5%	50.6%	62.2%	62.5%
		正社員・正職員	262	47.3%	43.9%	48.9%	67.6%	61.5%
		契約・派遣社員	31	48.4%	51.6%	51.6%	51.6%	61.3%
		パート・アルバイト	41	65.9%	58.5%	58.5%	58.5%	63.4%
		自営業者	48	52.1%	41.7%	54.2%	47.9%	64.6%
		会社等の役員	22	59.1%	59.1%	50.0%	54.5%	59.1%
	未就業者		154	45.5%	44.2%	53.9%	55.8%	50.6%
	学生		20	45.0%	50.0%	45.0%	55.0%	70.0%

●その他【自由回答】

児童手当など支援制度について

回答内容	性別	年代	同居している子ども
所得に関係なく、平等な子育て支援や各種手当などが確保されるようにすること。所得制限により手当がもらえなくなる今の制度では、男女ともに労働意欲が削がれると思う。	男性	30 歳代	未就学児 小学生
高校、専門学校、大学の費用の補助充実または無償化	男性	50 歳代	中学生以上
育児手当を増額して欲しい。	女性	30 歳代	未就学児
子育ては、みんな大変でお金がかかるものなのに、所得によって手当（支援）に差があるのはおかしいと思う。一律にして欲しい。	女性	40 歳代	中学生以上
子どもが大学に進学するまでの手当を充実させて欲しい。	女性	30 歳代	—
行政のサービスや制度、取組について、もっと広く周知して欲しい。また、それらについてより簡素化して分かりやすくして欲しい。	女性	60 歳代	中学生以上
金銭的な子育て支援の拡充。稼ぐと手当や支給額が減るのは現役世代の子育て意欲を減退させるのみ。	男性	20 歳代	—

保育施設について

回答内容	性別	年代	同居している子ども
保育所の数を増やすことも大事だが、保育士の数を増やすことも大事だと思う。保育士一人当たりが見る子どもの数を減らして、事件事故をなくして欲しい。	女性	40 歳代	中学生以上
監督体制と指導徹底を図る組織及び人員の確保	男性	70 歳代	—
年収や家族（祖父母）の状況によって、保育所に入れるかどうか判断しないで欲しい。	女性	50 歳代	—
保育士の賃金向上	女性	60 歳代	—
学童保育の充実、学童保育の情報不足の解消	女性	30 歳代	未就学児
小学生低学年の預かりなど	男性	60 歳代	—
学童の保育料引き下げ、長期休暇中のみ利用出来る学童	女性	40 歳代	小学生 中学生以上
有職・無職にかかわらず、保育園に入りやすくして欲しい。	女性	30 歳代	未就学児
施設労働者の給与補償	男性	70 歳代	—
保育士や幼稚園教諭の給与を上げることが、成り手不足解消の1番のポイントだと思う。	女性	30 歳代	未就学児
保育士や教師等の教育課程に就いている就労者の待遇改善	男性	30 歳代	—
従業員数が一定数を超過している会社には保育施設を設けさせる（設けなければいけない）等の制度があると良い。	女性	50 歳代	中学生以上
低年齢だけでなく小学生以上の学童保育の充実	女性	40 歳代	小学生 中学生以上
保育士の給料アップ、環境改善	女性	30 歳代	未就学児

行政が実施する各種事業や窓口について

回答内容	性別	年代	同居している子ども
古いしきたりの残る男性社員の意識改革を行うための具体的な調査	女性	50 歳代	—
孤立しないように、支援や相談ができる場所をつくる。	女性	60 歳代	—
母子家庭などの方へ、積極的な情報提供や支援を充実させること	男性	50 歳代	—
子育てをしている世帯がどういった生活をしているか、学生（将来に向けて）、高齢者（世代間ギャップ）、新婚（近い未来）を対象に学ぶ機会をつくる。	女性	30 歳代	未就学児
保育従事者の教育内容や待遇（給与や休暇）を上げるとともに、子育ては親だけではなく、社会全体で支えるという社会への啓蒙を学校教育で取り入れたり、行政から発信して欲しい。	女性	40 歳代	中学生以上
幼少期の子育ては親子の触れ合いが多く必要だと思うので、それができる環境づくりを望む。	男性	50 歳代	—
未就学児以外にも目を向けていただきたい。	女性	40 歳代	小学生 中学生以上
地域の方がボランティアで保育に参加できる仕組みづくり	男性	50 歳代	中学生以上
「育児」という仕事をもっと評価されること、育児について、男女ともにもっと教育すること	女性	60 歳代	中学生以上
中学校も給食制度を導入して欲しい。	女性	40 歳代	小学生
「家事は夫婦で分担するもの」など、男性側の意識を改革する取組	女性	60 歳代	—

その他

回答内容	性別	年代	同居している子ども
夜勤をしないと常勤扱いにならないので、その際の子どもの預け先に困っている。	女性	30 歳代	未就学児
産休、育休の取りやすさの改善。産休、育休後に何の不利もなく職場に復帰できる環境作りへの法令整備。	女性	20 歳代	—
子どもの健診の土日実施や医療機関の土日受診可能施設の拡大	女性	30 歳代	未就学児
公務員も副業を可能にすること	女性	40 歳代	—



(2) 企業（職場）

① 長時間労働の抑制について

長時間労働の抑制について、企業（職場）に望む取組は、「定時退社の推奨」が57.3%と最も高く、次いで「時間外労働削減のための対策」が55.7%となっています。

性・年代別にみると、女性は、40歳代を除く全ての年代で、「定時退社の推奨」が最も高く、特に30歳代以下の年代は7割を超えています。また、男性は、60歳代を除く全ての年代で、「時間外労働削減のための対策」が最も高く、特に50歳代以下の年代は6割を超えています。

N			定時退社の推奨	時間外労働削減の ための対策	始業・就業時刻の 繰り上げ・繰り下げ (労働時間は同じ)	
全 体		1,368	57.3%	55.7%	39.3%	
年 代 別	20 歳代以下		144	72.9%	70.1%	50.0%
	30 歳代		148	66.2%	63.5%	48.6%
	40 歳代		226	59.7%	62.8%	44.7%
	50 歳代		295	53.9%	53.6%	42.4%
	60 歳代		257	58.4%	51.0%	33.9%
	70 歳代		298	46.0%	45.6%	27.2%
性 別	女 性	全体	777	58.4%	54.7%	42.2%
		20 歳代以下	89	78.7%	71.9%	46.1%
		30 歳代	92	75.0%	62.0%	50.0%
		40 歳代	142	59.2%	61.3%	47.2%
		50 歳代	165	48.5%	47.3%	47.3%
		60 歳代	135	62.2%	54.8%	37.8%
		70 歳代	154	43.5%	42.2%	29.2%
	男 性	全体	587	55.7%	56.9%	35.6%
		20 歳代以下	53	62.3%	66.0%	56.6%
		30 歳代	56	51.8%	66.1%	46.4%
		40 歳代	82	61.0%	65.9%	41.5%
		50 歳代	130	60.8%	61.5%	36.2%
		60 歳代	122	54.1%	46.7%	29.5%
		70 歳代	144	48.6%	49.3%	25.0%



①－１ 長時間労働の抑制について【就業状況別】

長時間労働の抑制について、企業（職場）に望む取組を就業状況別にみると、就業者、未就業者及び学生とも、「定時退社の推奨」が最も高く、次いで「時間外労働削減のための対策」となっています。

N				定時退社の推奨	時間外労働削減のための対策	始業・就業時刻の繰り上げ・繰り下げ（労働時間は同じ）	
就業状況別	就業者	全 体	875	58.1%	57.8%	41.9%	
		正社員・正職員	435	61.8%	62.3%	45.7%	
		契約・派遣社員	61	55.7%	52.5%	42.6%	
		パート・アルバイト	253	54.2%	55.7%	38.7%	
		自営業者	74	54.1%	44.6%	36.5%	
		会社等の役員	30	46.7%	60.0%	26.7%	
	未就業者		441	53.7%	51.2%	33.3%	
	学生		52	75.0%	57.7%	46.2%	
性別	女性	就業者	全体	461	58.6%	58.1%	46.0%
			正社員・正職員	172	64.0%	64.5%	52.9%
			契約・派遣社員	30	63.3%	46.7%	53.3%
			パート・アルバイト	212	53.3%	57.5%	40.1%
			自営業者	26	57.7%	38.5%	38.5%
			会社等の役員	8	50.0%	50.0%	37.5%
		未就業者		285	55.4%	49.1%	35.8%
		学生		31	83.9%	54.8%	45.2%
	男性	就業者	全体	413	57.6%	57.6%	37.5%
			正社員・正職員	262	60.7%	61.1%	41.2%
			契約・派遣社員	31	48.4%	58.1%	32.3%
			パート・アルバイト	41	58.5%	46.3%	31.7%
			自営業者	48	52.1%	47.9%	35.4%
			会社等の役員	22	45.5%	63.6%	22.7%
		未就業者		154	50.0%	54.5%	28.6%
		学生		20	60.0%	60.0%	50.0%



② 年次有給休暇の取得促進について

年次有給休暇の取得促進について、企業（職場）に望む取組は、「有給休暇取得の推奨」が 72.1%と最も高く、次いで「半日単位での有給休暇取得が可能」が 46.9%となっています。

年代別にみると、全ての年代で、「有給休暇取得の推奨」が最も高く、60 歳代以下の年代は 7 割を超えています。性・年代別にみると、全ての性・年代で、「有給休暇取得の推奨」が最も高く、特に女性の 30 歳代は 84.8%と 8 割を超えています。

			N	有給休暇取得の推奨	半日単位での 有給休暇取得が可能	時間単位での 有給休暇取得が可能
全 体			1,368	72.1%	46.9%	39.2%
年 代 別	20 歳代以下		144	78.5%	52.1%	41.7%
	30 歳代		148	78.4%	57.4%	46.6%
	40 歳代		226	75.2%	54.9%	49.6%
	50 歳代		295	71.2%	45.4%	42.0%
	60 歳代		257	75.1%	47.1%	39.7%
	70 歳代		298	62.1%	34.6%	23.2%
性 別	女 性	全 体	777	71.7%	50.5%	43.8%
		20 歳代以下	89	77.5%	53.9%	44.9%
		30 歳代	92	84.8%	60.9%	50.0%
		40 歳代	142	73.9%	56.3%	52.8%
		50 歳代	165	69.1%	50.9%	48.5%
		60 歳代	135	74.1%	52.6%	45.9%
		70 歳代	154	59.1%	34.4%	24.0%
	男 性	全 体	587	72.7%	42.2%	33.0%
		20 歳代以下	53	79.2%	49.1%	35.8%
		30 歳代	56	67.9%	51.8%	41.1%
		40 歳代	82	78.0%	52.4%	43.9%
		50 歳代	130	73.8%	38.5%	33.8%
		60 歳代	122	76.2%	41.0%	32.8%
		70 歳代	144	65.3%	34.7%	22.2%

②-1 年次有給休暇の取得促進について【就業状況別】

年次有給休暇の取得促進について、企業（職場）に望む取組を就業状況別にみると、就業者、未就業者及び学生とも、「有給休暇取得の推奨」が最も高く、次いで「半日単位での有給休暇取得が可能」となっています。

性・就業状況別にみると、女性の会社等の役員を除く全ての性・就業状況で「有給休暇取得の推奨」が最も高く、特に女性の契約・派遣社員（80.0%）及び男性のパート・アルバイト（80.5%）、学生（80.0%）は8割以上となっています。

			N	有給休暇取得の推奨	半日単位での有給休暇取得が可能	時間単位での有給休暇取得が可能
就業状況別	就業者	全体	875	74.1%	49.1%	41.8%
		正社員・正職員	435	76.6%	49.7%	45.3%
		契約・派遣社員	61	75.4%	54.1%	45.9%
		パート・アルバイト	253	75.5%	53.0%	41.1%
		自営業者	74	55.4%	33.8%	28.4%
		会社等の役員	30	63.3%	46.7%	20.0%
		未就業者	441	67.8%	43.1%	33.8%
	学生		52	76.9%	42.3%	40.4%
性別	女性	全体	461	73.3%	53.8%	48.2%
		正社員・正職員	172	76.2%	56.4%	55.2%
		契約・派遣社員	30	80.0%	56.7%	60.0%
		パート・アルバイト	212	74.5%	54.2%	43.4%
		自営業者	26	42.3%	34.6%	26.9%
		会社等の役員	8	50.0%	62.5%	25.0%
		未就業者	285	68.8%	44.9%	36.8%
		学生	31	74.2%	51.6%	41.9%
	男性	全体	413	75.1%	44.1%	34.9%
		正社員・正職員	262	77.1%	45.4%	38.9%
		契約・派遣社員	31	71.0%	51.6%	32.3%
		パート・アルバイト	41	80.5%	46.3%	29.3%
		自営業者	48	62.5%	33.3%	29.2%
		会社等の役員	22	68.2%	40.9%	18.2%
		未就業者	154	65.6%	39.0%	27.3%
		学生	20	80.0%	30.0%	40.0%

③ 制度・施設等の整備について

制度・施設等の整備について、企業（職場）に望む取組は、「短時間勤務、在宅就業制度（テレワーク等）、フレックスタイム制度など、フルタイム勤務以外の多様な働き方の充実」が 58.8%と最も高く、次いで「各種制度等を利用しやすい職場風土づくり」が 55.7%となっています。

年代別にみると、50 歳代以下の年代は、「短時間勤務、在宅就業制度（テレワーク等）、フレックスタイム制度など、フルタイム勤務以外の多様な働き方の充実」が最も高く、60 歳代以上の年代は、「再雇用制度（退職者をパートタイマー等で優先的に雇用する制度等）の充実」が最も高くなっています。

			N	育児休業や介護休業、子の看護休暇制度の充実	短時間勤務、在宅就業制度（テレワーク等）、フレックスタイム制度など、フルタイム勤務以外の多様な働き方の充実	再雇用制度（退職者をパートタイマー等で優先的に雇用する制度等）の充実	事業所内保育施設の設置	各種制度等を利用しやすい職場風土づくり
全 体			1,368	54.0%	58.8%	50.6%	34.7%	55.7%
年代別	20 歳代以下		144	63.2%	73.6%	45.1%	36.1%	59.7%
	30 歳代		148	66.2%	78.4%	41.2%	46.6%	61.5%
	40 歳代		226	53.5%	67.7%	47.8%	35.4%	64.6%
	50 歳代		295	52.5%	61.4%	52.2%	32.5%	58.0%
	60 歳代		257	55.3%	56.0%	58.8%	38.5%	58.0%
	70 歳代		298	44.3%	35.2%	51.3%	26.5%	39.9%
性別	女性	全体	777	56.8%	61.5%	52.3%	38.1%	58.4%
		20 歳代以下	89	68.5%	71.9%	44.9%	46.1%	61.8%
		30 歳代	92	75.0%	82.6%	42.4%	50.0%	63.0%
		40 歳代	142	54.2%	69.0%	47.9%	37.3%	69.7%
		50 歳代	165	53.9%	62.4%	56.4%	32.7%	58.8%
		60 歳代	135	58.5%	62.2%	65.2%	44.4%	64.4%
		70 歳代	154	42.9%	34.4%	50.6%	27.3%	37.7%
	男性	全体	587	50.4%	55.4%	48.4%	30.3%	52.1%
		20 歳代以下	53	54.7%	75.5%	45.3%	18.9%	56.6%
		30 歳代	56	51.8%	71.4%	39.3%	41.1%	58.9%
		40 歳代	82	52.4%	67.1%	47.6%	32.9%	56.1%
		50 歳代	130	50.8%	60.0%	46.9%	32.3%	56.9%
		60 歳代	122	51.6%	49.2%	51.6%	32.0%	50.8%
		70 歳代	144	45.8%	36.1%	52.1%	25.7%	42.4%

③－１ 制度・施設等の整備について【就業状況別】

制度・施設等の整備について、企業（職場）に望む取組を就業状況別にみると、就業者及び学生は、「短時間勤務、在宅就業制度（テレワーク等）、フレックスタイム制度など、フルタイム勤務以外の多様な働き方の充実」が最も高く、未就業者は、「育児休業や介護休業、子の看護休暇制度の充実」が54.4%と最も高くなっています。

				N	育児休業や介護休業、子の看護休暇制度の充実	短時間勤務、在宅就業制度（テレワーク等）、フレックスタイム制度など、フルタイム勤務以外の多様な働き方の充実	再雇用制度（退職者をパートタイマー等で優先的に雇用する制度等）の充実	事業所内保育施設の設置	各種制度等を利用しやすい職場風土づくり
就業状況別	就業者	全 体	875	53.6%	61.9%	50.2%	35.4%	58.3%	
		正社員・正職員	435	53.1%	66.4%	46.0%	35.2%	62.3%	
		契約・派遣社員	61	54.1%	62.3%	62.3%	29.5%	47.5%	
		パート・アルバイト	253	56.5%	59.7%	56.1%	37.5%	60.9%	
		自営業者	74	45.9%	41.9%	50.0%	40.5%	41.9%	
		会社等の役員	30	50.0%	60.0%	33.3%	26.7%	53.3%	
		未就業者	441	54.4%	51.5%	51.9%	34.2%	51.2%	
	学生	52	57.7%	69.2%	46.2%	26.9%	50.0%		
性別	女性	就業者	全体	461	57.0%	65.9%	52.7%	39.5%	62.3%
			正社員・正職員	172	59.9%	72.7%	46.5%	40.1%	67.4%
			契約・派遣社員	30	53.3%	70.0%	80.0%	36.7%	50.0%
			パート・アルバイト	212	58.0%	60.8%	54.2%	38.7%	61.8%
			自営業者	26	30.8%	50.0%	50.0%	46.2%	53.8%
			会社等の役員	8	75.0%	75.0%	50.0%	37.5%	50.0%
		未就業者	285	55.8%	53.7%	52.3%	35.8%	52.6%	
		学生	31	61.3%	67.7%	45.2%	38.7%	54.8%	
	男性	就業者	全体	413	49.9%	57.6%	47.5%	31.0%	54.0%
			正社員・正職員	262	48.9%	62.6%	45.8%	32.1%	59.2%
			契約・派遣社員	31	54.8%	54.8%	45.2%	22.6%	45.2%
			パート・アルバイト	41	48.8%	53.7%	65.9%	31.7%	56.1%
			自営業者	48	54.2%	37.5%	50.0%	37.5%	35.4%
			会社等の役員	22	40.9%	54.5%	27.3%	22.7%	54.5%
		未就業者	154	51.3%	47.4%	50.6%	31.2%	48.1%	
		学生	20	55.0%	70.0%	50.0%	10.0%	45.0%	

●その他【自由回答】

回答内容	性別	年代	同居している子ども
夏休み等、幼稚園や小学校が休みの期間は、休暇や時短勤務が取りやすくなるような職場風土があればいいと思う。また、子どもがいない人が業務をフォローする場合、不公平感が出ないよう配慮が必要であると思う。	女性	60 歳代	中学生以上
業種によって、有給休暇の取りやすさにばらつきが見られるので改善されて欲しい。	女性	30 歳代	未就学児
育児や介護などの休暇について、相談できる部署をつくる。	女性	60 歳代	中学生以上
どんなに充実した制度があっても、実情の意識と差があります。特に若い世代よりも、年代が上の男性社員の意識が変わらないと実情は変わらないと思う。	女性	50 歳代	—
サービス残業を黙認している中小企業の取り締まり。労基に相談しようにも、相談者が特定され会社に報告され、居づらくなると聞きます。	女性	40 歳代	—
企業は経費削減で雇用人数を減らし、結局いる人で仕事を回さなければならない。仕事量は同じなので、結果、長時間労働になってしまう。いくら定時退社を推奨しても根本的に無理なのでは。	女性	60 歳代	小学生 中学生以上
人手に余裕がないと、様々な制度も活用できないので意味がないと思う。	男性	30 歳代	未就学児 小学生
人手を増やさないと、各休暇制度も利用できないと思う。	女性	40 歳代	小学生
職場内全員の理解がなければ、休暇が取れる制度がいくらあっても結局嫌な顔をされることが多く取りづらい。子育てや介護と仕事の両立は難しい。なので社員全体の理解を促す努力をしてほしい。	女性	30 歳代	未就学児
週休 3 日の推奨。各個人のスキルに合わせた業務内容に割当てする活動など。	男性	40 歳代	—



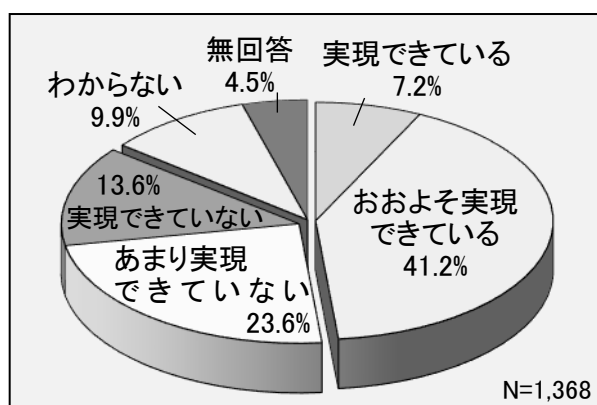
問6 あなたは、「ワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）」を実現できていると思いますか。あてはまるものを1つ選んでください。

※【実現できている】・・・「実現できている」と「おおよそ実現できている」を合わせたもの
【実現できていない】・・・「あまり実現できていない」と「実現できていない」を合わせたもの

「ワーク・ライフ・バランスの実現」について、「おおよそ実現できている」が41.2%と最も高く、次いで「あまり実現できていない」が23.6%となっています。また、【実現できている】(48.5%)が【実現できていない】(37.2%)を11ポイント上回っています。

年代別にみると、「わからない」は20歳代が最も高く18.1%となっています。また、50歳代は、「あまり実現できていない」(28.8%)、「実現できていない」(16.9%)及び【否現実的】(45.8%)が他の年代と比べて最も高くなっています。

性別にみると、女性、男性ともに「おおよそ実現できている」、「あまり実現できていない」の順に高くなっています。また、女性は、【実現できている】(49.2%)が【実現できていない】(35.4%)を13ポイント上回っており、男性は【実現できている】(47.7%)が【実現できていない】(39.5%)を8ポイント上回っています。性・年代別にみると、女性は全ての年代において【実現できている】が【実現できていない】を上回っていますが、男性は、30歳代が両者とも42.9%で同率、50歳代は【実現できていない】(50.0%)が【実現できている】(43.1%)を6ポイント上回っています。



◎平塚市の現状(ひらつか男女共同参画プラン2017関連男女別統計)

【自身の希望するワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）が実現している市民の割合】

48.5%という結果になり、前回調査と比較※して13ポイント上がっています。

令和4年度(N=1,368)	48.5%
令和元年度(N=1,131)	34.8%
平成27年度(N=1,194)	31.3%

※前回調査と設問形式が異なるため、比較は参考とします。

●ワーク・ライフ・バランスの実現【年代別／性別】

N			【実現できている】	実現できている	実現できている おおよそ	実現できていない あまり	実現できていない	【実現できていない】	わからない	無回答
全 体		1,368	【48.5%】	7.2%	41.2%	23.6%	13.6%	【37.2%】	9.9%	4.5%
年代別	20 歳代以下	144	【43.8%】	5.6%	38.2%	22.9%	11.8%	【34.7%】	18.1%	3.5%
	30 歳代	148	【45.3%】	4.7%	40.5%	28.4%	14.9%	【43.2%】	8.8%	2.7%
	40 歳代	226	【54.4%】	8.0%	46.5%	25.2%	14.2%	【39.4%】	4.9%	1.3%
	50 歳代	295	【46.4%】	4.7%	41.7%	28.8%	16.9%	【45.8%】	6.4%	1.4%
	60 歳代	257	【55.6%】	10.9%	44.7%	23.3%	10.9%	【34.2%】	7.8%	2.3%
	70 歳代	298	【43.6%】	8.1%	35.6%	15.4%	12.4%	【27.9%】	15.4%	13.1%
性別	女性	全体	777	【49.2%】	6.4%	42.7%	22.4%	【35.4%】	10.6%	4.9%
		20 歳代以下	89	【44.9%】	6.7%	38.2%	19.1%	【32.6%】	19.1%	3.4%
		30 歳代	92	【46.7%】	5.4%	41.3%	29.3%	【43.5%】	8.7%	1.1%
		40 歳代	142	【56.3%】	7.7%	48.6%	21.1%	【35.2%】	6.3%	2.1%
		50 歳代	165	【49.1%】	4.8%	44.2%	27.9%	【42.4%】	6.7%	1.8%
		60 歳代	135	【57.8%】	8.1%	49.6%	22.2%	【30.4%】	9.6%	2.2%
		70 歳代	154	【39.0%】	5.8%	33.1%	15.6%	【29.2%】	15.6%	16.2%
	男性	全体	587	【47.7%】	8.3%	39.4%	25.2%	【39.5%】	8.9%	3.9%
		20 歳代以下	53	【41.5%】	3.8%	37.7%	30.2%	【39.6%】	15.1%	3.8%
		30 歳代	56	【42.9%】	3.6%	39.3%	26.8%	【42.9%】	8.9%	5.4%
		40 歳代	82	【52.4%】	8.5%	43.9%	31.7%	【45.1%】	2.4%	0.0%
		50 歳代	130	【43.1%】	4.6%	38.5%	30.0%	【50.0%】	6.2%	0.8%
		60 歳代	122	【53.3%】	13.9%	39.3%	24.6%	【38.5%】	5.7%	2.5%
		70 歳代	144	【48.6%】	10.4%	38.2%	15.3%	【26.4%】	15.3%	9.7%



問6-1 ワーク・ライフ・バランスの実現【就業状況別】

「ワーク・ライフ・バランスの実現」について、就業状況別にみると、就業者、未就業者及び学生ともに【実現できている】が【実現できていない】を上回っています。また、【実現できている】は、就業者（52.3%）が、未就業者（41.7%）及び学生（40.4%）を10ポイント上回っています。

性・就業状況別にみると、【実現できている】は女性、男性ともに契約・派遣社員が最も高く、女性は60.0%、男性は64.5%と6割以上となっています。

				N	【実現できている】	実現できている	実現できている おおよそ	実現できていない あまり	実現できていない	【実現できていない】	わからない	無回答
就業状況別	就業者	全 体	875	【52.3%】	6.4%	45.9%	26.7%	13.3%	【40.0%】	5.8%	1.8%	
		正社員・正職員	435	【50.8%】	5.5%	45.3%	29.4%	14.3%	【43.7%】	4.4%	1.1%	
		契約・派遣社員	61	【62.3%】	6.6%	55.7%	23.0%	6.6%	【29.5%】	3.3%	4.9%	
		パート・アルバイト	253	【53.4%】	5.1%	48.2%	26.1%	11.5%	【37.5%】	7.1%	2.0%	
		自営業者	74	【58.1%】	16.2%	41.9%	14.9%	16.2%	【31.1%】	9.5%	1.4%	
		会社等の役員	30	【40.0%】	10.0%	30.0%	40.0%	13.3%	【53.3%】	3.3%	3.3%	
	未就業者	441	【41.7%】	8.8%	32.9%	17.0%	14.7%	【31.7%】	16.6%	10.0%		
	学生	52	【40.4%】	7.7%	32.7%	26.9%	9.6%	【36.5%】	21.2%	1.9%		
性別	女性	就業者	全体	461	【54.2%】	6.3%	47.9%	25.4%	12.1%	【37.5%】	6.3%	2.0%
			正社員・正職員	172	【56.4%】	7.0%	49.4%	25.6%	11.6%	【37.2%】	4.7%	1.7%
			契約・派遣社員	30	【60.0%】	3.3%	56.7%	30.0%	3.3%	【33.3%】	6.7%	—
			パート・アルバイト	212	【53.3%】	5.2%	48.1%	25.9%	11.8%	【37.7%】	7.1%	1.9%
			自営業者	26	【57.7%】	15.4%	42.3%	15.4%	19.2%	【34.6%】	3.8%	3.8%
			会社等の役員	8	【25.0%】	12.5%	12.5%	50.0%	12.5%	【62.5%】	—	12.5%
		未就業者	285	【41.8%】	6.7%	35.1%	17.5%	14.7%	【32.3%】	16.1%	9.8%	
		学生	31	【41.9%】	6.5%	35.5%	22.6%	9.7%	【32.3%】	22.6%	3.2%	
	男性	就業者	全体	413	【50.4%】	6.5%	43.8%	28.1%	14.5%	【42.6%】	5.3%	1.7%
			正社員・正職員	262	【47.3%】	4.6%	42.7%	31.7%	16.0%	【47.7%】	4.2%	0.8%
			契約・派遣社員	31	【64.5%】	9.7%	54.8%	16.1%	9.7%	【25.8%】	—	9.7%
			パート・アルバイト	41	【53.7%】	4.9%	48.8%	26.8%	9.8%	【36.6%】	7.3%	2.4%
			自営業者	48	【58.3%】	16.7%	41.7%	14.6%	14.6%	【29.2%】	12.5%	—
			会社等の役員	22	【45.5%】	9.1%	36.4%	36.4%	13.6%	【50.0%】	4.5%	—
		未就業者	154	【42.2%】	13.0%	29.2%	16.2%	14.3%	【30.5%】	16.9%	10.4%	
		学生	20	【35.0%】	10.0%	25.0%	35.0%	10.0%	【45.0%】	20.0%	—	

問6-2 ワーク・ライフ・バランスの実現【結婚の状況別】

「ワーク・ライフ・バランスの実現」について、結婚の状況別にみると、「おおよそ実現できている」が未婚者（34.5%）、既婚者等（44.6%）とそれぞれ最も高くなっています。また、未婚者は、【実現できていない】（42.2%）が、【実現できている】（39.2%）を3ポイント上回っていますが、既婚者等は、【実現できている】（52.5%）が、【実現できていない】（35.5%）を17ポイント上回っています。

性別にみると、女性は未婚者、既婚者等ともに、【実現できている】が【実現できていない】を上回っています。男性は、未婚者は、【実現できていない】（46.4%）が【実現できている】（35.8%）を10ポイント上回っていますが、既婚者等は、【実現できている】（53.0%）が、【実現できていない】（36.9%）を16ポイント上回っています。また、「わからない」は、女性、男性ともに未婚者が既婚者等を上回っています。

N			【実現できている】	実現できている	実現できている おおよそ	実現できていない あまり	実現できていない	【実現できていない】	わからない	無回答
全体	未婚者	296	【39.2%】	4.7%	34.5%	23.6%	18.6%	【42.2%】	14.9%	3.7%
	既婚者等	934	【52.5%】	7.8%	44.6%	23.4%	12.1%	【35.5%】	8.1%	3.9%
女性	未婚者	143	【42.7%】	5.6%	37.1%	21.0%	17.5%	【38.5%】	14.7%	4.2%
	既婚者等	534	【52.2%】	6.4%	45.9%	22.5%	11.8%	【34.3%】	9.0%	4.5%
男性	未婚者	151	【35.8%】	4.0%	31.8%	26.5%	19.9%	【46.4%】	14.6%	3.3%
	既婚者等	398	【53.0%】	9.8%	43.2%	24.6%	12.3%	【36.9%】	7.0%	3.0%



問7 次の①～④について、あなたの家庭では主に誰が担っていますか。項目ごとにあてはまるものを1つずつ選んでください。(配偶者には事実婚等のパートナーも含みます。)

① 家事（炊事、買い物、洗濯、掃除など）

家事の担い手について、「主に自分」が47.7%と最も高く、次いで「主に配偶者」が24.1%となっています。

性別にみると、女性は「主に自分」が71.6%と最も高く、次いで「夫婦が同じくらい分担」が9.0%となっています。また、男性は「主に配偶者」が53.5%と最も高く、次いで「主に自分」が16.0%となっています。性・年代別にみると、女性は20歳代以下を除く全ての年代で、「主に自分」が最も高く6割を超えています。また、男性は20歳代以下を除く全ての年代で、「主に配偶者」が最も高く、60歳以上の年代は6割を超えています。

N			主に自分	主に配偶者	夫婦が同じくらい分担	夫婦以外の家族	家族で交代・分担	有償サービスの利用	該当なし	無回答	
全 体		1,368	47.7%	24.1%	8.9%	4.9%	8.3%	0.1%	3.4%	2.7%	
年代別	20 歳代以下	144	23.6%	6.3%	5.6%	17.4%	30.6%	—	13.2%	3.5%	
	30 歳代	148	50.0%	19.6%	8.8%	9.5%	6.8%	—	3.4%	2.0%	
	40 歳代	226	50.4%	22.6%	10.2%	5.8%	8.0%	—	2.7%	0.4%	
	50 歳代	295	53.9%	25.1%	6.1%	4.4%	6.1%	—	3.1%	1.4%	
	60 歳代	257	49.4%	30.0%	13.2%	0.4%	4.3%	0.4%	0.8%	1.6%	
	70 歳代	298	48.3%	30.2%	8.7%	0.3%	4.0%	—	1.7%	6.7%	
性別	女性	全体	777	71.6%	1.9%	9.0%	4.1%	8.4%	—	2.4%	2.6%
		20 歳代以下	89	27.0%	2.2%	6.7%	15.7%	32.6%	—	12.4%	3.4%
		30 歳代	92	66.3%	3.3%	10.9%	9.8%	5.4%	—	2.2%	2.2%
		40 歳代	142	73.9%	2.1%	11.3%	3.5%	8.5%	—	0.7%	—
		50 歳代	165	84.2%	2.4%	6.1%	1.8%	3.0%	—	1.2%	1.2%
		60 歳代	135	81.5%	1.5%	10.4%	0.7%	5.2%	—	0.7%	—
		70 歳代	154	76.0%	0.6%	9.1%	—	4.5%	—	1.3%	8.4%
	男性	全体	587	16.0%	53.5%	8.9%	6.0%	8.0%	0.2%	4.6%	2.9%
		20 歳代以下	53	17.0%	13.2%	3.8%	20.8%	26.4%	—	15.1%	3.8%
		30 歳代	56	23.2%	46.4%	5.4%	8.9%	8.9%	—	5.4%	1.8%
		40 歳代	82	9.8%	57.3%	8.5%	9.8%	7.3%	—	6.1%	1.2%
		50 歳代	130	15.4%	53.8%	6.2%	7.7%	10.0%	—	5.4%	1.5%
		60 歳代	122	13.9%	61.5%	16.4%	—	3.3%	0.8%	0.8%	3.3%
		70 歳代	144	18.8%	61.8%	8.3%	0.7%	3.5%	—	2.1%	4.9%

①－1 家事【世帯構成別】

家事の担い手について、性・世帯構成別にみると、女性は全ての世帯構成において、「主に自分」が最も高くなっています。また、男性は、単身を除く全ての世帯構成において、「主に配偶者」が最も高く、特に夫婦のみの世帯は、74.8%と7割を超えています。

N			主に自分	主に配偶者	夫婦が同じくらい分担	夫婦以外の家族	家族で交代・分担	有償サービスの利用	該当なし	無回答
全体	単身	165	87.3%	—	1.2%	0.6%	—	0.6%	3.0%	7.3%
	夫婦のみ	337	46.9%	35.0%	14.8%	—	1.5%	—	0.3%	1.5%
	二世帯世帯	746	41.7%	25.2%	8.4%	7.0%	11.7%	—	4.2%	1.9%
	三世帯世帯	101	31.7%	23.8%	5.9%	13.9%	12.9%	—	5.9%	5.9%
女性	単身	82	90.2%	—	2.4%	—	—	—	2.4%	4.9%
	夫婦のみ	190	77.9%	4.2%	15.8%	—	0.5%	—	0.5%	1.1%
	二世帯世帯	440	68.0%	1.6%	7.7%	6.4%	11.8%	—	2.7%	1.8%
	三世帯世帯	52	59.6%	—	7.7%	7.7%	11.5%	—	1.9%	11.5%
男性	単身	82	84.1%	—	—	1.2%	—	1.2%	3.7%	9.8%
	夫婦のみ	147	6.8%	74.8%	13.6%	—	2.7%	—	—	2.0%
	二世帯世帯	304	3.9%	59.2%	9.5%	7.9%	11.2%	—	6.3%	2.0%
	三世帯世帯	48	—	50.0%	4.2%	20.8%	14.6%	—	10.4%	—

①－2 家事【共働き世帯の状況】

家事の担い手について、共働き世帯の状況をみると、女性は「主に自分」が79.4%と最も高く、男性は「主に配偶者」が78.8%と最も高くなっています。また、「夫婦が同じくらい分担」は、女性、男性ともに1割強となっています。

N		主に自分	主に配偶者	夫婦が同じくらい分担	夫婦以外の家族	家族で交代・分担	有償サービスの利用	該当なし	無回答
全体	471	49.0%	32.3%	13.8%	0.8%	3.2%	—	0.4%	0.4%
女性	286	79.4%	2.1%	14.3%	0.7%	2.8%	—	0.3%	0.3%
男性	184	2.2%	78.8%	13.0%	1.1%	3.8%	—	0.5%	0.5%

② 育児・子育て

育児・子育ての担い手について、「主に自分」が 15.4%と最も高く、次いで「主に配偶者」が 8.7%となっています。

年代別にみると、「主に自分」は 30 歳代が 32.4%と最も高く、年代が上がるにつれて徐々に低下しています。

性別にみると、女性は「主に自分」が 26.4%と最も高く、次いで「夫婦が同じくらい分担」が 6.8%となっています。また、男性は「主に配偶者」が 19.6%と最も高く、次いで「夫婦が同じくらい分担」が 6.5%となっています。性・年代別にみると、女性は 20 歳代以下を除く全ての年代で、「主に自分」が最も高く、男性は 20 歳代以下を除く全ての年代で、「主に配偶者」が最も高くなっています。また、「夫婦が同じくらい分担」は、女性、男性ともに 40 歳代が最も高くなっています。

			N	主に自分	主に配偶者	夫婦が同じくらい分担	夫婦以外の家族	家族で交代・分担	有償サービスの利用	該当なし	無回答
全 体			1,368	15.4%	8.7%	6.7%	1.0%	2.0%	0.1%	56.5%	9.7%
年代別	20 歳代以下		144	2.8%	2.1%	4.9%	3.5%	3.5%	—	78.5%	4.9%
	30 歳代		148	32.4%	10.8%	9.5%	0.7%	4.1%	—	39.9%	2.7%
	40 歳代		226	27.9%	18.6%	14.2%	0.9%	3.1%	—	32.3%	3.1%
	50 歳代		295	19.7%	11.5%	5.8%	—	1.7%	—	56.3%	5.1%
	60 歳代		257	9.3%	5.4%	4.3%	1.9%	1.2%	—	68.1%	9.7%
	70 歳代		298	4.7%	3.4%	3.4%	—	0.3%	0.3%	62.8%	25.2%
性別	女性	全体	777	26.4%	0.5%	6.8%	0.9%	1.9%	—	53.7%	9.8%
		20 歳代以下	89	4.5%	—	6.7%	2.2%	3.4%	—	77.5%	5.6%
		30 歳代	92	52.2%	1.1%	9.8%	1.1%	3.3%	—	30.4%	2.2%
		40 歳代	142	42.3%	1.4%	15.5%	—	4.2%	—	33.1%	3.5%
		50 歳代	165	35.2%	—	4.2%	—	0.6%	—	55.8%	4.2%
		60 歳代	135	17.0%	0.7%	3.0%	3.0%	1.5%	—	65.2%	9.6%
		70 歳代	154	7.8%	—	3.2%	—	—	—	60.4%	28.6%
	男性	全体	587	0.9%	19.6%	6.5%	1.0%	2.0%	0.2%	60.1%	9.7%
		20 歳代以下	53	—	5.7%	1.9%	5.7%	3.8%	—	79.2%	3.8%
		30 歳代	56	—	26.8%	8.9%	—	5.4%	—	55.4%	3.6%
		40 歳代	82	2.4%	48.8%	12.2%	2.4%	1.2%	—	30.5%	2.4%
		50 歳代	130	—	26.2%	7.7%	—	3.1%	—	56.9%	6.2%
		60 歳代	122	0.8%	10.7%	5.7%	0.8%	0.8%	—	71.3%	9.8%
		70 歳代	144	1.4%	6.9%	3.5%	—	0.7%	0.7%	65.3%	21.5%

②-1 育児・子育て【世帯構成別】

育児・子育ての担い手について、性・世帯構成別にみると、女性は全ての世帯構成において、「主に自分」が最も高くなっています。また、男性は、単身を除く全ての世帯構成において、「主に配偶者」が最も高くなっています。

N			主に自分	主に配偶者	夫婦が同じくらい分担	夫婦以外の家族	家族で交代・分担	有償サービスの利用	該当なし	無回答
全体	単身	165	3.6%	0.6%	1.8%	—	—	—	75.8%	18.2%
	夫婦のみ	337	6.8%	3.3%	2.1%	—	—	—	76.0%	11.9%
	二世帯世帯	746	22.9%	13.0%	9.8%	1.1%	2.4%	—	44.6%	6.2%
	三世帯世帯	101	10.9%	9.9%	7.9%	5.0%	6.9%	1.0%	44.6%	13.9%
女性	単身	82	4.9%	1.2%	3.7%	—	—	—	76.8%	13.4%
	夫婦のみ	190	12.1%	—	1.6%	—	—	—	75.8%	10.5%
	二世帯世帯	440	38.2%	0.7%	9.8%	1.1%	2.5%	—	41.1%	6.6%
	三世帯世帯	52	19.2%	—	7.7%	3.8%	5.8%	—	36.5%	26.9%
男性	単身	82	2.4%	—	—	—	—	—	74.4%	23.2%
	夫婦のみ	147	—	7.5%	2.7%	—	—	—	76.2%	13.6%
	二世帯世帯	304	1.0%	30.9%	9.9%	1.0%	2.3%	—	49.3%	5.6%
	三世帯世帯	48	—	20.8%	8.3%	6.3%	8.3%	2.1%	54.2%	—



②-2 育児・子育て【同居している子どもの状況別】

育児・子育ての担い手について、同居している子どもの状況別にみると、女性は全ての子どもの状況において、「主に自分」が最も高く、男性は全ての子どもの状況において、「主に配偶者」が最も高くなっています。特に、未就学児を含む子どもの状況において、「主に自分」と回答した男性はいませんでした。

N			主に自分	主に配偶者	夫婦が同じくらい分担	夫婦以外の家族	家族で交代・分担	有償サービスの利用	該当なし	無回答
全体	未就学児のみ	58	48.3%	1.7%	13.8%	1.7%	3.4%	—	—	1.7%
	小学生のみ	53	43.4%	—	17.0%	—	3.8%	—	3.8%	—
	中学生以上のみ	412	18.9%	0.5%	5.8%	0.7%	1.2%	—	25.5%	6.6%
	未就学児／小学生	38	42.1%	—	5.3%	2.6%	2.6%	—	—	—
	未就学児／中学生以上	3	—	—	—	—	—	—	—	—
	小学生／中学生以上	50	52.0%	—	2.0%	—	4.0%	—	—	—
	未就学児／小学生 中学生以上	1	100.0%	—	—	—	—	—	—	—
女性	未就学児のみ	41	68.3%	2.4%	19.5%	2.4%	4.9%	—	—	2.4%
	小学生のみ	36	63.9%	—	25.0%	—	5.6%	—	5.6%	—
	中学生以上のみ	244	32.0%	0.8%	9.8%	1.2%	2.0%	—	43.0%	11.1%
	未就学児／小学生	20	80.0%	—	10.0%	5.0%	5.0%	—	—	—
	未就学児／中学生以上	—								
	小学生／中学生以上	29	89.7%	—	3.4%	—	6.9%	—	—	—
	未就学児／小学生 中学生以上	1	100.0%	—	—	—	—	—	—	—
男性	未就学児のみ	17	—	70.6%	17.6%	—	11.8%	—	—	—
	小学生のみ	17	5.9%	82.4%	—	—	5.9%	—	5.9%	—
	中学生以上のみ	166	1.2%	27.1%	10.8%	1.2%	1.8%	0.6%	51.2%	6.0%
	未就学児／小学生	18	—	61.1%	22.2%	—	11.1%	—	—	5.6%
	未就学児／中学生以上	3	—	100.0%	—	—	—	—	—	—
	小学生／中学生以上	21	—	71.4%	19.0%	—	4.8%	—	4.8%	—
	未就学児／小学生 中学生以上	—								

③ 介護・看護

介護・看護の担い手について、「主に自分」が8.8%と最も高く、次いで「主に配偶者」が3.1%となっています。

年代別にみると、「該当なし」は30歳代が88.5%と最も高く、年代が上がるにつれて徐々に低下しています。

性別にみると、女性は「主に自分」が12.7%と最も高く、次いで「夫婦が同じくらい分担」が2.7%となっています。また、男性は「主に配偶者」が6.3%と最も高く、次いで「主に自分」が3.6%となっています。性・年代別にみると、女性は20歳代以下を除く全ての年代で、「主に自分」が最も高く、特に50歳代と60歳代は2割を超えています。男性は40歳代以下の年代は、「主に自分」はおらず、50歳代以上の年代は「主に配偶者」が最も高くなっています。

N			主に自分	主に配偶者	夫婦が同じくらい分担	夫婦以外の家族	家族で交代・分担	有償サービスの利用	該当なし	無回答	
全 体			1,368	8.8%	3.1%	2.6%	1.5%	1.5%	2.3%	70.4%	9.9%
年代別	20 歳代以下		144	—	0.7%	2.1%	4.9%	3.5%	2.8%	81.3%	4.9%
	30 歳代		148	2.0%	1.4%	0.7%	1.4%	0.7%	0.7%	88.5%	4.7%
	40 歳代		226	6.2%	1.3%	1.3%	2.2%	0.9%	—	83.6%	4.4%
	50 歳代		295	14.6%	4.7%	3.1%	1.4%	1.4%	2.0%	68.8%	4.1%
	60 歳代		257	13.6%	4.3%	5.1%	0.8%	1.6%	4.7%	60.7%	9.3%
	70 歳代		298	8.4%	4.0%	2.0%	—	1.3%	2.7%	56.0%	25.5%
性別	女性	全体	777	12.7%	0.8%	2.7%	1.8%	1.2%	1.8%	69.6%	9.4%
		20 歳代以下	89	—	—	3.4%	4.5%	3.4%	—	83.1%	5.6%
		30 歳代	92	3.3%	1.1%	—	2.2%	—	1.1%	88.0%	4.3%
		40 歳代	142	9.9%	0.7%	0.7%	2.8%	—	—	81.7%	4.2%
		50 歳代	165	21.2%	1.8%	4.8%	1.2%	1.2%	1.8%	64.8%	3.0%
		60 歳代	135	20.7%	—	5.2%	1.5%	2.2%	3.0%	60.7%	6.7%
		70 歳代	154	12.3%	0.6%	1.3%	—	0.6%	3.9%	52.6%	28.6%
	男性	全体	587	3.6%	6.3%	2.4%	1.0%	1.7%	2.9%	71.4%	10.7%
		20 歳代以下	53	—	1.9%	—	5.7%	1.9%	7.5%	79.2%	3.8%
		30 歳代	56	—	1.8%	1.8%	—	1.8%	—	89.3%	5.4%
		40 歳代	82	—	2.4%	2.4%	1.2%	2.4%	—	86.6%	4.9%
		50 歳代	130	6.2%	8.5%	0.8%	1.5%	1.5%	2.3%	73.8%	5.4%
		60 歳代	122	5.7%	9.0%	4.9%	—	0.8%	6.6%	60.7%	12.3%
		70 歳代	144	4.2%	7.6%	2.8%	—	2.1%	1.4%	59.7%	22.2%

④ 自治会活動など地域の活動

自治会活動など地域の活動の担い手について、「主に自分」が24.3%と最も高く、次いで「主に配偶者」が11.8%となっています。

年代別にみると、30歳以上の年代は、「主に自分」が最も高く、年代が上がるにつれて徐々に上昇しています。

性別にみると、女性は「主に自分」が28.3%と最も高く、次いで「主に配偶者」が10.7%となっています。また、男性は「主に自分」が18.9%と最も高く、次いで「主に配偶者」が13.5%となっています。性・年代別にみると、女性は20歳代以下を除く全ての年代で、「主に自分」が最も高く、特に50歳以上の年代は3割を超えています。男性は30歳代、50歳代及び70歳代は、「主に自分」が最も高く、年代が上がるにつれて徐々に上昇しています。

			N	主に自分	主に配偶者	夫婦が同じくらい分担	夫婦以外の家族	家族で交代・分担	有償サービスの利用	該当なし	無回答
全 体			1,368	24.3%	11.8%	7.9%	3.7%	2.3%	0.1%	43.9%	6.1%
年代別	20 歳代以下		144	2.8%	—	2.8%	9.7%	5.6%	—	74.3%	4.9%
	30 歳代		148	14.9%	4.7%	3.4%	4.1%	2.0%	—	68.2%	2.7%
	40 歳代		226	23.0%	13.7%	7.1%	6.2%	3.5%	—	43.4%	3.1%
	50 歳代		295	26.4%	15.9%	8.8%	4.4%	2.4%	—	39.3%	2.7%
	60 歳代		257	28.8%	14.4%	10.5%	0.4%	1.6%	0.4%	39.3%	4.7%
	70 歳代		298	34.2%	13.4%	10.1%	1.0%	0.3%	—	25.8%	15.1%
性別	女性	全体	777	28.3%	10.7%	7.5%	3.9%	2.2%	—	41.2%	6.3%
		20 歳代以下	89	3.4%	—	4.5%	10.1%	4.5%	—	71.9%	5.6%
		30 歳代	92	16.3%	2.2%	4.3%	6.5%	1.1%	—	66.3%	3.3%
		40 歳代	142	28.2%	10.6%	6.3%	5.6%	4.2%	—	42.3%	2.8%
		50 歳代	165	34.5%	16.4%	10.3%	2.4%	1.2%	—	32.7%	2.4%
		60 歳代	135	40.0%	11.9%	8.1%	0.7%	3.0%	—	34.1%	2.2%
		70 歳代	154	33.1%	14.9%	8.4%	1.3%	—	—	22.7%	19.5%
	男性	全体	587	18.9%	13.5%	8.5%	3.6%	2.4%	0.2%	47.2%	5.8%
		20 歳代以下	53	1.9%	—	—	9.4%	7.5%	—	77.4%	3.8%
		30 歳代	56	12.5%	8.9%	1.8%	—	3.6%	—	71.4%	1.8%
		40 歳代	82	13.4%	19.5%	8.5%	7.3%	2.4%	—	45.1%	3.7%
		50 歳代	130	16.2%	15.4%	6.9%	6.9%	3.8%	—	47.7%	3.1%
		60 歳代	122	16.4%	17.2%	13.1%	—	—	0.8%	45.1%	7.4%
		70 歳代	144	35.4%	11.8%	11.8%	0.7%	0.7%	—	29.2%	10.4%

問8 次の①～④について、誰が担うのが望ましいと思いますか。項目ごとにあてはまるものを1つずつ選んでください。

① 家事（炊事、買い物、洗濯、掃除など）

家事の望ましい担い手について、「夫婦が同じくらい分担」が41.4%と最も高く、次いで「家族で交代・分担」が28.1%となっています。

年代別にみると、「主に妻」は年代が上がるにつれて徐々に上昇しており、50歳以上の年代は2割を超えています。性・年代別にみると、「夫婦が同じくらい分担」と「家族で交代・分担」を合わせた割合は、女性は70歳代を除く全ての年代で7割を超えていますが、男性は20歳代以下を除く全ての年代で7割未満となっています。

N			主に夫	主に妻	夫婦が同じくらい分担	夫婦以外の家族	家族で交代・分担	有償サービスの利用	その他	無回答	
全 体			1,368	1.0%	21.6%	41.4%	0.7%	28.1%	0.7%	3.2%	3.4%
年代別	20 歳代以下		144	0.7%	6.3%	43.1%	—	43.1%	0.7%	4.2%	2.1%
	30 歳代		148	1.4%	16.9%	43.2%	—	30.4%	0.7%	6.1%	1.4%
	40 歳代		226	0.9%	18.6%	41.2%	2.2%	32.3%	0.9%	3.1%	0.9%
	50 歳代		295	0.7%	24.1%	37.3%	1.4%	32.2%	1.0%	1.7%	1.7%
	60 歳代		257	0.8%	24.5%	44.4%	0.4%	24.9%	—	1.9%	3.1%
	70 歳代		298	1.3%	28.5%	41.6%	—	15.1%	0.7%	4.0%	8.7%
性別	女性	全体	777	0.5%	18.5%	42.0%	0.5%	32.9%	0.4%	2.6%	2.6%
		20 歳代以下	89	1.1%	7.9%	40.4%	—	44.9%	1.1%	4.5%	—
		30 歳代	92	—	14.1%	48.9%	—	29.3%	1.1%	5.4%	1.1%
		40 歳代	142	0.7%	17.6%	39.4%	1.4%	38.0%	—	2.1%	0.7%
		50 歳代	165	0.6%	21.8%	38.2%	1.2%	36.4%	—	1.2%	0.6%
		60 歳代	135	—	18.5%	43.0%	—	35.6%	—	1.5%	1.5%
		70 歳代	154	0.6%	24.7%	44.2%	—	17.5%	0.6%	2.6%	9.7%
	男性	全体	587	1.5%	25.7%	40.9%	1.0%	21.6%	1.0%	3.9%	4.3%
		20 歳代以下	53	—	3.8%	47.2%	—	41.5%	—	3.8%	3.8%
		30 歳代	56	3.6%	21.4%	33.9%	—	32.1%	—	7.1%	1.8%
		40 歳代	82	1.2%	20.7%	45.1%	3.7%	22.0%	2.4%	3.7%	1.2%
		50 歳代	130	0.8%	26.9%	36.2%	1.5%	26.9%	2.3%	2.3%	3.1%
		60 歳代	122	1.6%	31.1%	45.9%	0.8%	13.1%	—	2.5%	4.9%
		70 歳代	144	2.1%	32.6%	38.9%	—	12.5%	0.7%	5.6%	7.6%

①-1 家事【世帯構成別】

家事の望ましい担い手について、性・世帯構成別にみると、二世帯世帯において「家族で交代・分担」は、女性（38.9%）が男性（25.7%）を13ポイント上回っています。

「夫婦が同じくらい分担」と「家族で交代・分担」を合わせた割合は、女性は全ての世帯構成で7割を超えていますが、男性は全ての世帯構成で7割未満となっています。

N			主に夫	主に妻	夫婦が同じくらい分担	夫婦以外の家族	家族で交代・分担	有償サービスの利用	その他	無回答
全体	単身	165	4.8%	10.9%	39.4%	—	23.0%	0.6%	9.1%	12.1%
	夫婦のみ	337	0.6%	27.0%	53.4%	—	15.1%	0.3%	1.5%	2.1%
	二世帯世帯	746	0.4%	21.8%	38.1%	1.1%	33.4%	0.8%	2.5%	1.9%
	三世帯世帯	101	—	20.8%	32.7%	2.0%	35.6%	1.0%	4.0%	4.0%
女性	単身	82	1.2%	11.0%	42.7%	—	29.3%	1.2%	7.3%	7.3%
	夫婦のみ	190	0.5%	24.2%	54.7%	—	17.9%	—	1.1%	1.6%
	二世帯世帯	440	0.5%	18.2%	38.0%	0.7%	38.9%	0.5%	2.0%	1.4%
	三世帯世帯	52	—	15.4%	34.6%	1.9%	36.5%	—	3.8%	7.7%
男性	単身	82	8.5%	11.0%	35.4%	—	17.1%	—	11.0%	17.1%
	夫婦のみ	147	0.7%	30.6%	51.7%	—	11.6%	0.7%	2.0%	2.7%
	二世帯世帯	304	0.3%	27.3%	38.5%	1.6%	25.7%	1.3%	3.0%	2.3%
	三世帯世帯	48	—	27.1%	31.3%	2.1%	33.3%	2.1%	4.2%	—

①-2 家事【共働き世帯の状況】

家事の望ましい担い手について、共働き世帯の状況をみると、女性、男性ともに「夫婦が同じくらい分担」が最も高くなっていますが、次いで、女性は「家族で交代・分担」、男性は「主に妻」となっています。

N		主に夫	主に妻	夫婦が同じくらい分担	夫婦以外の家族	家族で交代・分担	有償サービスの利用	その他	無回答
全体	471	0.2%	20.2%	49.5%	0.2%	27.4%	0.6%	1.3%	0.6%
女性	286	0.3%	17.8%	48.6%	0.3%	31.1%	0.3%	1.0%	0.3%
男性	184	—	23.9%	51.1%	—	21.7%	1.1%	1.1%	1.1%

② 育児・子育て

育児・子育ての望ましい担い手について、「夫婦が同じくらい分担」が53.1%と最も高く、次いで「家族で交代・分担」が17.0%となっています。

年代別にみると、全ての年代において、「夫婦が同じくらい分担」が最も高くなっていますが、60歳代以下の年代は6割前後となっているのに対して、70歳代は37.6%と4割未満となっています。

性別にみると、女性、男性ともに「夫婦が同じくらい分担」が最も高くなっていますが、女性(57.7%)が男性(47.2%)を10ポイント上回っています。また、「主に妻」は、男性(12.3%)が女性(7.1%)を5ポイント上回っています。性・年代別にみると、全ての性・年代で「夫婦が同じくらい分担」が最も高くなっていますが、女性は年代が上がるにつれて、徐々に低下しており、50歳代以下は6割を超えていますが、70歳代は40.3%と4割程度となっています。

			N	主に夫	主に妻	夫婦が同じくらい分担	夫婦以外の家族	家族で交代・分担	有償サービスの利用	その他	無回答
全 体			1,368	0.2%	9.3%	53.1%	0.2%	17.0%	0.6%	11.9%	7.6%
年代別	20 歳代以下		144	—	4.9%	61.1%	—	27.1%	0.7%	4.2%	2.1%
	30 歳代		148	—	10.8%	56.8%	—	20.3%	0.7%	10.1%	1.4%
	40 歳代		226	1.3%	11.1%	59.7%	0.9%	15.5%	0.4%	8.8%	2.2%
	50 歳代		295	—	10.8%	55.3%	0.3%	18.3%	—	10.8%	4.4%
	60 歳代		257	—	5.8%	56.4%	—	13.2%	0.4%	17.1%	7.0%
	70 歳代		298	—	10.7%	37.6%	—	13.8%	1.3%	15.4%	21.1%
性別	女性	全体	777	0.1%	7.1%	57.7%	0.1%	17.5%	0.4%	10.4%	6.7%
		20 歳代以下	89	—	3.4%	66.3%	—	25.8%	—	4.5%	—
		30 歳代	92	—	9.8%	63.0%	—	19.6%	1.1%	5.4%	1.1%
		40 歳代	142	0.7%	9.9%	62.7%	—	14.1%	—	10.6%	2.1%
		50 歳代	165	—	6.7%	60.6%	0.6%	17.0%	—	12.7%	2.4%
		60 歳代	135	—	4.4%	59.3%	—	17.8%	—	12.6%	5.9%
		70 歳代	154	—	7.8%	40.3%	—	14.9%	1.3%	12.3%	23.4%
	男性	全体	587	0.3%	12.3%	47.2%	0.3%	16.5%	0.9%	13.8%	8.7%
		20 歳代以下	53	—	7.5%	52.8%	—	30.2%	1.9%	3.8%	3.8%
		30 歳代	56	—	12.5%	46.4%	—	21.4%	—	17.9%	1.8%
		40 歳代	82	2.4%	13.4%	54.9%	2.4%	18.3%	1.2%	4.9%	2.4%
		50 歳代	130	—	16.2%	48.5%	—	20.0%	—	8.5%	6.9%
		60 歳代	122	—	7.4%	53.3%	—	8.2%	0.8%	22.1%	8.2%
		70 歳代	144	—	13.9%	34.7%	—	12.5%	1.4%	18.8%	18.8%

②-1 育児・子育て【世帯構成別】

育児・子育ての望ましい担い手について、性・世帯構成別にみると、女性は、全ての世帯構成において、「夫婦が同じくらい分担」が最も高く、次いで、「家族で交代・分担」となっています。また、男性は全ての世帯構成において、「夫婦が同じくらい分担」が最も高く、次いで、夫婦のみの世帯を除いて「家族で交代・分担」となっています。夫婦のみの世帯は、「主に妻」が2番目に高くなっています。

N			主に夫	主に妻	夫婦が同じくらい分担	夫婦以外の家族	家族で交代・分担	有償サービスの利用	その他	無回答
全体	単身	165	—	4.2%	49.1%	—	16.4%	1.8%	12.1%	16.4%
	夫婦のみ	337	—	10.1%	51.0%	—	13.4%	0.6%	15.1%	9.8%
	二世帯世帯	746	0.4%	9.9%	56.3%	0.3%	17.4%	0.4%	10.9%	4.4%
	三世帯世帯	101	—	10.9%	44.6%	1.0%	28.7%	—	6.9%	7.9%
女性	単身	82	—	2.4%	61.0%	—	14.6%	1.2%	12.2%	8.5%
	夫婦のみ	190	—	6.8%	57.4%	—	14.7%	0.5%	13.2%	7.4%
	二世帯世帯	440	0.2%	8.2%	59.3%	0.2%	18.0%	0.2%	9.1%	4.8%
	三世帯世帯	52	—	5.8%	42.3%	—	30.8%	—	5.8%	15.4%
男性	単身	82	—	6.1%	36.6%	—	18.3%	2.4%	12.2%	24.4%
	夫婦のみ	147	—	14.3%	42.9%	—	11.6%	0.7%	17.7%	12.9%
	二世帯世帯	304	0.7%	12.5%	52.3%	0.3%	16.8%	0.7%	13.2%	3.6%
	三世帯世帯	48	—	16.7%	45.8%	2.1%	27.1%	—	8.3%	—



②-2 育児・子育て【同居している子どもの状況別】

育児・子育ての望ましい担い手について、同居している子どもの状況別にみると、女性、男性ともに全ての子どもの状況において、「夫婦が同じくらい分担」が最も高くなっています。また、未就学児を含む子どもの状況において、「主に夫」と回答した人は女性、男性ともにいませんでした。

N			主に夫	主に妻	夫婦が同じくらい分担	夫婦以外の家族	家族で交代・分担	有償サービスの利用	その他	無回答
全体	未就学児のみ	58	—	15.5%	67.2%	—	17.2%	—	—	—
	小学生のみ	53	1.9%	26.4%	56.6%	—	11.3%	—	3.8%	—
	中学生以上のみ	412	0.2%	10.2%	56.6%	0.2%	13.6%	0.2%	12.1%	6.8%
	未就学児／小学生	38	—	7.9%	71.1%	—	18.4%	—	—	2.6%
	未就学児／中学生以上	3	—	—	100.0%	—	—	—	—	—
	小学生／中学生以上	50	2.0%	14.0%	56.0%	—	22.0%	2.0%	4.0%	—
	未就学児／小学生 中学生以上	1	—	—	100%	—	—	—	—	—
女性	未就学児のみ	41	—	12.2%	68.3%	—	19.5%	—	—	—
	小学生のみ	36	—	19.4%	63.9%	—	11.1%	—	5.6%	—
	中学生以上のみ	244	—	7.8%	57.0%	—	15.2%	—	11.1%	9.0%
	未就学児／小学生	20	—	10.0%	75.0%	—	15.0%	—	—	—
	未就学児／中学生以上	—								
	小学生／中学生以上	29	3.4%	13.8%	51.7%	—	24.1%	3.4%	3.4%	—
	未就学児／小学生 中学生以上	1	—	—	100.0%	—	—	—	—	—
男性	未就学児のみ	17	—	23.5%	64.7%	—	11.8%	—	—	—
	小学生のみ	17	5.9%	41.2%	41.2%	—	11.8%	—	—	—
	中学生以上のみ	166	0.6%	13.9%	56.0%	0.6%	11.4%	0.6%	13.3%	3.6%
	未就学児／小学生	18	—	5.6%	66.7%	—	22.2%	—	—	5.6%
	未就学児／中学生以上	3	—	—	100.0%	—	—	—	—	—
	小学生／中学生以上	21	—	14.3%	61.9%	—	19.0%	—	4.8%	—
	未就学児／小学生 中学生以上	—								

③ 介護・看護

介護・看護の望ましい担い手について、「夫婦が同じくらい分担」が30.8%と最も高く、次いで「家族で交代・分担」が22.3%となっています。

年代別にみると、20歳代以下は「家族で交代・分担」(33.3%)、70歳代は「有償サービスの利用」(22.1%)、それ以外の年代は「夫婦が同じくらい分担」がそれぞれ最も高くなっています。

性別にみると、女性、男性ともに「夫婦が同じくらい分担」が最も高く、次いで「家族で交代・分担」の順になっています。

			N	主に夫	主に妻	夫婦が同じくらい分担	夫婦以外の家族	家族で交代・分担	有償サービスの利用	その他	無回答
全 体			1,368	0.7%	2.6%	30.8%	0.6%	22.3%	19.7%	15.6%	7.6%
年代別	20歳代以下		144	1.4%	—	31.3%	—	33.3%	22.9%	9.0%	2.1%
	30歳代		148	—	2.7%	28.4%	—	20.9%	22.3%	22.3%	3.4%
	40歳代		226	0.4%	2.2%	29.6%	0.9%	26.1%	15.9%	21.7%	3.1%
	50歳代		295	1.0%	3.7%	39.0%	0.3%	21.7%	20.3%	10.2%	3.7%
	60歳代		257	—	2.7%	34.6%	0.8%	21.8%	16.3%	17.5%	6.2%
	70歳代		298	1.0%	3.0%	21.5%	1.0%	15.8%	22.1%	14.8%	20.8%
性別	女性	全 体	777	0.5%	1.8%	29.7%	0.4%	25.9%	21.8%	13.4%	6.6%
		20歳代以下	89	2.2%	—	33.7%	—	34.8%	20.2%	9.0%	—
		30歳代	92	—	—	31.5%	—	19.6%	28.3%	16.3%	4.3%
		40歳代	142	0.7%	2.1%	28.2%	0.7%	28.9%	16.2%	21.1%	2.1%
		50歳代	165	0.6%	3.6%	38.2%	—	23.6%	23.0%	9.7%	1.2%
		60歳代	135	—	1.5%	31.1%	0.7%	34.8%	14.1%	12.6%	5.2%
		70歳代	154	—	1.9%	17.5%	0.6%	16.2%	29.2%	11.7%	22.7%
	男性	全 体	587	0.9%	3.7%	32.2%	0.9%	17.7%	17.2%	18.6%	8.9%
		20歳代以下	53	—	—	26.4%	—	32.1%	28.3%	9.4%	3.8%
		30歳代	56	—	7.1%	23.2%	—	23.2%	12.5%	32.1%	1.8%
		40歳代	82	—	2.4%	31.7%	1.2%	22.0%	15.9%	22.0%	4.9%
		50歳代	130	1.5%	3.8%	40.0%	0.8%	19.2%	16.9%	10.8%	6.9%
		60歳代	122	—	4.1%	38.5%	0.8%	7.4%	18.9%	23.0%	7.4%
		70歳代	144	2.1%	4.2%	25.7%	1.4%	15.3%	14.6%	18.1%	18.8%



④ 自治会活動など地域の活動

自治会活動など地域の活動の望ましい担い手について、「夫婦が同じくらい分担」が 39.8%と最も高く、次いで「家族で交代・分担」が 17.5%となっています。

年代別にみると、全ての年代において、「夫婦が同じくらい分担」が最も高くなっており、年代が上がるにつれて、70 歳代を除き、徐々に上昇しています。

性別にみると、女性、男性ともに「夫婦が同じくらい分担」が最も高く、次いで「家族で交代・分担」の順になっています。

			N	主に夫	主に妻	夫婦が同じくらい分担	夫婦以外の家族	家族で交代・分担	有償サービスの利用	その他	無回答
全 体			1,368	8.6%	2.7%	39.8%	0.6%	17.5%	3.4%	20.9%	6.6%
年代別	20 歳代以下		144	2.8%	—	33.3%	1.4%	31.3%	0.7%	28.5%	2.1%
	30 歳代		148	4.7%	2.0%	36.5%	—	19.6%	6.8%	27.7%	2.7%
	40 歳代		226	5.3%	0.9%	38.5%	0.9%	24.3%	6.2%	21.2%	2.7%
	50 歳代		295	11.5%	3.7%	44.4%	0.3%	16.6%	4.1%	15.6%	3.7%
	60 歳代		257	7.4%	3.9%	46.3%	—	15.6%	0.8%	20.6%	5.4%
	70 歳代		298	14.1%	3.7%	35.2%	1.0%	7.0%	2.3%	19.1%	17.4%
性別	女性	全体	777	8.4%	2.1%	41.4%	0.5%	18.5%	3.1%	19.7%	6.3%
		20 歳代以下	89	4.5%	—	38.2%	—	30.3%	1.1%	25.8%	—
		30 歳代	92	—	2.2%	39.1%	—	20.7%	9.8%	25.0%	3.3%
		40 歳代	142	7.0%	—	39.4%	0.7%	27.5%	3.5%	19.7%	2.1%
		50 歳代	165	12.1%	3.6%	46.1%	0.6%	13.9%	3.0%	17.6%	3.0%
		60 歳代	135	8.9%	1.5%	46.7%	—	20.7%	1.5%	17.0%	3.7%
		70 歳代	154	12.3%	3.9%	37.0%	1.3%	5.2%	1.3%	17.5%	21.4%
	男性	全体	587	9.0%	3.6%	37.5%	0.7%	16.2%	3.7%	22.5%	6.8%
		20 歳代以下	53	—	—	24.5%	3.8%	34.0%	—	34.0%	3.8%
		30 歳代	56	12.5%	1.8%	32.1%	—	17.9%	1.8%	32.1%	1.8%
		40 歳代	82	2.4%	2.4%	36.6%	1.2%	19.5%	11.0%	23.2%	3.7%
		50 歳代	130	10.8%	3.8%	42.3%	—	20.0%	5.4%	13.1%	4.6%
		60 歳代	122	5.7%	6.6%	45.9%	—	9.8%	—	24.6%	7.4%
		70 歳代	144	16.0%	3.5%	33.3%	0.7%	9.0%	3.5%	20.8%	13.2%

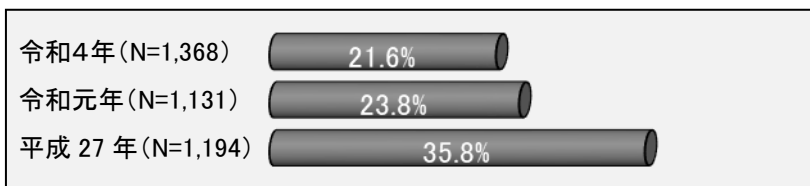


経年比較（「主に妻」／「夫婦が同じくらい分担」及び「家族で交代・分担」）

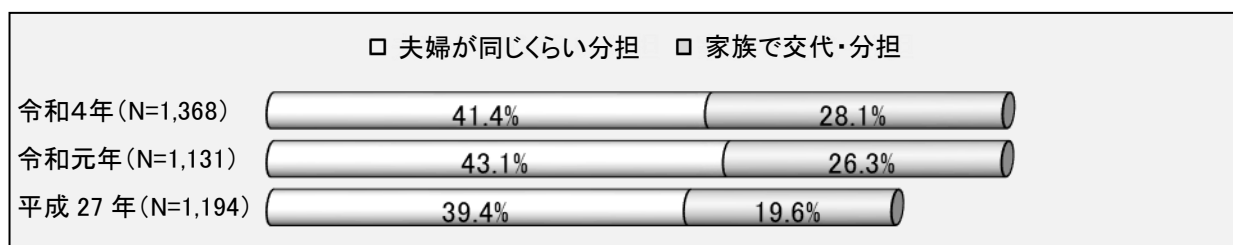
① 家事

過去に実施した調査と比較すると、「主に妻」は年々下がっており、前回調査から2ポイント下がっています。一方、「夫婦が同じくらい分担」は前回調査から1ポイント下がり、「家族で交代・分担」は1ポイント上がっています。

●「主に妻」



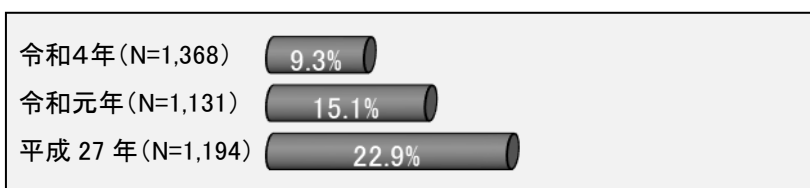
●「夫婦が同じくらい分担」及び「家族で交代・分担」



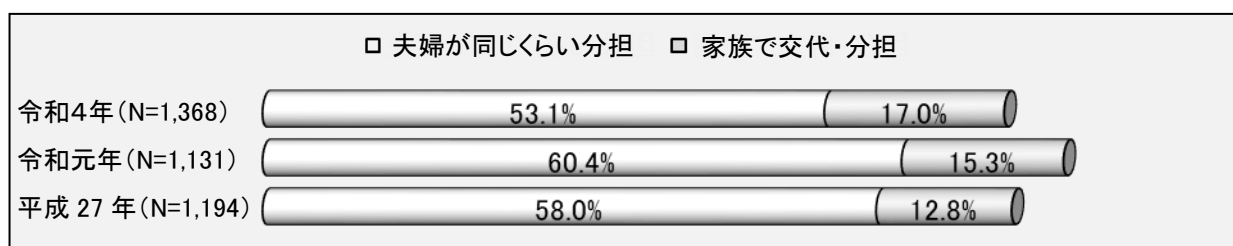
② 育児・子育て

過去に実施した調査と比較すると、「主に妻」は年々下がっており、前回調査から5ポイント下がっています。一方、「夫婦が同じくらい分担」は前回調査から7ポイント下がり、「家族で交代・分担」は1ポイント上がっています。

●「主に妻」



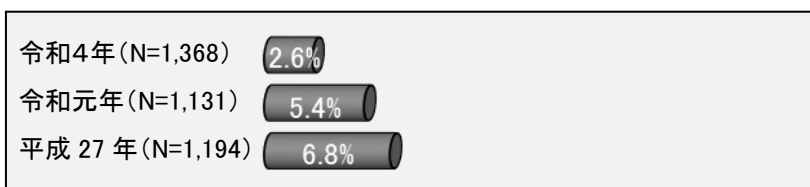
●「夫婦が同じくらい分担」及び「家族で交代・分担」



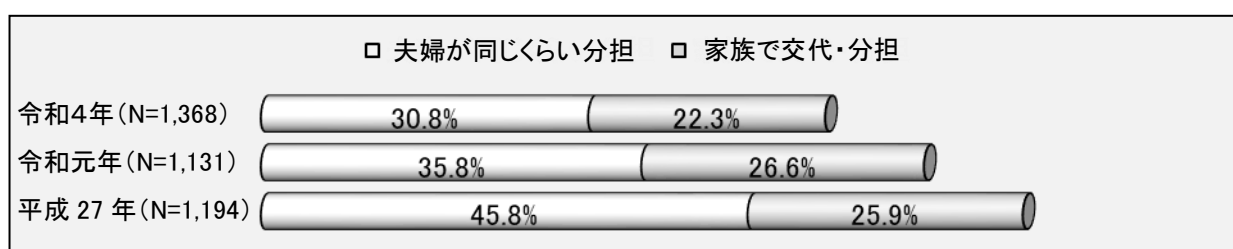
③ 介護・看護

過去に実施した調査と比較すると、「主に妻」は年々下がっており、前回調査から2ポイント下がっています。一方、「夫婦が同じくらい分担」は前回調査から5ポイント下がり、「家族で交代・分担」は4ポイント下がっています。

●「主に妻」



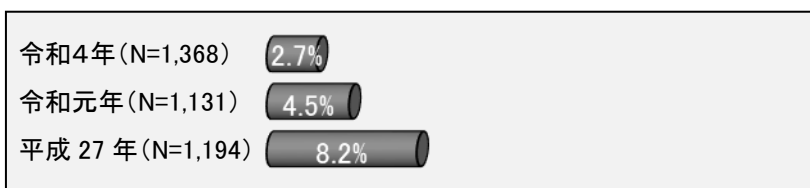
●「夫婦が同じくらい分担」及び「家族で交代・分担」



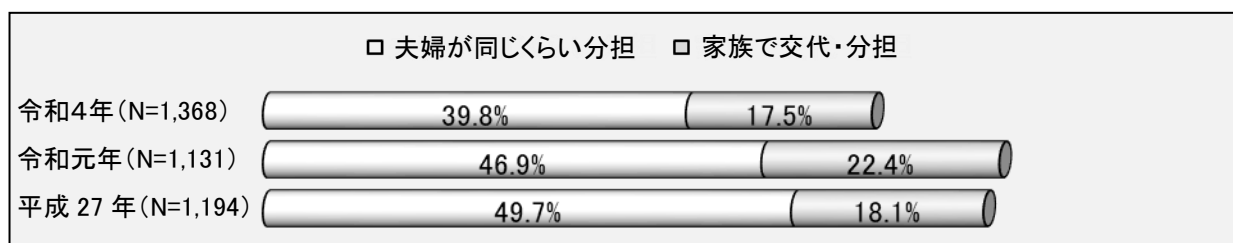
④ 自治会活動など地域の活動

過去に実施した調査と比較すると、「主に妻」は年々下がっており、前回調査から1ポイント下がっています。一方、「夫婦が同じくらい分担」は前回調査から7ポイント下がり、「家族で交代・分担」は4ポイント下がっています。

●「主に妻」



●「夫婦が同じくらい分担」及び「家族で交代・分担」



4 ドメスティック・バイオレンス（DV）について

問9 次の①～⑭のようなことが、配偶者やパートナー、交際相手の間で行われた場合、それを暴力だと思いますか。項目ごとに1つずつ選んでください。

※暴力行為の認知・・・その行為を「暴力だと思う」と回答したもの

全ての項目で「思う」が「思わない」を上回っています。「思う」は、「殴るふりをして脅す、刃物などを突き付けて脅す」が94.6%と最も高く、次いで「避妊に協力しない・妊娠中絶を強要する」が93.1%となっています。また、社会的暴力の3項目（「相手の交友関係や電話を必要以上に監視する」（82.2%）、「携帯電話、メール、手紙などを勝手に見る」（73.6%）及び「外出を制限する」（83.0%））は、「大声でどなる」（81.3%）を除いた他の暴力と比べて低くなっています。

一方、「思わない」は、「携帯電話、メール、手紙などを勝手に見る」が21.5%と最も高く、次いで「大声でどなる」が14.0%となっています。

N=1,368		思う	思わない	無回答
身体的	① 平手で打つ	92.9%	2.5%	4.6%
精神的	② 殴るふりをして脅す、刃物等を突き付けて脅す	94.6%	0.7%	4.7%
	③ 大声でどなる	81.3%	14.0%	4.8%
	④ 大切にしているものをわざと壊す・捨てる	90.2%	5.0%	4.8%
	⑤ 何を言っても無視し続ける	83.3%	11.5%	5.1%
	⑥ 「誰のおかげで生活できるんだ」とか、「甲斐性がない」「稼ぎが悪い」などと言う	89.8%	5.3%	5.0%
社会的	⑦ 相手の交友関係や電話を必要以上に監視する	82.2%	12.7%	5.0%
	⑧ 携帯電話、メール、手紙などを勝手に見る	73.6%	21.5%	4.9%
	⑨ 外出を制限する	83.0%	12.0%	5.0%
経済的	⑩ 家に生活費を入れない	87.2%	7.6%	5.2%
	⑪ 勝手に借金をする・無理に借金をさせる	90.6%	4.4%	5.0%
性的	⑫ 相手が嫌がっているのにポルノビデオやポルノ雑誌を見せる	90.6%	4.2%	5.2%
	⑬ 性的な行為を強要する	92.7%	2.3%	5.0%
	⑭ 避妊に協力しない・妊娠中絶を強要する	93.1%	1.5%	5.3%

●暴力行為の認知(身体的暴力・精神的暴力)【年代別／性別】

(身体的暴力)「平手で打つ」について、性別にみると、女性(93.2%)、男性(92.5%)ともに9割を超えています。

年代別にみると、70歳代を除く全ての年代で9割を超えています。

(精神的暴力)「殴るふりをして脅す、刃物等を突き付けて脅す」が最も高く、年代別及び性別にみても全て最も高くなっています。また、「大声でどなる」は、女性(84.2%)が男性(77.3%)を6ポイント上回っています。

			N	身体的	精神的				
				平手で打つ	殴るふりをして脅す、刃物等を突き付けて脅す	大声でどなる	大切にしているものをわざと壊す・捨てる	何を言っても無視し続ける	「誰のおかげで生活できるんだ」とか、「甲斐性がない」「稼ぎが悪い」などと言いつ
全 体			1,368	92.9%	94.6%	81.3%	90.2%	83.3%	89.8%
年代別	20 歳代以下		144	93.8%	96.5%	75.7%	92.4%	81.3%	92.4%
	30 歳代		148	93.9%	95.9%	83.8%	91.2%	85.8%	89.2%
	40 歳代		226	97.3%	97.3%	85.8%	93.8%	85.8%	93.4%
	50 歳代		295	94.2%	97.6%	85.4%	94.6%	87.8%	92.2%
	60 歳代		257	94.2%	95.7%	82.1%	91.1%	84.0%	91.1%
	70 歳代		298	86.2%	86.9%	74.5%	80.9%	76.2%	82.6%
性別	女性	全体	777	93.2%	94.9%	84.2%	90.0%	83.4%	91.1%
		20 歳代以下	89	94.4%	97.8%	83.1%	92.1%	83.1%	95.5%
		30 歳代	92	93.5%	95.7%	88.0%	91.3%	87.0%	91.3%
		40 歳代	142	98.6%	98.6%	90.1%	94.4%	84.5%	95.8%
		50 歳代	165	93.9%	97.6%	87.9%	93.3%	89.1%	94.5%
		60 歳代	135	93.3%	94.8%	83.7%	89.6%	84.4%	91.1%
		70 歳代	154	86.4%	86.4%	73.4%	80.5%	73.4%	80.5%
	男性	全体	587	92.5%	94.2%	77.3%	90.5%	83.1%	87.9%
		20 歳代以下	53	92.5%	94.3%	62.3%	92.5%	77.4%	86.8%
		30 歳代	56	94.6%	96.4%	76.8%	91.1%	83.9%	85.7%
		40 歳代	82	95.1%	95.1%	78.0%	92.7%	87.8%	89.0%
		50 歳代	130	94.6%	97.7%	82.3%	96.2%	86.2%	89.2%
		60 歳代	122	95.1%	96.7%	80.3%	92.6%	83.6%	91.0%
		70 歳代	144	86.1%	87.5%	75.7%	81.3%	79.2%	84.7%

●暴力行為の認知(社会的暴力・経済的暴力・性的暴力)【年代別／性別】

(社会的暴力)「外出を制限する」が83.0%と最も高く、性別にみても、女性(84.0%)、男性(81.6%)ともに最も高くなっています。

(経済的暴力)「勝手に借金をする・無理に借金をさせる」が高く、年代別にみると、70歳代(82.9%)を除き全ての年代で9割を超えています。

(性的暴力)「避妊に協力しない・妊娠中絶を強要する」が93.1%と最も高くなっています。
年代別にみると、3項目とも70歳代を除く全ての年代で9割を超えています。

			N	社会的			経済的		性的		
				相手の交友関係や電話を必要以上に監視する	携帯電話、メール、手紙などを勝手に見る	外出を制限する	家に生活費を入れない	勝手に借金をする・無理に借金をさせる	相手が嫌がっているのにポルノビデオやポルノ雑誌を見せる	性的な行為を強要する	避妊に協力しない・妊娠中絶を強要する
全体			1,368	82.2%	73.6%	83.0%	87.2%	90.6%	90.6%	92.7%	93.1%
年代別	20 歳代以下		144	80.6%	63.2%	82.6%	75.7%	90.3%	95.8%	97.2%	96.5%
	30 歳代		148	87.2%	69.6%	86.5%	90.5%	93.2%	91.9%	94.6%	95.9%
	40 歳代		226	85.4%	75.7%	85.0%	92.5%	94.7%	94.2%	96.9%	97.3%
	50 歳代		295	84.7%	77.6%	87.8%	91.2%	92.9%	93.6%	95.9%	96.9%
	60 歳代		257	86.4%	81.7%	86.4%	90.3%	91.8%	91.8%	93.0%	93.8%
	70 歳代		298	72.1%	68.1%	72.5%	80.5%	82.9%	80.9%	82.9%	82.6%
性別	女性	全体	777	82.8%	72.8%	84.0%	88.8%	91.6%	90.9%	93.7%	93.6%
		20 歳代以下	89	83.1%	65.2%	85.4%	82.0%	94.4%	97.8%	97.8%	96.6%
		30 歳代	92	88.0%	71.7%	87.0%	91.3%	93.5%	92.4%	94.6%	95.7%
		40 歳代	142	83.1%	73.2%	85.2%	95.8%	95.8%	93.7%	98.6%	99.3%
		50 歳代	165	85.5%	75.8%	91.5%	93.3%	94.5%	93.9%	96.4%	97.0%
		60 歳代	135	87.4%	82.2%	88.1%	91.1%	93.3%	91.1%	94.8%	94.8%
		70 歳代	154	72.1%	66.2%	68.8%	77.9%	80.5%	79.9%	82.5%	80.5%
	男性	全体	587	81.4%	74.4%	81.6%	85.0%	89.3%	90.3%	91.3%	92.5%
		20 歳代以下	53	75.5%	58.5%	77.4%	64.2%	84.9%	92.5%	96.2%	96.2%
		30 歳代	56	85.7%	66.1%	85.7%	89.3%	92.9%	91.1%	94.6%	96.4%
		40 歳代	82	89.0%	79.3%	84.1%	86.6%	92.7%	95.1%	93.9%	93.9%
		50 歳代	130	83.8%	80.0%	83.1%	88.5%	90.8%	93.1%	95.4%	96.9%
		60 歳代	122	85.2%	81.1%	84.4%	89.3%	90.2%	92.6%	91.0%	92.6%
		70 歳代	144	72.2%	70.1%	76.4%	83.3%	85.4%	81.9%	83.3%	84.7%

●暴力行為の認知(身体的暴力・精神的暴力)【結婚の状況別】

暴力行為の認知(身体的暴力・精神的暴力)について、結婚の状況別にみると、6項目全てにおいて、既婚者等が未婚者を上回っています。特に「大声でどなる」は、既婚者等(83.1%)が未婚者(78.7%)を4ポイント上回っています。

N			身体的	精神的				
			平手で打つ	殴るふりをして脅す、刃物等を突き付けて脅す	大声でどなる	大切にしているものをわざと壊す・捨てる	何を言っても無視し続ける	「誰のおかげで生活できるんだ」とか、「甲斐性がない」「稼ぎが悪い」などと言いつ
全体	未婚者	296	91.9%	93.6%	78.7%	90.9%	82.4%	87.5%
	既婚者等	934	94.5%	96.3%	83.1%	91.3%	84.6%	91.2%
女性	未婚者	143	93.0%	95.1%	86.0%	89.5%	84.6%	92.3%
	既婚者等	534	94.6%	96.4%	85.2%	91.6%	83.5%	91.9%
男性	未婚者	151	90.7%	92.1%	71.5%	92.1%	80.1%	82.8%
	既婚者等	398	94.5%	96.0%	80.2%	91.0%	85.9%	90.2%

●暴力行為の認知(社会的暴力・経済的暴力・性的暴力)【結婚の状況別】

暴力行為の認知(社会的暴力・経済的暴力・性的暴力)について、結婚の状況別にみると、経済的暴力及び性的暴力の5項目全てにおいて、既婚者等が未婚者を上回っています。特に「家に生活費を入れない」は、既婚者等(90.1%)が未婚者(80.4%)を9ポイント上回っています。

N			社会的			経済的		性的		
			相手の交友関係や電話を必要以上に監視する	携帯電話、メール、手紙などを勝手に見る	外出を制限する	家に生活費を入れない	勝手に借金をする・無理に借金をさせる	相手が嫌がっているのにポルノビデオやポルノ雑誌を見せる	性的な行為を強要する	避妊に協力しない・妊娠中絶を強要する
全体	未婚者	296	84.8%	73.6%	84.5%	80.4%	90.2%	90.5%	93.6%	92.9%
	既婚者等	934	83.2%	74.5%	83.8%	90.1%	92.0%	92.1%	93.7%	94.3%
女性	未婚者	143	86.7%	71.3%	86.7%	83.9%	93.0%	92.3%	95.8%	95.1%
	既婚者等	534	83.7%	74.2%	85.2%	91.2%	92.9%	92.3%	94.8%	94.8%
男性	未婚者	151	82.8%	75.5%	82.1%	76.8%	88.1%	88.7%	91.4%	90.7%
	既婚者等	398	82.4%	74.9%	81.9%	88.7%	90.7%	91.7%	92.2%	93.7%



◎平塚市の現状(ひらつか男女共同参画プラン2017関連男女別統計)

【DVの内容を暴力と思う市民の割合※】

86.9%という結果になり、過去の調査と比較して、最も高くなっています。

令和4年度(N=1,368)	86.9%
令和元年度(N=1,131)	86.0%
平成27年度(N=1,194)	84.0%
平成24年度(N=1,145)	83.2%
平成17年度(N=1,292)	69.3%

※身体的「平手で打つ」、精神的「大声でどなる」、社会的「相手の交友関係や電話を必要以上に監視する」、経済的「家に生活費を入れない」及び性的「相手が嫌がっているのにポルノビデオやポルノ雑誌を見せる」の5つの暴力における平均値

経年比較

身体的、精神的、社会的、経済的及び性的の5つの暴力における下の5つの項目の認知について、過去に実施した調査と比較すると、社会的暴力「相手の交友関係や電話を必要以上に監視する」を除く全ての項目で最も高くなっています。

		身体的	精神的	社会的	経済的	性的	平均値
		平手で打つ	大声でどなる	相手の交友関係や電話を必要以上に監視する	家に生活費を入れない	相手が嫌がっているのにポルノビデオやポルノ雑誌を見せる	
N							
令和4年度	1,368	92.9%	81.3%	82.2%	87.2%	90.6%	86.9%
令和元年度	1,131	92.6%	80.0%	82.3%	85.5%	89.6%	86.0%
平成27年度	1,194	88.9%	78.6%	83.4%	84.0%	85.2%	84.0%
平成24年度	1,145	89.8%	79.4%	81.7%	81.4%	83.9%	83.2%
平成17年度	1,292	78.6%	66.9%	61.1%	66.0%	73.9%	69.3%



問10 次の①～⑭のようなことが、過去1年以内に配偶者やパートナー、交際相手に対して、「した」「された」経験がありますか。項目ごとにあてはまるものを全て選んでください。

全ての項目で「経験なし」が最も高くなっています。「した」は、「大声でどなる」が13.8%と最も高く、次いで「何を言っても無視し続ける」が4.5%となっています。経済的暴力の2項目「家に生活費を入れない」及び「勝手に借金をする・無理に借金をさせる」並びに性的暴力の3項目「相手が嫌がっているのにポルノビデオやポルノ雑誌を見せる」、「性的な行為を強要する」及び「避妊に協力しない・妊娠中絶を強要する」は全て1%未満となっています。

一方、「された」は、「大声でどなる」が18.1%と最も高く、次いで「何を言っても無視し続ける」が9.7%となっています。

「経験なし」は、経済的暴力の2項目及び性的暴力の3項目は全て9割を超えています。

N=1,368		した	された	経験なし	無回答
身体的	① 平手で打つ	2.0%	3.4%	89.5%	5.6%
精神的	② 殴るふりをして脅す、刃物等を突き付けて脅す	0.4%	2.1%	92.0%	5.6%
	③ 大声でどなる	13.8%	18.1%	67.8%	5.2%
	④ 大切にしているものをわざと壊す・捨てる	1.1%	3.9%	89.6%	5.7%
	⑤ 何を言っても無視し続ける	4.5%	9.7%	82.2%	5.2%
	⑥ 「誰のおかげで生活できるんだ」とか、「甲斐性がない」「稼ぎが悪い」などと言う	2.1%	6.4%	87.1%	5.0%
社会的	⑦ 相手の交友関係や電話を必要以上に監視する	0.6%	3.7%	90.4%	5.3%
	⑧ 携帯電話、メール、手紙などを勝手に見る	2.7%	4.8%	87.9%	5.6%
	⑨ 外出を制限する	0.3%	4.4%	89.8%	5.6%
経済的	⑩ 家に生活費を入れない	0.3%	2.3%	92.5%	4.9%
	⑪ 勝手に借金をする・無理に借金をさせる	0.7%	3.1%	91.3%	5.0%
性的	⑫ 相手が嫌がっているのにポルノビデオやポルノ雑誌を見せる	0.2%	1.0%	93.7%	5.3%
	⑬ 性的な行為を強要する	0.8%	2.9%	91.3%	5.1%
	⑭ 避妊に協力しない・妊娠中絶を強要する	0.1%	1.0%	93.6%	5.3%

●暴力行為を「した」経験(身体的暴力・精神的暴力)【年代別／性別】

(身体的暴力)「平手で打つ」について、性別にみると、男性(2.7%)が女性(1.4%)を1ポイント上回っています。性・年代別にみると、20歳代以下及び50歳代を除く全ての年代で、男性が女性を上回っています。

(精神的暴力)年代別にみると、全ての年代で「大声でどなる」が最も高く、30歳代以上の年代は1割を超えています。

性別にみると、女性、男性ともに「大声でどなる」が最も高くなっており、男性(22.0%)が女性(7.7%)を14ポイント上回っています。

			N	身体的	精神的				
				平手で打つ	殴るふりをして脅す、刃物等を突き付けて脅す	大声でどなる	大切にしているものをわざと壊す・捨てる	何を言っても無視し続ける	「誰のおかげで生活できるんだ」とか、「甲斐性がない」「稼ぎが悪い」などと言う
全 体			1,368	2.0%	0.4%	13.8%	1.1%	4.5%	2.1%
年代別	20 歳代以下		144	—	—	5.6%	0.7%	0.7%	0.7%
	30 歳代		148	2.0%	0.7%	16.9%	1.4%	2.7%	2.7%
	40 歳代		226	1.8%	0.4%	16.4%	—	5.3%	3.5%
	50 歳代		295	2.0%	1.4%	14.9%	1.4%	4.1%	3.1%
	60 歳代		257	1.9%	—	13.2%	1.2%	5.4%	1.6%
	70 歳代		298	3.0%	—	13.8%	1.7%	6.0%	1.0%
性別	女性	全体	777	1.4%	0.4%	7.7%	0.9%	4.4%	1.2%
		20 歳代以下	89	—	—	3.4%	—	1.1%	1.1%
		30 歳代	92	1.1%	1.1%	16.3%	1.1%	3.3%	1.1%
		40 歳代	142	1.4%	—	12.7%	—	5.6%	2.1%
		50 歳代	165	2.4%	1.2%	6.7%	1.2%	3.6%	0.6%
		60 歳代	135	1.5%	—	5.2%	1.5%	6.7%	1.5%
		70 歳代	154	1.3%	—	3.9%	1.3%	4.5%	0.6%
	男性	全体	587	2.7%	0.5%	22.0%	1.4%	4.6%	3.4%
		20 歳代以下	53	—	—	9.4%	1.9%	—	—
		30 歳代	56	3.6%	—	17.9%	1.8%	1.8%	5.4%
		40 歳代	82	2.4%	1.2%	23.2%	—	4.9%	6.1%
		50 歳代	130	1.5%	1.5%	25.4%	1.5%	4.6%	6.2%
		60 歳代	122	2.5%	—	22.1%	0.8%	4.1%	1.6%
		70 歳代	144	4.9%	—	24.3%	2.1%	7.6%	1.4%

●暴力行為を「した」経験(社会的暴力・経済的暴力・性的暴力)【年代別／性別】

(社会的暴力)「携帯電話、メール、手紙などを勝手に見る」が2.7%と最も高く、年代別及び性別にみても、全て最も高くなっています。

(経済的暴力)2項目「勝手に借金をする・無理に借金をさせる」(0.7%)及び「家に生活費を入れない」(0.3%)ともに1%未満となっています。

(性的暴力)3項目「性的な行為を強要する」(0.8%)、「相手が嫌がっているのにポルノビデオやポルノ雑誌を見せる」(0.2%)及び「避妊に協力しない・妊娠中絶を強要する」(0.1%)全て1%未満となっています。

			N	社会的			経済的		性的		
				相手の交友関係や電話を必要以上に監視する	携帯電話、メール、手紙などを勝手に見る	外出を制限する	家に生活費を入れない	勝手に借金をする・無理に借金をさせる	相手が嫌がっているのにポルノビデオやポルノ雑誌を見せる	性的な行為を強要する	避妊に協力しない・妊娠中絶を強要する
全体			1,368	0.6%	2.7%	0.3%	0.3%	0.7%	0.2%	0.8%	0.1%
年代別	20 歳代以下		144	1.4%	2.1%	0.7%	—	—	—	—	—
	30 歳代		148	—	2.0%	—	0.7%	0.7%	0.7%	—	—
	40 歳代		226	0.4%	5.3%	0.4%	0.4%	0.9%	—	0.9%	—
	50 歳代		295	0.7%	3.1%	0.3%	0.3%	0.7%	0.3%	1.0%	0.3%
	60 歳代		257	0.4%	1.6%	—	—	0.4%	—	1.2%	—
	70 歳代		298	0.7%	2.0%	0.3%	0.3%	1.0%	0.3%	1.0%	0.3%
性別	女性	全体	777	0.5%	3.3%	0.4%	0.4%	0.5%	0.1%	0.1%	0.3%
		20 歳代以下	89	1.1%	2.2%	1.1%	—	—	—	—	—
		30 歳代	92	—	1.1%	—	—	1.1%	—	—	—
		40 歳代	142	0.7%	7.7%	0.7%	0.7%	0.7%	—	—	—
		50 歳代	165	0.6%	4.8%	0.6%	0.6%	0.6%	0.6%	0.6%	0.6%
		60 歳代	135	—	1.5%	—	—	—	—	—	—
		70 歳代	154	0.6%	1.3%	—	0.6%	0.6%	—	—	0.6%
	男性	全体	587	0.7%	1.9%	0.2%	0.2%	0.9%	0.3%	1.7%	—
		20 歳代以下	53	1.9%	1.9%	—	—	—	—	—	—
		30 歳代	56	—	3.6%	—	1.8%	—	1.8%	—	—
		40 歳代	82	—	1.2%	—	—	1.2%	—	2.4%	—
		50 歳代	130	0.8%	0.8%	—	—	0.8%	—	1.5%	—
		60 歳代	122	0.8%	1.6%	—	—	0.8%	—	2.5%	—
		70 歳代	144	0.7%	2.8%	0.7%	—	1.4%	0.7%	2.1%	—

●暴力行為を「した」経験(身体的暴力・精神的暴力)【結婚の状況別】

暴力行為を「した」経験(身体的暴力・精神的暴力)について、結婚の状況別にみると、6項目全てにおいて、既婚者等が未婚者を上回っています。特に「大声でどなる」は、既婚者等(16.5%)が未婚者(4.4%)を12ポイント上回っています。

N			身体的	精神的				
			平手で打つ	殴るふりをして脅す、刃物等を突き付けて脅す	大声でどなる	大切にしているものをわざと壊す・捨てる	何を言っても無視し続ける	「誰のおかげで生活できるんだ」とか、「甲斐性がない」「稼ぎが悪い」などと言いつ
全体	未婚者	296	0.3%	—	4.4%	0.3%	0.7%	—
	既婚者等	934	2.1%	0.4%	16.5%	1.2%	5.0%	2.7%
女性	未婚者	143	—	—	2.1%	—	1.4%	—
	既婚者等	534	1.3%	0.4%	9.0%	0.9%	4.7%	1.1%
男性	未婚者	151	0.7%	—	6.6%	0.7%	—	—
	既婚者等	398	3.3%	0.5%	26.6%	1.5%	5.5%	4.8%

●暴力行為を「した」経験(社会的暴力・経済的暴力・性的暴力)【結婚の状況別】

暴力行為を「した」経験(社会的暴力・経済的暴力・性的暴力)について、結婚の状況別にみると、社会的暴力「携帯電話、メール、手紙などを勝手に見る」の既婚者等(3.0%)を除き、全て1%未満となっています。

N			社会的			経済的		性的		
			相手の交友関係や電話を必要以上に監視する	携帯電話、メール、手紙などを勝手に見る	外出を制限する	家に生活費を入れない	勝手に借金をする・無理に借金をさせる	相手が嫌がっているのにポルノビデオやポルノ雑誌を見せる	性的な行為を強要する	避妊に協力しない・妊娠中絶を強要する
全体	未婚者	296	0.3%	0.7%	0.3%	0.3%	—	0.3%	—	—
	既婚者等	934	0.4%	3.0%	0.1%	—	0.4%	0.1%	0.9%	0.1%
女性	未婚者	143	0.7%	1.4%	0.7%	—	—	—	—	—
	既婚者等	534	0.2%	3.7%	—	—	0.4%	—	—	0.2%
男性	未婚者	151	—	—	—	0.7%	—	0.7%	—	—
	既婚者等	398	0.8%	2.0%	0.3%	—	0.5%	0.3%	2.0%	—

●暴力行為を「された」経験(身体的暴力・精神的暴力)【年代別／性別】

(身体的暴力)「平手で打つ」について、性別にみると、女性(4.4%)が男性(2.0%)を2ポイント上回っています。性・年代別にみると、60歳代以上の女性は7%を上回っています。

(精神的暴力)性別にみると、5項目全てにおいて、女性が男性を上回っており、特に「大声でどなる」は、女性(26.3%)が男性(7.2%)を19ポイント上回っています。性・年代別にみると、「大声でどなる」は女性の40歳代以上の年代は3割前後になっています。

			N	身体的	精神的				
				平手で打つ	殴るふりをして脅す、刃物等を突き付けて脅す	大声でどなる	大切にしているものをわざと壊す・捨てる	何を言っても無視し続ける	「誰のおかげで生活できるんだ」とか、「甲斐性がない」「稼ぎが悪い」などと言いつ
全 体			1,368	3.4%	2.1%	18.1%	3.9%	9.7%	6.4%
年代別	20 歳代以下		144	1.4%	1.4%	10.4%	1.4%	4.2%	3.5%
	30 歳代		148	1.4%	1.4%	15.5%	2.7%	10.8%	4.7%
	40 歳代		226	3.1%	2.7%	21.7%	4.4%	11.9%	8.0%
	50 歳代		295	4.1%	2.4%	21.7%	5.8%	13.2%	6.4%
	60 歳代		257	4.3%	1.2%	18.7%	4.3%	8.6%	7.0%
	70 歳代		298	4.0%	3.0%	16.1%	3.0%	7.7%	6.7%
性別	女性	全体	777	4.4%	3.0%	26.3%	5.0%	12.1%	9.3%
		20 歳代以下	89	—	—	10.1%	1.1%	3.4%	1.1%
		30 歳代	92	1.1%	1.1%	18.5%	3.3%	13.0%	6.5%
		40 歳代	142	1.4%	2.8%	27.5%	4.9%	13.4%	9.9%
		50 歳代	165	5.5%	4.2%	31.5%	7.3%	15.2%	10.3%
		60 歳代	135	7.4%	2.2%	31.9%	5.9%	11.9%	11.1%
		70 歳代	154	7.8%	5.2%	28.6%	5.2%	12.3%	12.3%
	男性	全体	587	2.0%	0.9%	7.2%	2.2%	6.3%	2.4%
		20 歳代以下	53	3.8%	1.9%	9.4%	1.9%	1.9%	5.7%
		30 歳代	56	1.8%	1.8%	10.7%	1.8%	7.1%	1.8%
		40 歳代	82	6.1%	2.4%	12.2%	2.4%	9.8%	4.9%
		50 歳代	130	2.3%	—	9.2%	3.8%	10.8%	1.5%
		60 歳代	122	0.8%	—	4.1%	2.5%	4.9%	2.5%
		70 歳代	144	—	0.7%	2.8%	0.7%	2.8%	0.7%

●暴力行為を「された」経験(社会的暴力・経済的暴力・性的暴力)【年代別／性別】

(社会的暴力)年代別にみると、50 歳代以下は「携帯電話、メール、手紙などを勝手に見る」が最も高く、60 歳代以上は「外出を制限する」が最も高くなっています。

(経済的暴力)性別にみると、「勝手に借金をする・無理に借金をさせる」は、女性(4.6%)が男性(1.0%)を3ポイント上回っています。

(性的暴力)性別にみると、3項目「性的な行為を強要する」、「避妊に協力しない・妊娠中絶を強要する」及び「相手が嫌がっているのにポルノビデオやポルノ雑誌を見せる」全て、女性が男性を上回っています。

			社会的			経済的		性的			
			相手の交友関係や電話を必要以上に監視する	携帯電話、メール、手紙などを勝手に見る	外出を制限する	家に生活費を入れない	勝手に借金をする・無理に借金をさせる	相手が嫌がっているのにポルノビデオやポルノ雑誌を見せる	性的な行為を強要する	避妊に協力しない・妊娠中絶を強要する	
N											
全 体			1,368	3.7%	4.8%	4.4%	2.3%	3.1%	1.0%	2.9%	1.0%
年代別	20 歳代以下		144	4.2%	4.9%	3.5%	0.7%	—	0.7%	2.1%	1.4%
	30 歳代		148	2.7%	6.8%	4.7%	2.7%	2.0%	1.4%	2.7%	1.4%
	40 歳代		226	5.8%	6.6%	4.4%	2.2%	1.3%	0.4%	0.9%	0.4%
	50 歳代		295	2.4%	6.4%	4.4%	1.4%	3.7%	0.3%	1.7%	0.7%
	60 歳代		257	2.7%	1.9%	3.5%	2.3%	3.5%	1.6%	5.1%	1.2%
	70 歳代		298	4.7%	3.0%	5.4%	4.0%	5.4%	1.3%	4.0%	1.3%
性別	女性	全体	777	4.6%	4.9%	6.2%	3.2%	4.6%	1.5%	4.9%	1.8%
		20 歳代以下	89	3.4%	4.5%	2.2%	—	—	1.1%	3.4%	2.2%
		30 歳代	92	4.3%	4.3%	6.5%	2.2%	2.2%	1.1%	3.3%	2.2%
		40 歳代	142	4.9%	5.6%	4.9%	3.5%	1.4%	0.7%	1.4%	0.7%
		50 歳代	165	3.6%	7.9%	6.7%	2.4%	4.8%	0.6%	3.0%	1.2%
		60 歳代	135	3.7%	3.0%	6.7%	3.7%	5.9%	3.0%	9.6%	2.2%
		70 歳代	154	7.1%	3.2%	8.4%	5.8%	10.4%	2.6%	7.8%	2.6%
	男性	全体	587	2.2%	4.3%	1.7%	1.0%	1.0%	0.2%	0.2%	—
		20 歳代以下	53	3.8%	3.8%	3.8%	—	—	—	—	—
		30 歳代	56	—	10.7%	1.8%	3.6%	1.8%	1.8%	1.8%	—
		40 歳代	82	6.1%	7.3%	2.4%	—	1.2%	—	—	—
		50 歳代	130	0.8%	4.6%	1.5%	—	2.3%	—	—	—
		60 歳代	122	1.6%	0.8%	—	0.8%	0.8%	—	—	—
		70 歳代	144	2.1%	2.8%	2.1%	2.1%	—	—	—	—

●暴力行為を「された」経験(身体的暴力・精神的暴力)【結婚の状況別】

暴力行為を「された」経験(身体的暴力・精神的暴力)について、結婚の状況別にみると、6項目全て、既婚者等が未婚者を上回っています。特に「大声でどなる」は、既婚者等(20.8%)が未婚者(10.5%)を10ポイント上回っています。

N			身体的	精神的				
			平手で打つ	殴るふりをして脅す、刃物等を突き付けて脅す	大声でどなる	大切にしているものをわざと壊す・捨てる	何を言っても無視し続ける	「誰のおかげで生活できるんだ」とか、「甲斐性がない」「稼ぎが悪い」などと言いつ
全体	未婚者	296	2.7%	1.0%	10.5%	2.4%	5.7%	3.7%
	既婚者等	934	3.6%	2.4%	20.8%	4.1%	10.8%	6.9%
女性	未婚者	143	2.1%	—	12.6%	2.8%	7.0%	2.1%
	既婚者等	534	5.1%	3.6%	30.9%	5.2%	13.3%	10.9%
男性	未婚者	151	3.3%	1.3%	7.9%	2.0%	3.3%	4.6%
	既婚者等	398	1.8%	0.8%	7.3%	2.3%	7.5%	1.5%

●暴力行為を「された」経験(社会的暴力・経済的暴力・性的暴力)【結婚の状況別】

暴力行為を「された」経験(社会的暴力・経済的暴力・性的暴力)について、結婚の状況別にみると、既婚者等は8項目全て、女性が男性を上回っており、特に「外出を制限する」は女性(6.0%)が男性(1.5%)を4ポイント上回っています。

N			社会的			経済的		性的		
			相手の交友関係や電話を必要以上に監視する	携帯電話、メール、手紙などを勝手に見る	外出を制限する	家に生活費を入れない	勝手に借金をする・無理に借金をさせる	相手が嫌がっているのにポルノビデオやポルノ雑誌を見せる	性的な行為を強要する	避妊に協力しない・妊娠中絶を強要する
全体	未婚者	296	3.7%	4.4%	3.4%	1.0%	0.7%	1.0%	2.0%	1.4%
	既婚者等	934	3.0%	4.3%	4.2%	2.0%	3.0%	0.4%	2.6%	0.9%
女性	未婚者	143	4.9%	2.8%	3.5%	0.7%	0.7%	1.4%	3.5%	2.8%
	既婚者等	534	3.7%	4.7%	6.0%	2.8%	4.5%	0.7%	4.5%	1.5%
男性	未婚者	151	2.0%	5.3%	2.6%	0.7%	0.7%	0.7%	0.7%	—
	既婚者等	398	1.8%	3.5%	1.5%	1.0%	1.0%	—	—	—



◎平塚市の現状(ひらつか男女共同参画プラン2017関連男女別統計)

【DV行為を「された」ことのある市民の割合※】

5.7%という結果になり、前回調査と比較して、微減しています。

令和4年度(N=1,368)	5.7%
令和元年度(N=1,131)	6.4%
平成27年度(N=1,194)	5.1%
平成24年度(N=1,145)	5.1%
平成17年度(N=1,292)	10.2%

※身体的「平手で打つ」、精神的「大声でどなる」、社会的「相手の交友関係や電話を必要以上に監視する」、経済的「家に生活費を入れない」及び性的「相手が嫌がっているのにポルノビデオやポルノ雑誌を見せる」の5つの暴力における平均値

経年比較

身体的、精神的、社会的、経済的及び性的の5つの暴力における下の5つの項目のされた経験について、過去に実施した調査と比較すると、身体的暴力「平手で打つ」及び経済的暴力「家に生活費を入れない」は最も低くなっています。

		身体的	精神的	社会的	経済的	性的	平均値
		平手で打つ	大声でどなる	相手の交友関係や電話を必要以上に監視する	家に生活費を入れない	相手が嫌がっているのにポルノビデオやポルノ雑誌を見せる	
	N						
令和4年度	1,368	3.4%	18.1%	3.7%	2.3%	1.0%	5.7%
令和元年度	1,131	4.2%	20.2%	4.2%	2.7%	0.9%	6.4%
平成27年度	1,194	4.5%	13.1%	3.8%	3.1%	0.8%	5.1%
平成24年度	1,145	3.6%	16.0%	2.8%	2.7%	0.4%	5.1%
平成17年度	1,292	12.6%	20.5%	6.6%	3.9%	7.2%	10.2%

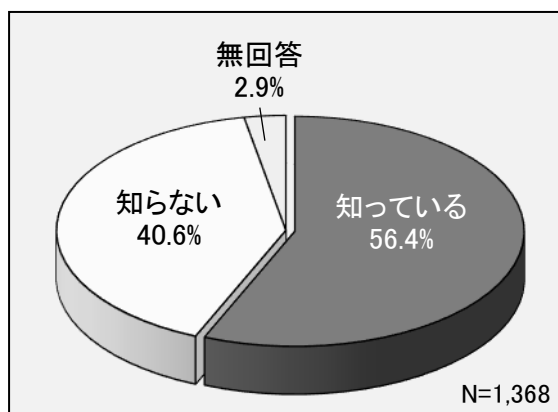


問 1 1 配偶者やパートナー、交際相手からの暴力について、相談できる場所があることを知っていますか。

配偶者やパートナー、交際相手からの暴力について、相談できる場所を「知っている」が 56.4%、「知らない」が 40.6%となっています。

年代別にみると、20 歳代以下を除く全ての年代で「知っている」が過半数を超えています。

性別にみると、「知っている」は、女性 (63.8%) が男性 (47.0%) を 16 ポイント上回っています。



			N	知っている	知らない	無回答
全 体			1,368	56.4%	40.6%	2.9%
年代別	20 歳代以下		144	41.7%	55.6%	2.8%
	30 歳代		148	57.4%	40.5%	2.0%
	40 歳代		226	64.6%	35.4%	—
	50 歳代		295	60.0%	38.3%	1.7%
	60 歳代		257	56.4%	41.6%	1.9%
	70 歳代		298	53.4%	38.9%	7.7%
性別	女性	全体	777	63.8%	33.3%	2.8%
		20 歳代以下	89	53.9%	44.9%	1.1%
		30 歳代	92	65.2%	32.6%	2.2%
		40 歳代	142	73.2%	26.8%	—
		50 歳代	165	67.9%	30.9%	1.2%
		60 歳代	135	65.2%	31.9%	3.0%
		70 歳代	154	54.5%	37.0%	8.4%
	男性	全体	587	47.0%	49.9%	3.1%
		20 歳代以下	53	22.6%	71.7%	5.7%
		30 歳代	56	44.6%	53.6%	1.8%
		40 歳代	82	51.2%	48.8%	—
		50 歳代	130	50.0%	47.7%	2.3%
		60 歳代	122	46.7%	52.5%	0.8%
		70 歳代	144	52.1%	41.0%	6.9%



◎ひらつか男女共同参画プラン2017指標

【DVの相談ができる窓口をどこか一つでも知っている市民の割合】

56.4%という結果になり、前回調査と比較※して 23 ポイント下がり、令和 5 年度の後期目標値（85.0%）には届きませんでした。

令和4年度(N=1,368)	56.4%
令和元年度(N=1,131)	79.7%

※前回調査と設問形式が異なるため、比較は参考とします。

●暴力行為を「された」経験がある人の相談窓口の認知【年代別／性別】

問 10「暴力行為を「された」経験がある人」の相談窓口の認知状況をみると、「知っている」（57.6%）が「知らない」（41.9%）を 15 ポイント上回っています。

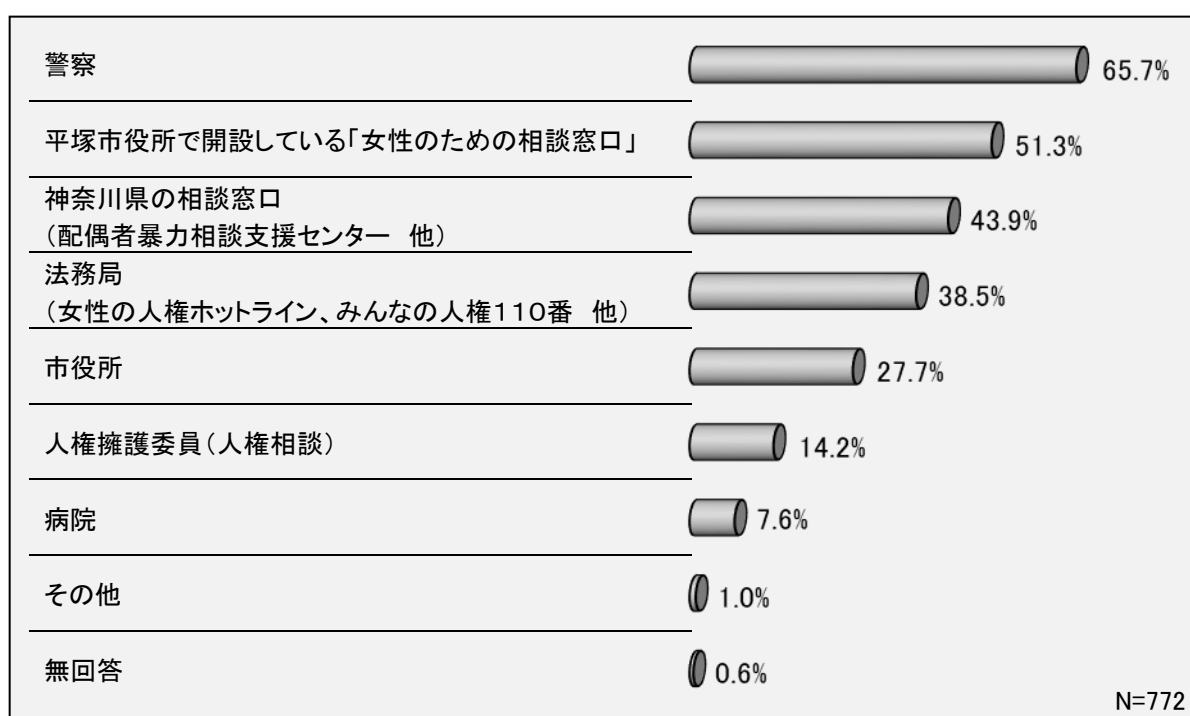
年代別にみると、20 歳代以下は、「知らない」（69.6%）が「知っている」（30.4%）を 39 ポイント上回っています。

			N	知っている	知らない	無回答
全 体			375	57.6%	41.9%	0.5%
年代別	20 歳代以下		23	30.4%	69.6%	—
	30 歳代		36	55.6%	44.4%	—
	40 歳代		74	62.2%	37.8%	—
	50 歳代		94	62.8%	36.2%	1.1%
	60 歳代		69	55.1%	44.9%	—
	70 歳代		79	58.2%	40.5%	1.3%
性別	女性	全体	269	61.7%	37.5%	0.7%
		20 歳代以下	15	33.3%	66.7%	—
		30 歳代	24	58.3%	41.7%	—
		40 歳代	52	69.2%	30.8%	—
		50 歳代	65	66.2%	32.3%	1.5%
		60 歳代	52	59.6%	40.4%	—
		70 歳代	61	60.7%	37.7%	1.6%
	男性	全体	103	48.5%	51.5%	—
		20 歳代以下	6	33.3%	66.7%	—
		30 歳代	12	50.0%	50.0%	—
		40 歳代	21	47.6%	52.4%	—
		50 歳代	29	55.2%	44.8%	—
		60 歳代	17	41.2%	58.8%	—
		70 歳代	18	50.0%	50.0%	—

問 11-1 問 1 1 で「1 知っている」と回答した方のみにうかがいます。それは、次のどの窓口や機関ですか。あてはまるものをすべて選んでください。

問 1 1 で、相談できる場所を「1 知っている」と回答した人について、その窓口や機関は、「警察」が 65.7%と最も高く、次いで「平塚市役所で開設している「女性のための相談窓口」」が 51.3%となっています。

性別にみると、女性は、「警察」が 61.1%と最も高く、次いで「平塚市役所で開設している「女性のための相談窓口」」が 56.5%となっています。男性は、「警察」が 73.9%と最も高く、次いで「神奈川県相談窓口（配偶者暴力相談支援センター 他）」が 52.2%となっています。性・年代別に見ると、「平塚市役所で開設している「女性のための相談窓口」」は、女性の 40 歳代以上の年代は 6 割前後（60 歳代は 65.9%）となっています。



「その他」の回答内容

- ・地域包括支援センター（40 歳代・男性）
- ・インターネットでNPO等を検索する（70 歳代・女性）
- ・公民館（50 歳代・男性）
- ・登録弁護士等の相談窓口（50 歳代・男性）
- ・組合が所属している上部団体の相談窓口（50 歳代・男性）
- ・勤務先（40 歳代・男性）



●認知している相談窓口【年代別／性別】

			N	「女性のための相談窓口」 平塚市役所で開設している	神奈川県 （配偶者暴力相談支援センター 他）	神奈川県 （配偶者暴力相談支援センター 他）	法務局（女性の権利ホットライン、 みんなの権利相談110番 他）	人権擁護委員（人権相談）	市役所	警察	病院	その他	無回答
全 体			772	51.3%	43.9%	38.5%	14.2%	27.7%	65.7%	7.6%	1.0%	0.6%	
年代別	20 歳代以下		60	33.3%	50.0%	58.3%	5.0%	18.3%	50.0%	13.3%	—	1.7%	
	30 歳代		85	48.2%	48.2%	52.9%	7.1%	27.1%	70.6%	12.9%	—	—	
	40 歳代		146	54.8%	40.4%	41.1%	11.6%	26.7%	63.7%	9.6%	2.1%	—	
	50 歳代		177	52.0%	48.6%	44.6%	15.3%	24.3%	68.4%	6.2%	2.3%	—	
	60 歳代		145	53.8%	42.8%	29.7%	12.4%	30.3%	69.7%	6.9%	—	—	
	70 歳代		159	53.5%	38.4%	22.0%	24.5%	34.0%	64.2%	3.1%	0.6%	2.5%	
性別	女性	全体	496	56.5%	39.3%	39.9%	8.5%	24.4%	61.1%	7.5%	0.6%	0.8%	
		20 歳代以下	48	37.5%	54.2%	58.3%	2.1%	18.8%	45.8%	12.5%	—	2.1%	
		30 歳代	60	45.0%	38.3%	50.0%	5.0%	28.3%	70.0%	15.0%	—	—	
		40 歳代	104	59.6%	33.7%	44.2%	7.7%	21.2%	59.6%	9.6%	1.0%	—	
		50 歳代	112	58.0%	46.4%	44.6%	9.8%	20.5%	62.5%	4.5%	0.9%	—	
		60 歳代	88	65.9%	36.4%	29.5%	5.7%	23.9%	62.5%	5.7%	—	—	
		70 歳代	84	59.5%	32.1%	21.4%	16.7%	34.5%	61.9%	2.4%	1.2%	3.6%	
	男性	全体	276	42.0%	52.2%	35.9%	24.6%	33.7%	73.9%	8.0%	1.8%	0.4%	
		20 歳代以下	12	16.7%	33.3%	58.3%	16.7%	16.7%	66.7%	16.7%	—	—	
		30 歳代	25	56.0%	72.0%	60.0%	12.0%	24.0%	72.0%	8.0%	—	—	
		40 歳代	42	42.9%	57.1%	33.3%	21.4%	40.5%	73.8%	9.5%	4.8%	—	
		50 歳代	65	41.5%	52.3%	44.6%	24.6%	30.8%	78.5%	9.2%	4.6%	—	
		60 歳代	57	35.1%	52.6%	29.8%	22.8%	40.4%	80.7%	8.8%	—	—	
		70 歳代	75	46.7%	45.3%	22.7%	33.3%	33.3%	66.7%	4.0%	—	1.3%	



●暴力行為を「された」経験がある人が認知している相談窓口【年代別／性別】

問 10「暴力行為を「された」経験がある人」の相談窓口の認知状況をみると、「警察」が 62.0%と最も高く、次いで、「平塚市役所で開設している「女性のための相談窓口」」が 58.3%となっています。

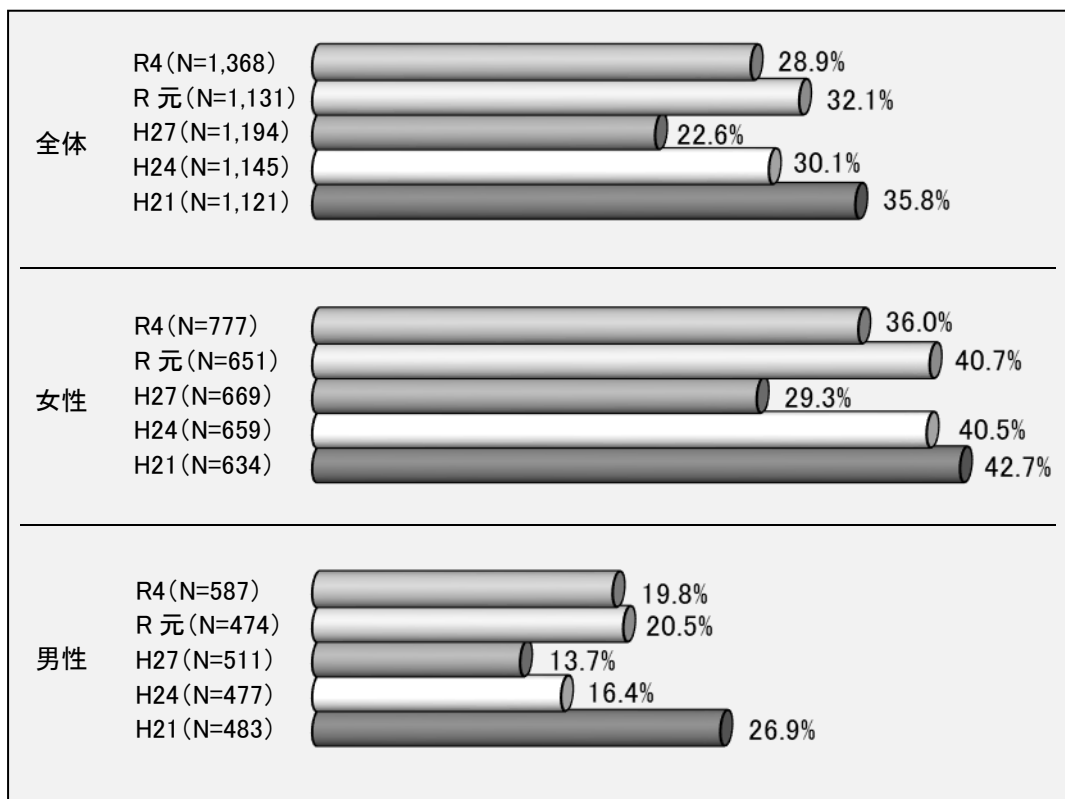
性別にみると、女性は、「平塚市役所で開設している「女性のための相談窓口」」が 63.3%と最も高く、次いで「警察」が 59.6%となっています。男性は、「警察」が 70.0%と最も高く、次いで「神奈川県の人権擁護委員会（人権相談）」が 54.0%となっています。性・年代別にみると、「平塚市役所で開設している「女性のための相談窓口」」は、女性の 30 歳代以上の年代は 6 割を超えています。

		N	「女性のための相談窓口」 平塚市役所で開設している	神奈川県の人権相談窓口 (配偶者暴力相談支援センター 他)	法務局(女性の人権ホットライン、 みんなの人権相談110番 他)	人権擁護委員(人権相談)	市役所	警察	病院	その他	無回答
全 体		216	58.3%	39.4%	38.0%	11.6%	25.0%	62.0%	7.9%	1.9%	0.5%
年代別	20 歳代以下	7	—	57.1%	57.1%	28.6%	42.9%	42.9%	42.9%	—	—
	30 歳代	20	60.0%	30.0%	50.0%	—	10.0%	65.0%	10.0%	—	—
	40 歳代	46	63.0%	45.7%	37.0%	15.2%	21.7%	54.3%	6.5%	2.2%	—
	50 歳代	59	57.6%	39.0%	52.5%	8.5%	23.7%	74.6%	5.1%	5.1%	—
	60 歳代	38	60.5%	28.9%	28.9%	—	26.3%	63.2%	10.5%	—	—
	70 歳代	46	60.9%	43.5%	19.6%	23.9%	32.6%	54.3%	4.3%	—	2.2%
性別	女性	全体	166	63.3%	34.9%	38.0%	7.8%	21.7%	59.6%	8.4%	0.6%
		20 歳代以下	5	—	60.0%	80.0%	—	40.0%	40.0%	40.0%	—
		30 歳代	14	64.3%	14.3%	42.9%	—	14.3%	64.3%	7.1%	—
		40 歳代	36	66.7%	38.9%	33.3%	8.3%	16.7%	55.6%	8.3%	—
		50 歳代	43	62.8%	37.2%	53.5%	2.3%	16.3%	67.4%	4.7%	2.3%
		60 歳代	31	67.7%	25.8%	32.3%	—	22.6%	58.1%	12.9%	—
		70 歳代	37	64.9%	40.5%	21.6%	24.3%	32.4%	56.8%	5.4%	2.7%
	男性	全体	50	42.0%	54.0%	38.0%	24.0%	36.0%	70.0%	6.0%	6.0%
		20 歳代以下	2	—	50.0%	—	100.0%	50.0%	50.0%	50.0%	—
		30 歳代	6	50.0%	66.7%	66.7%	—	—	66.7%	16.7%	—
		40 歳代	10	50.0%	70.0%	50.0%	40.0%	40.0%	50.0%	—	10.0%
		50 歳代	16	43.8%	43.8%	50.0%	25.0%	43.8%	93.8%	6.3%	12.5%
		60 歳代	7	28.6%	42.9%	14.3%	—	42.9%	85.7%	—	—
		70 歳代	9	44.4%	55.6%	11.1%	22.2%	33.3%	44.4%	—	—

【参考】経年比較（平塚市役所で開設している「女性のための相談窓口」）

前回までの調査と設問形式が異なるため、参考比較となりますが、平塚市役所で開設している「女性のための相談窓口」を知っている市民の割合は、28.9%となり、前回調査と比較して3ポイント下がっています。

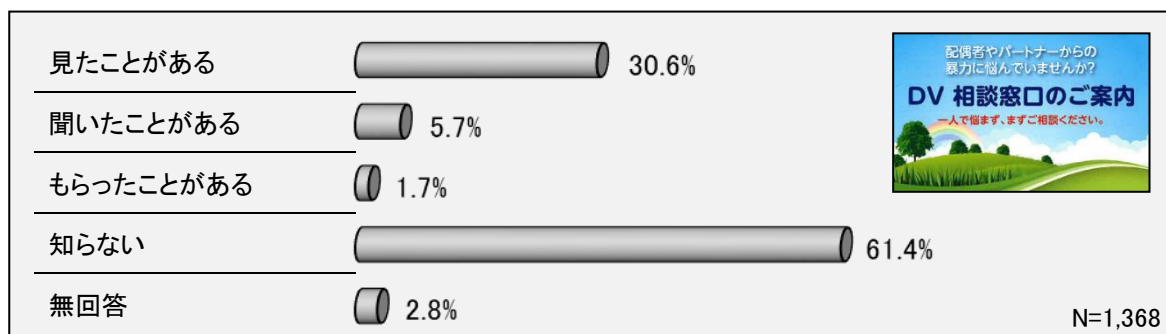
性別にみると、女性は4ポイント下がり、男性は微減しています。



問12 平塚市では、市役所や公民館などの市内公共施設のトイレに「DV相談窓口のご案内」カードを配架していますが、このカードを知っていますか。あてはまるものをすべて選んでください。

「DV相談窓口のご案内」カードの認知について、「知らない」が61.4%と最も高く、次いで「見たことがある」が30.6%となっています。

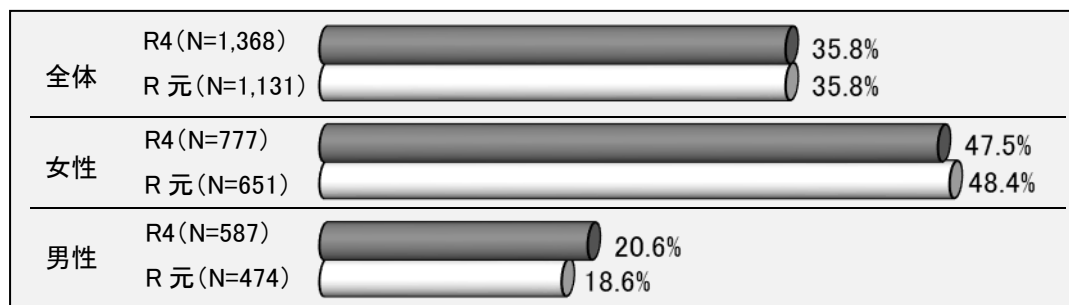
性別にみると、「見たことがある」及び「もらったことがある」は、女性の方が男性よりも高く、特に「見たことがある」は女性（42.5%）が男性（15.0%）を27ポイント上回っています。



N			見たこと がある	聞いたこと がある	もらったこと がある	知らない	無回答	
全 体			1,368	30.6%	5.7%	1.7%	61.4%	2.8%
年代別	20 歳代以下		144	27.1%	7.6%	6.3%	61.1%	2.8%
	30 歳代		148	37.8%	6.1%	1.4%	53.4%	2.7%
	40 歳代		226	43.4%	5.8%	2.7%	50.9%	0.9%
	50 歳代		295	30.8%	7.8%	1.0%	60.0%	1.7%
	60 歳代		257	28.0%	3.5%	0.8%	66.9%	1.9%
	70 歳代		298	20.8%	4.4%	0.3%	70.1%	6.0%
性別	女性	全体	777	42.5%	5.3%	2.6%	50.3%	2.2%
		20 歳代以下	89	38.2%	7.9%	9.0%	51.7%	—
		30 歳代	92	48.9%	7.6%	2.2%	40.2%	3.3%
		40 歳代	142	57.7%	4.2%	2.8%	38.0%	0.7%
		50 歳代	165	43.6%	7.3%	1.8%	48.5%	1.2%
		60 歳代	135	41.5%	2.2%	1.5%	54.1%	2.2%
		70 歳代	154	26.6%	3.9%	0.6%	65.6%	5.2%
	男性	全体	587	15.0%	6.3%	0.5%	75.8%	3.6%
		20 歳代以下	53	9.4%	7.5%	1.9%	75.5%	7.5%
		30 歳代	56	19.6%	3.6%	—	75.0%	1.8%
		40 歳代	82	19.5%	8.5%	2.4%	72.0%	1.2%
		50 歳代	130	14.6%	8.5%	—	74.6%	2.3%
		60 歳代	122	13.1%	4.9%	—	81.1%	1.6%
		70 歳代	144	14.6%	4.9%	—	75.0%	6.9%

経年比較

「DV相談窓口のご案内」カードについて、「見たことがある」、「聞いたことがある」及び「もらったことがある」など認知している割合は35.8%と、前回調査と変わりませんでした。



●暴力行為を「された」経験がある人のカードの認知【年代別／性別】

問10「暴力行為を「された」経験がある人」の「DV相談窓口のご案内」カードの認知状況をみると、「知らない」が60.8%と最も高く、次いで「見たことがある」が32.5%となっています。

			N	見たことがある	聞いたことがある	もらったことがある	知らない	無回答
全 体			375	32.5%	5.3%	3.2%	60.8%	1.1%
年代別	20 歳代以下		23	13.0%	8.7%	13.0%	69.6%	—
	30 歳代		36	30.6%	11.1%	2.8%	55.6%	—
	40 歳代		74	41.9%	5.4%	2.7%	52.7%	1.4%
	50 歳代		94	34.0%	6.4%	3.2%	58.5%	1.1%
	60 歳代		69	30.4%	1.4%	2.9%	65.2%	1.4%
	70 歳代		79	30.4%	3.8%	1.3%	67.1%	1.3%
性別	女性	全 体	269	39.0%	4.8%	4.1%	54.3%	1.1%
		20 歳代以下	15	13.3%	6.7%	13.3%	66.7%	—
		30 歳代	24	37.5%	12.5%	4.2%	45.8%	—
		40 歳代	52	48.1%	3.8%	3.8%	46.2%	1.9%
		50 歳代	65	43.1%	4.6%	4.6%	50.8%	1.5%
		60 歳代	52	38.5%	1.9%	3.8%	57.7%	—
		70 歳代	61	34.4%	4.9%	1.6%	62.3%	1.6%
	男性	全 体	103	16.5%	6.8%	1.0%	76.7%	1.0%
		20 歳代以下	6	16.7%	16.7%	16.7%	66.7%	—
		30 歳代	12	16.7%	8.3%	—	75.0%	—
		40 歳代	21	28.6%	9.5%	—	66.7%	—
		50 歳代	29	13.8%	10.3%	—	75.9%	—
		60 歳代	17	5.9%	—	—	88.2%	5.9%
		70 歳代	18	16.7%	—	—	83.3%	—